



取扱説明書

AVN-F01i

メモリーナビゲーション内蔵 CD/ワンセグ 7.0 AV システム



お買い上げいただき、ありがとうございます。
正しくご使用いただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。
また、お読みになった後も必要ときに
すぐご覧になれるよう大切に保管してください。

Windowsシール貼付

FUJITSU TEN

お使いになる前に

ナビゲーション

オーディオ・ビジュアル

ハンズフリー

ご参考に

索引

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

取り扱い上のご注意

測位状態が安定してから走行する

- 「GPS」マークが青色になってから走行してください。測位状態が不十分なときに走り出すと自車位置がずれる場合があります。

※本書の画面と実際の画面は、地図データの作成時期・種類などによって異なることがあります。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本機のために必ず守っていただきたいことや、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。

⚠ 重要

機器の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと
機器が故障したときにしていただきたいこと

📖 ワンポイント

知っておいていただきたいこと

🏠 チェック

操作する前に知っておいていただきたいこと

- 製品に添付されている保証書などは必ずお読みください。
これらの指示を守らなかったことによる不具合に対しては、当社は責任を負いかねます。
- 仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合もありますのでご了承ください。

⚠ 注意

表示画面のタッチスイッチ内側に結露が発生した場合、正しく動作しないことがありますので無理に使用せず、結露がなくなるまで操作をしないようにしてください。

まずはじめに—My Page に登録しよう—

「My Page」は、ECLIPSE 製品を購入いただいたお客様に、各種情報を提供する WEB サービスです。



■ My Page 登録のおすすめ

「My Page」では、お客様のカーライフをサポートするため、ご利用製品に関する便利なサポート情報のお知らせや、ご登録いただいたお客様限定のキャンペーンなどを実施しております。ぜひ、「My Page」にご登録をお願いいたします。

「My Page」にご登録いただくと



ご利用製品に関連する製品・サービス・サポートの情報をお知らせいたします。



ご登録いただいたお客様限定のキャンペーンにご応募いただけます。



アンケート（不定期に実施）にお答えいただいたお客様には、プレゼントを差し上げます。

登録の方法

「My Page」には、次の方法でご登録いただけます。ご登録いただいたお客様の情報は「My Page」で確認・変更することができます。

ECLIPSE ホームページから

「お客様サポート」から「My Page」にアクセスしてください。

URL を入力する

<https://www.e-iserv.com/jp/MyPage/Index.do> を入力してアクセスしてください。

▲ 重要

当社は、お客様個人に関する情報の重要性を認識し、厳重な管理を行っております。

どこでもサポート／オンラインマニュアルの紹介

取扱説明書の内容は、携帯電話やパソコンでもご確認いただくことができます。



【どこでもサポート】



【オンラインマニュアル】

携帯電話で確認する（どこでもサポート）

下記2次元バーコードを読み取るか、下記URLを入力して「どこでもサポート」にアクセスしてください。

・ URL

<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/mobile/avnf01i/>

・ 2次元バーコード



パソコンで確認する（オンラインマニュアル）

下記URLを入力して「オンラインマニュアル」にアクセスしてください。

<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/manual/avnf01i/>

ワンポイント

- 「どこでもサポート」や「オンラインマニュアル」にアクセスする場合の通信料は、お客様のご負担になります。
- 「どこでもサポート」は2005年6月以降発売のインターネット対応携帯電話を対象に提供しています。

お使いになる前に

➡ P.9

お使いになる前に..... 10

1. 安全上のご注意..... 10

2. 本書の見方..... 14

3. 本機について..... 16

パネルスイッチとタッチスイッチ ... 16

本機を初めてご使用いただくとき ... 17

画面の基本的な使い方
(文字を入力、タブを切替など) 18

電源を入れる・切る..... 20

ディスクについて..... 21

CD、地図SDメモリーカードを
入れる・出す..... 23

ディスプレイの角度を調整する 26

液晶パネルの性質..... 26

4つの主な操作画面..... 27

各機能の操作条件一覧..... 28

各操作画面を表示する..... 29

MENU画面の基本操作..... 31

お好みの設定に変える
(詳細設定項目一覧) 32

システムアップ製品の紹介..... 33

4. E-iSERVについて..... 34

ケータイリンクのアプリを

ダウンロードする..... 34

赤外線通信で送信する..... 35

5. アプリ連携機能について..... 36

アプリ連携機能のご紹介..... 36

アプリ画面を表示する..... 36

6. Bluetooth®通信機能について... 37

Bluetooth® 機器使用上の

注意事項..... 37

お車を手放すとき..... 38

表示されるアイコンの紹介..... 38

Bluetooth® 機器を登録する
(カンタンペアリング)..... 40

7. 本機の設定..... 42

スイッチの操作音を変える..... 42

画面の表示・設定を変える
(画質調整など)..... 42

ラジオアンテナを設定する
(オートアンテナ車)..... 45

セキュリティ (ESN) を設定する... 46

設定した内容をもとに戻す
(初期化する)..... 51

本機の情報・設定を
リセットする..... 51

ナビゲーション

➡ P.53

はじめに 54

1. GPS ボイスナビゲーション
について 54
ナビゲーション機能を
お使いになる前のお知らせ 54
基本地図画面のマークや表示 54

基本操作 56

1. 画面の調整・音声の設定 56
自転車位置（現在地）マークを
変える 56
地図に表示される文字の
大きさを変える 57
画面切替え時の動きを設定する 57
音声案内の設定を変える 58
アプリ連携案内音声を設定する 59
2. 地図の表示 60
今いる場所（現在地）を表示する ... 60
画面にタッチして地図を動かす 60
地図の縮尺を切替える 61
走行軌跡の表示を設定する 61
地図の向きを変える 62
施設（店舗など）を地図に
表示する 64
3. 地図の呼び出し方法 65
50音（文字入力）で呼び出す 66
住所を入力して呼び出す 67
電話番号から呼び出す 68
履歴情報から呼び出す 69
Bluetooth® ケータイリンクで
呼び出す 69
お気に入り地点から呼び出す 70
施設のジャンルで呼び出す 71
マップコードで呼び出す 71
最後に表示していた地図を
呼び出す 72

- 登録したルート呼び出す 72
- 赤外線ケータイリンクで呼び出す ... 73
- 近くの施設を検索して呼び出す 74

4. 呼び出した地図の操作 75
位置の調整をする 75
施設の情報を表示する 75

ナビゲーション案内 76

1. 目的地設定・ルート
探索について 76
2. 目的地を設定してルート探索 77
目的地を設定する 77
ルートを探す（ルート探索） 79
全ルート図 80
全ルート図画面の紹介 81
探索したルートを登録する 82
登録したルートを編集する 82
季節規制区間の表示 84
5種類のルートを同時に表示する ... 84
3. 探索ルートの変更 86
目的地を追加する 86
目的地の順番を並び替える 87
設定した目的地を取り消す 88
4. 目的地履歴について 90
目的地の履歴を消す 90
5. 目的地案内の開始・中止 91
案内を始める 91
案内をやめる 91
設定したルートをデモで確認する ... 92
6. 目的地案内について 93
案内中画面の紹介と解除のしかた ... 93
細街路での案内画面と
設定のしかた 96
高速道路走行中の合流案内を
設定する 97
踏切の案内を設定する 98
フェリー航路案内 98
目的地到着予想時刻の
設定を変える 98
音声案内 100

7. 案内ルートの操作.....	101
全ルート図をもう一度表示する	101
8. ルートの再探索.....	102
ルートをもう一度探索する	102
地点の登録	103
1. お気に入り地点の登録とは	103
2. お気に入り地点の登録・編集・消去	104
自宅を登録する.....	104
お気に入り地点を登録する	105
お気に入り地点の情報・設定を編集する.....	107
お気に入り地点を消去する	110
VICS 機能.....	111
1. VICS 情報について	111
VICS の紹介.....	111
VICS のメディア概要と特有事項...	112
VICS 情報提供内容と表示の紹介 ...	113
2. 放送局の受信	114
VICS 提供放送局を選ぶ.....	114
3. VICS 情報の表示・案内.....	117
地図に表示する VICS 情報を設定する.....	117
表示される VICS 情報の紹介	118
VICS 情報を表示する道路を選ぶ...	119
VICS マークの内容を確認する	119
VICS 情報の表示をやめる	120
VICS 音声案内を設定する	120
VICS 図形情報を表示する	121
VICS 文字情報を表示する	121
地図に表示される VICS マークの紹介	123
VICS の用語説明.....	124
VICS の問い合わせ先	124

周辺モニター	125
1. バックアイカメラの操作.....	125
バックアイカメラをお使いになる前のご注意.....	125
バックアイカメラの映像を映す	126
ガイド線を設定する・調整する	126
ガイド線の見方.....	128
ガイド線の表示を解除する	128
視点を切替える.....	128
こんなときは	130
1. 補正が必要なとき	130
現在地の位置を修正する	130
2. 地図データの情報.....	131
地図データの情報を確認する	131
3. システムチェック機能の表示.....	132
システムチェック機能で確認できる項目一覧.....	132
システムチェック画面を表示する	133
GPS のソフトウェアをバージョンアップする	133
Bluetooth®モジュールのソフトウェアをバージョンアップする.....	134
4. 精度と誤差	135
測位精度	135
GPS 衛星の電波の性質と受信状態	135
現在地表示の誤差.....	135
タイヤによる誤差.....	136
マップマッチングによる現在地検出の補正	136
現在地表示、ルート案内の精度	137
道路、地名データ	138
ルート案内	138

オーディオ・ビジュアル

➡ P.141

はじめに142

- 1. 基本操作 142
 - ソースを切替える 142
 - 音量を調整する 142
 - 音質を調整する 142

オーディオの操作146

- 1. ラジオの使い方 146
 - ラジオを聞く 146
 - 放送局を記憶する 146
 - 基本操作 147
 - 交通情報を聞く 148
- 2. CDプレーヤーの使い方 149
 - CDを聞く 149
 - 基本操作 150
- 3. USB メモリの使い方 151
 - USBメモリを接続する／
取りはずす 151
 - USBメモリを聞く 152
 - 基本操作 153
 - 聞きたい音楽ファイルを
繰り返し聞く 154
 - 音楽ファイルの順番を
ランダムに聞く 154
 - 再生可能な
MP3/WMAファイル 155
 - MP3/WMAの再生に関する
お知らせ 158
 - MP3/WMAファイルの作り方、
楽しみ方 158

ビジュアルの操作160

- 1. ワンセグの使い方 160
 - ワンセグ放送に関するお知らせ 160
 - ワンセグを見るために必要な
設定をする 160
 - ワンセグを見る 161

- 基本操作 162
- 放送局から番組を選ぶ 163
- EPG（電子番組表）を見る 163
- 音声と字幕の設定をする 164
- 緊急警報放送（EWS）を
受信したときは 164

2. 外部入力の使い方 165

- ビデオを見る 165
- 基本操作 166
- 画面モードを切替える 167

ポータブルオーディオ機器 接続時の操作 168

1. iPod プレーヤーの使い方 168

- 使用できる iPod 168
- iPod を接続する／取りはずす 168
- iPod を聞く 169
- 基本操作 170
- 再生したい音楽ファイルを
リストから探す 171
- 音楽ファイルをランダムに聞く 172

2. **Bluetooth®** Audioの使い方... 173

- Bluetooth®** Audioについて 173
- Bluetooth®** 機器を登録する 173
- Bluetooth®** 機器を接続する 175
- Bluetooth®** Audioを聞く 176
- 基本操作 177
- ライブラリから
音楽ファイルを選ぶ 178
- 再生リストから
音楽ファイルを選ぶ 179
- Bluetooth®** Audioの設定 180

ステアリングスイッチの 操作 184

1. ステアリングスイッチの 使い方 184

- ステアリングスイッチを
設定する 184
- ハンズフリー・オーディオ機能
共通の操作 187
- オーディオ機能の操作 187
- 設定を初期化する 189

ハンズフリー

➡ P.191

はじめに192

1. ご使用になる前に 192
ハンズフリーについて 192
お車を手放すとき 194

ハンズフリーの準備195

1. 携帯電話の登録 195
携帯電話を登録する 195
2. 携帯電話の接続 197
携帯電話を自動で接続する 197
携帯電話を手動で接続・
切断する 198
Bluetooth® 接続の
再接続について 199

基本操作200

1. 電話のかけ方 200
電話をかける 200
携帯電話本体から発信する 204
発信を中断する 204
2. 電話の受け方 205
電話を受ける 205
着信中画面を操作する 206

3. 通話中の操作 208
通話中画面を操作する 208

設定・編集210

1. 登録機器の設定 210
使用する携帯電話を選択する 210
携帯電話詳細情報を表示する 211
携帯電話の登録を削除する 212
2. 電話帳の編集 213
携帯電話の電話帳データを
転送する 213
電話帳のデータを削除する 215
3. 音量の設定 217
音量の設定をする 217
高速走行時の自動音量切替えを
設定する 218
4. ハンズフリーの設定 219
お好みの設定に変える
(ハンズフリー詳細設定
項目一覧) 219
機器名称、機器アドレスを
表示する 219
パスキーを変更する 220
ACC-ON時の **Bluetooth®** 接続
確認表示を設定する 220
自動着信応答を設定する 221
電話帳ロックを設定する 222
電話帳ロック設定を初期化する 225

ご参考に

➡ P.227

ご参考に228

1. 知っておいて
いただきたいこと 228
こんなメッセージが
表示されたときは 228
2. 用語説明 233
3. 収録されている
地図情報について 236
検索のデータについて 236
アイコン表示について 236
ルートに関する注意事項 236
地図データについて 237
交通規制データについて 240

4. VICS情報有料放送サービス
契約約款 242
5. アフターサービスについて 243
お問い合わせに関するお知らせ 243
6. バッテリーの交換について 245
7. バージョンアップ
したときは 246
8. お手入れについて 247
本機のお手入れ 247
アンテナのお手入れ 247
9. 仕様 248
10. 凡例 250
11. 商標 251

索引

➡ P.253

索引254

1. Q&A索引 254
共通操作 254
ナビゲーション操作 255
オーディオ・ビジュアル操作 258
2. 共通索引 260
五十音順 260
アルファベット／数字 261

3. ナビゲーション索引 262
五十音順 262
アルファベット／数字 264
4. オーディオ索引 265
五十音順 265
アルファベット／数字 267
5. ハンズフリー索引 268
五十音順 268

1

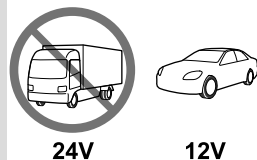


お使いになる前に

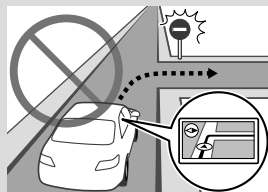
1. 安全上のご注意

⚠ 警告

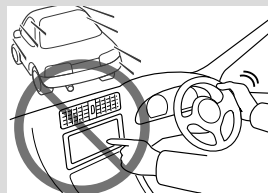
● 本機は DC 12V ⊖ アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの 24V 車で使用しないでください。火災の原因となります。



● ナビゲーションによるルート案内時も、実際の交通規制に従って走行してください。ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制に反する可能性があり、交通事故の原因となります。



● 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあります。車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を注視しないでください。運転者が走行中、画面を注視することは法律で禁止されています。前方不注意となり事故の原因となります。



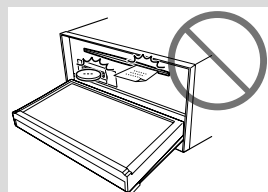
● 運転者は走行中に音量調整などの操作をしないでください。前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

● 運転者は走行中にディスクの切り替えをしないでください。前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

● 運転者は走行中に地点登録・メモリ設定などの操作をしないでください。前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

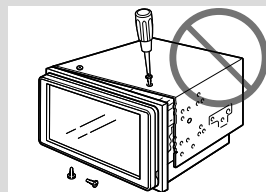
● 運転者がテレビやビデオなどを見るときは必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキを使用してください。テレビやビデオは安全のため走行中は表示されません。

● ディスクや SD メモリーカードの差し込み口に異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。

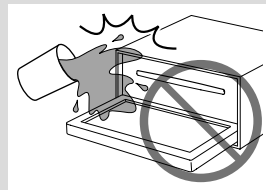


警告

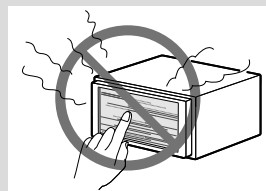
●本機を分解したり、改造しないでください。事故、火災、感電の原因となります。



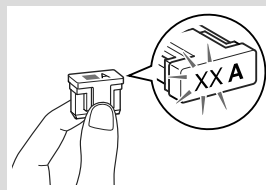
●機器内部に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。



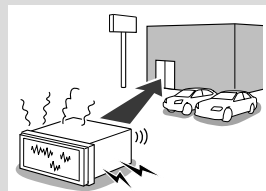
●画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故、火災、感電の原因となります。



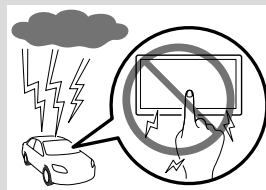
●ヒューズを交換する時は、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。



●万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなど異常が起こったら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。



●雷が鳴りだしたら、アンテナ線や本機に触れないでください。落雷により感電の危険性があります。



1. 安全上のご注意

⚠ 警告

- 本機を使用するために禁止された場所に駐・停車しないでください。
- 車内に直射日光が差し込んだ場合、製品に光が反射する場合があります。十分に注意して運転頂きますようお願い致します。
- 運転中は、絶対にヘッドホン・イヤホンを使用しないでください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。
- 走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

⚠ 注意

- 本機はエンジンスイッチがONまたはACCのとき使用できますが、バッテリー保護のため、エンジンをかけた状態でご使用ください。
- 本機を車載用以外としては使用しないでください。感電やけがの原因となることがあります。
- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- 電源ON時は、ボリュームに注意してください。電源ON時に突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
- ディスク差し込み口に手や指を入れないでください。けがの原因となることがあります。
- ディスプレイの角度調整時に、手や指を挟まないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。
- 本機の放熱部に手を触れないでください。放熱部の熱でやけどをする場合があります。
- 本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお求めの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- 音声割れる、歪むなどの異常状態で使用しないでください。火災の原因となることがあります。
- 極端な高温や低温でのご使用は誤作動や故障の原因となります。とくに夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどして温度を下げてからご使用ください。
- 本機の中に金属や水が入ったり、強い衝撃が加わると故障の原因となりますのでご注意ください。

⚠ 重要

ディスク等を取り出すときや、チルト位置を設定する際に、下記に注意してください。

＜A／T車の場合＞

- ・ ディスク等を取り出す際、Pレンジで干渉する場合はNレンジに切り替えてから操作してください。（コラムA／Tの場合はPまたはNレンジで操作してください。）
- ・ チルト位置を設定する際、Pまたは⑧、Nレンジで手などが干渉しないように設定しご使用ください。（走行レンジで干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。）

＜M／T車の場合＞

- ・ ディスク等を取り出す際、1・3・5・⑩ポジションで干渉する場合はニュートラルに切り替えてから操作してください。但し、走行中は操作しないでください。
- ・ チルト位置を設定する際、1・3・5・⑩ポジションで手などが干渉しないように設定しご使用ください。（干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。）

ワンポイント

- 地図データを使用したことにより発生したお客様本人および第三者のいかなる損害にも、弊社はその責任を負いかねます。
- 地図データの誤字・脱字・位置ずれ等表記又は内容に関する誤りに対して、取り替え・代金の返却はいたしかねます。
- 地図データに含まれる機能がお客様の特定目的に適合することを、弊社は保証するものではありません。
- お客様がSDメモリーカード内に保存したデータは、いかなる記録媒体にも転送できません。
- 走行中操作できないものは走行状態になると色がトーンダウンし、操作できません。また、操作できないスイッチにタッチすると、画面に操作禁止メッセージが表示されることがあります。
- 悪路走行中などの振動の激しい場合は、ディスクおよびSDメモリーカードのデータを読み取れなくなり正常に作動しないことがあります。振動が静まり、しばらくすると正常にもどります。
- 気温が低いときにヒーターをつけた直後では、CD 読み取り部のレンズに露（水滴）が付くこと（結露）があります。このようなときは1時間ほどそのままの状態で放置しておけば結露が取り除かれ、正常に作動するようになります。何時間たっても正常にもどらない場合は、販売店にご相談ください。
- 本機をお買いあげ後、初めてご使用になるときの長時間バッテリーをはずしておいた場合などは、現在地を正しく表示しないことがあります。しばらくするとGPSの測位によって表示位置などが修正されます。
- 本機は精密機器であり、静電気、電氣的なノイズ、振動等により記録されたデータが消失する場合があります。お買いあげ後、お客様がSDメモリーカードに記録されるデータにつきましては、データ消失の場合にそなえて、別にメモをとるなどして保管してください。
- なお、以下のような場合、保証はいたしかねますので、予めご了承ください。
 - ① 本機の故障、誤作動、または不具合等により、あるいは本機が電氣的なノイズの影響等を受けたことにより、お客様が記録されたSDメモリーカード内のデータ等が変化・消失した場合。
 - ② お客様、または第三者が本機の使用を誤ったことにより、SDメモリーカード内の地図データや基本プログラム、お客様がSDメモリーカードに記録されたデータ等が変化・消失した場合。
 - ③ 本機の故障・修理に際し、お客様が記録されたSDメモリーカード内のデータ等が変化・消失した場合。
- ※ なお、本機を装着もしくはご使用されたときは、上記の内容を承認されたものとみなさせていただきます。
- 本機は他の電装品からの電氣的ノイズに対して影響を受けにくい構造になっておりますが、強力なノイズを発生する電装品があり、本機のそばで使用された場合、画面の乱れ、雑音等の誤作動をすることがあります。その場合は、原因と思われる電装品の使用をやめてください。
- システムではエラーコード等の情報を記録しています。
富士通テン(株)では、取得したデータは当社ナビの品質向上の為に利用する事があります。

2. 本書の見方

セクションタイトル

セクションタイトルを表示しています。

項目タイトル

項目ごとにNo.とタイトルがつけられています。

操作タイトル

操作目的ごとにタイトルがつけられています。

チェック

操作前におこなうことなどを記述しています。

ワンポイント

操作に関連することなどを記述しています。

基本操作

2. 地図の表示

●今いる場所（現在地）を表示する

① チェック2

エンジンスイッチをOFF (LOCK) にするとき、ONセグや外部入力の状態画面を表示していた場合は、エンジンスイッチをACC、またはONにしても現在地は表示されません。

1 エンジンスイッチをACC、またはONにする。

2 現在地画面で、 を押す。

●ルート案内中、現在地が道路の上のときは、走行中の道路に路線名があると、路線名が表示される場合があります。



●GPSの精度

取り付け後、およびバッテリーチャージを装着したあとは、実際の現在地と異なる場所に自ら位置マークが表示されていることがあります。しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。(場合によっては、数分程度かかることがあります。) GPS情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。(130 ページ参照)

●画面にタッチして地図を動かす

地図に直接タッチすると、タッチした地点を画面の中心に動かすこと（スクロール）ができます。

1 地図にタッチ。

●タッチした位置に、地図がスクロールされます。
●そのまま地図をタッチし続けると、連続して地図がスクロールされます。



●GPSの精度

●安全のため、走行中は地図を連続でスクロールできません。
●スクロールで地図を動かすと、地図が固定され、現在地が移動しても地図は動きません。
 を押すと、現在地画面にもどります。

① ワンポイント

本書では、一部を除きオプション機器が接続されている画面で説明しています。
ナビゲーションは、一部を除き2Dノースアップ表示の画面で説明しています。



セクション見出し

セクションの見出しを表示しています。

操作手順

操作の内容です。
番号の順に操作して
ください。

操作画面

操作する画面を表示しています。

次ページに続く

次のページに操作説明が
続くことを表示しています。

 ワンポイント

スイッチ表示について

パネルスイッチを押すときは、 や などでスイッチ名称を表示しています。

画面のタッチスイッチにタッチするときは、 でスイッチ名称を表示しています。

1つ前の画面にもどすときは、**もどる** にタッチするとタッチした画面で行った操作がキャンセルされます。(一部の機能では、キャンセルされないものがあります。)

3. 本機について

パネルスイッチとタッチスイッチ

本機はパネルに配置しているスイッチ（パネルスイッチ）を押したり、画面に表示されるスイッチ（タッチスイッチ）を直接タッチして操作します。

⚠ 重要

タッチスイッチは指でタッチしてください。
ボールペン、シャープペンシルの先など先端の硬い物や先端の鋭利な物で操作すると、故障の原因になることがあります。



番号	スイッチ	機能
①		ディスプレイを開くときや、画面の角度調整をするときに押します。
②		MENU（ナビ・オーディオ・設定／情報）画面を表示するときに押します。 画質を調整するときに1秒以上押します。
③		現在地を表示するときに押します。
④		オーディオの音量やハンズフリーの受話音量を調整するときに押します。
⑤	タッチスイッチ	画面に表示されたスイッチです。直接指でタッチします。

タッチスイッチの操作について

- 画面保護のため、タッチスイッチは指で軽くタッチしてください。
- タッチスイッチは、反応するまでタッチしてください。スイッチの反応がないときは、一度画面から手を離してから再度タッチしてください。

📌 ワンポイント

液晶画面に保護フィルム（保護フィルター）等を貼り付けないでください。タッチスイッチが正常に操作できなくなります。

本機を初めてご使用いただくとき

本機をお買い上げ後、初めてご使用になるときは、次の手順で同梱の地図SDメモリーカードを本機に差し込んでください。

△ 注意

- ディスプレイ部にジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。そのまま放置しておくと故障するおそれがあります。
- 熱やホコリからディスプレイを保護するため、出し入れするとき以外は、ディスプレイ部を閉じておいてください。
- 地図 SD メモリーカードの差し込み途中に、を押さないでください。
- ディスプレイを手で閉じないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- モニター収納時指などを差し込まないよう注意してください。ケガをしたり、故障の原因となります。
- 地図SD メモリーカードは ▲マークを奥にして、“カチッ”と音がするまで差し込んでください。奥のストッパーに突き当たると、それ以上は差し込めませんので、無理に力を加えないでください。
- ディスプレイ部を開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶などの物を置かないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- プログラム読み込み中は、エンジンスイッチをOFF (LOCK) にしないでください。

△ 重要

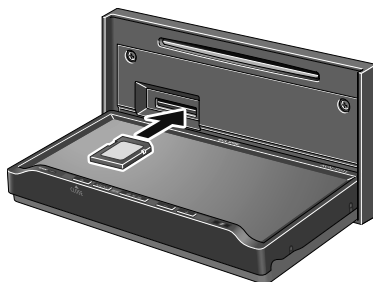
- 同梱の地図 SD メモリーカード以外は使用することができません。(地図データをコピーしたSDメモリーカードは使用することができません。)
- 本機以外での地図 SD メモリーカードのご使用は絶対に行わないでください。その際、破損した場合は保証できませんのでご容赦ください。(デジタルカメラへの挿入、パソコンでのフォーマット (初期化) などを行うと、地図データが全て消失します。)
- 同梱している地図 SD メモリーカードのフォーマット (初期化) は絶対に行わないでください。地図データが使用できなくなります。
- デジタルカメラや携帯音楽プレイヤーなど、他の機器に同梱されているSDメモリーカードは使用しないでください。

1 エンジンスイッチをONにする。
(エンジンをかける)

2 を押す。

3 差し込み口に、地図SDメモリーカードをロックした状態で“カチッ”と音がするまで差し込む。

- 地図 SD メモリーカードのロック解除は絶対に行わないでください。ロック解除状態で使用し、データが破損した場合、弊社は保証することができません。



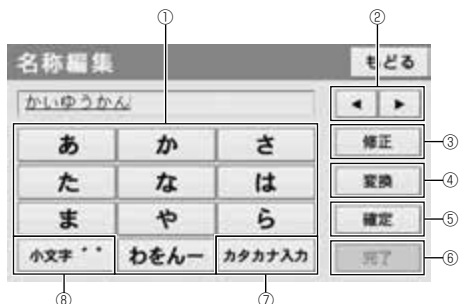
4 を押す。

3. 本機について

画面の基本的な使い方（文字を入力、タブを切替など）

文字を入力する

ひらがなや漢字の他、カタカナや数字、アルファベットなどを入力することができます。



番号	内容
①	あ ~ わ 行の同じ文字入力スイッチを続けてタッチすると、文字が順に送られ、入力されます。 例：「あ」→「い」→「う」→「え」→「お」
②	カーソルの位置を移動します。漢字に変換する場合、変換する文字の範囲を変更できます。
③	一文字ずつ消去されます。
④	漢字に変換します。
⑤	入力した漢字を確定させます。
⑥	入力を完了します。
⑦	タッチするごとに、次の順に入力する文字を変更できます。 ひらがな→カタカナ→アルファベット※→数字※
⑧	入力する文字の大文字と小文字を切替えます。 濁音、半濁音が順に送られ、入力されます。 例：「ㇿ」→「ㇿ」

※ お気に入り地点や登録したルートの名称を編集する場合に入力することができます。

ワンポイント

機能によっては、表示されない、または操作できない場合があります。

ページ、リスト、行を切替える

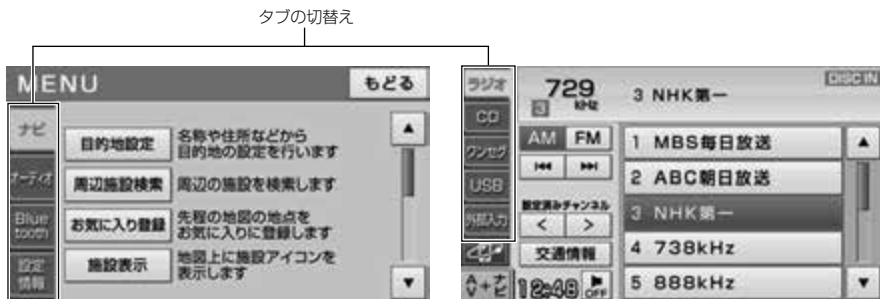
▲、または ▼ にタッチして、次ページに移動、または表示リストを切替えます。

また、画面上部に **あ** ~ **わ** 文字行が表示されている場合、その文字にタッチすると、行の切替えができます。



タブを切替える

各タブにタッチして画面を切替えます。



ワンポイント

本書内の操作説明は、タブの切替え方法を、「[〇〇] タブにタッチ」と説明しています。

3. 本機について

チェックボックス表示の画面

チェックボックスが表示された画面では、リストをタッチすることで、チェックボックスの選択・解除をすることができます。



電源を入れる・切る

本機の電源を入れる

1 エンジンスイッチをACC、またはONにする。

- プログラム読み込み画面、オープニング画面の順に表示されます。
- ナビゲーション画面、マルチ画面、オーディオ画面のうち、前回表示されていた画面を表示します。
- エンジンスイッチを OFF (LOCK) にすると、本機の電源が切れます。

ワンポイント

プログラム読み込み画面は、初めてお使いになるときなど、プログラムの読み込みが必要な場合に表示されます。プログラム読み込み画面の表示中は、本機を操作しないでください。

オーディオの電源を切る

1 **OFF** にタッチ。

- ナビゲーション画面が表示されている場合は、**AV+ ナビ** にタッチします。



ワンポイント

- ナビゲーション画面が表示されないときは、**現在地** を押してください。
- オーディオの電源が入らないときは、マルチ画面でソース切替タブにタッチしてください。詳しくは、「**マルチ画面**」(29ページ)を参照してください。
- ナビゲーションの電源は切ることができます。

ディスクについて

■ 使用できるディスクについて

- 音楽用CDは下記のマークのついたディスクが使用できます。



- DualDisc には対応していません。機器の故障の原因、およびディスクの出し入れの際にディスクに傷がつく原因になることがあるため、使用しないでください。
- CD-R (CD-Recordable)、CD-RW (CD-ReWritable) は、記録状態やディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。また、ファイナライズ処理されていないCD-R/RWは再生できません。
- CD-TEXT機能は市販のCD-TEXT対応CDのみ対応しています。CD-RやCD-RWでは文字が正常に表示されない場合があります。
- 記録部分に透明または半透明部分があるCD、C-thru Discは、正常に出し入れや再生ができなくなるおそれがありますので使用しないでください。
- スーパーオーディオCD (SACD) はハイブリッドディスクのCD層のみ再生できます。



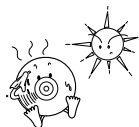
- CCCD (Copy Control CD) は正式なCD規格に準拠していないため再生できない場合があります。



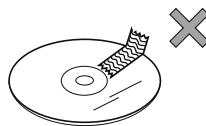
- CD-EXTRA は音楽CDとして再生することができます。
- Mixed Mode CDのデータトラックの音声は再生されません。音楽トラックのみの再生となります。また、DTSトラックが混在したCDは正常に再生されません。
- Video-CDは再生できません。
- MP3/WMA/AACは再生できません。

■ ディスクの取扱いについて

- ディスクは直射日光をさけ、必ずケースに入れて保管してください。ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあります。



- 記録面はもちろん、レーベル面にも紙テープを貼らないでください。故障の原因となります。



- ひびがはいったディスクやそりが大きいディスクは、使用しないでください。故障の原因となります。



- 記録面に触れないように持ってください。(虹色に光っている面) ディスクが汚れ、音とびをすることがあります。



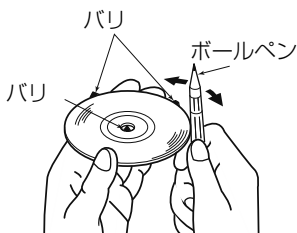
- 汚れたディスクを使用するとディスクに傷がつき、音とびをするおそれがあります。ディスクが汚れたときは、市販のディスク・クリーナーでディスクの内側中心から外側方向へ軽く拭きとってください。



3. 本機について

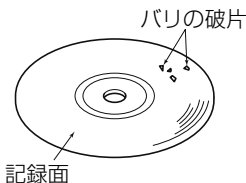
■ 新しいディスクについて

- 新しいディスクをご使用になると、ディスクのセンターホールや外周部に"バリ"があることがあります。"バリ"がついているときは、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。"バリ"がついているディスクを使用すると、ディスクを正しく認識できないなど、正常に動作しない場合があります。



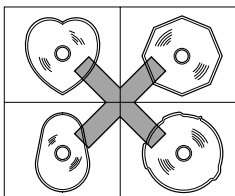
■ レンタルディスクについて

- ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。



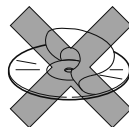
■ 特殊形状のディスクについて

- ハート型や八角形など特殊形状のディスクは、演奏できません。機器の故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。

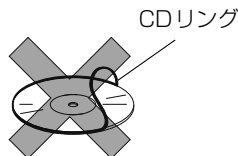


■ ディスクのアクセサリーについて

- 音質向上やディスク保護用として市販されているアクセサリー（スタビライザー、保護シールなど）、CDラベルなどは使用しないでください。ディスクの厚さや外形寸法が変わるため、故障の原因となる場合があります。



- 音質向上や防振効果を高めるCDの保護用として市販されているアクセサリー（CDリング・プロテクター）は使用しないでください。内部ではずれて再生できなくなったり取り出せなくなるため、故障の原因となる場合があります。



ワンポイント

- 寒いときや雨降りるときは、車内のガラスが曇るように、本機内部にも露（水滴）が生ずることがあります。（結露現象）この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。
- プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。
- 悪路走行などで激しく振動した場合、音とびをすることがあります。

CD、地図SDメモリーカードを入れる・出す

▲ 注意

- ディスプレイ部にジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。そのまま放置しておくで故障するおそれがあります。
- 熱やホコリからディスプレイを保護するため、出し入れするとき以外は、ディスプレイ部を閉じておいてください。
- CD、または地図SDメモリーカードの差し込み途中に、**CLOSE** にタッチ、または  を押さないでください。
- ディスプレイを手で閉じないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- モニター収納時指などを差し込まないように注意してください。ケガをしたり、故障の原因となります。
- 本機からディスク、またはSDメモリーカードを取り出すときは水平方向に引き出してください。上側に強く引き出さないでください。また、下側にも強く押しながら引き出さないでください。ディスクに傷がつき、音とびしたり、SDメモリーカードを破損するおそれがあります。
- CD、地図SDメモリーカードを取り出す際、下記に注意してください。

<A/T車>

Pレンジで干渉する場合は、Nレンジに切り替えてから操作してください。(コラムA/Tの場合はPまたはNレンジで操作してください。)

<M/T車>

1・3・5・⑥ポジションで干渉する場合は、ニュートラルに切り替えてから操作してください。

🏠 チェック

- CD や地図 SD メモリーカードを出し入れする際は、指などがディスプレイに触れないように注意してください。
- **CLOSE** にタッチするとディスプレイが閉じます。
- インクジェットプリンタでのレーベル印刷に対応しているディスクは、正常に出し入れできない場合があります。

CDを入れる

▲ 重要

本機は8cm CDを再生することができます。故障の原因となるため、アダプタ等は使用せず、そのまま差し込んでください。

1

 を押す。

2

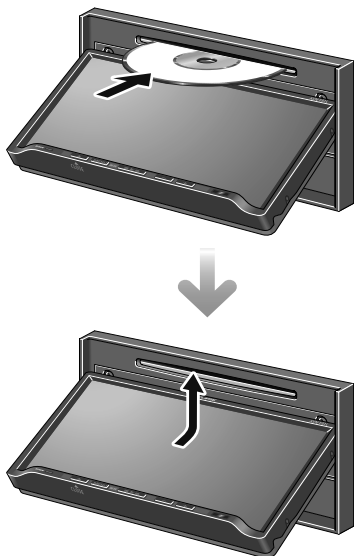
▲ DISC を入れる にタッチ。



3. 本機について

3 ラベル面を上にし、CDを差し込み口に差し込む。

- CD差し込み後、自動でディスプレイが閉じて、音楽が再生されます。



CDを取り出す

⚠ 重要

各ディスクを取り出すとき、押し出された状態のままディスプレイを閉じないでください。本機およびディスクにキズがつくおそれがあります。

1  を押す。

2 **▲DISCを取り出す** にタッチ。

- 自動でCDが押し出されます。



3 CDを取り出し、**CLOSE** にタッチ。

地図SDメモリーカードを入れる

⚠ 注意

- 地図SDメモリーカードは▲マークを奥にして、“カチッ”と音がするまで差し込んでください。奥のストッパーに突き当たると、それ以上は差し込めませんので、無理に力を加えないでください。
- ディスプレイ部を開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶などの物を置かないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。

▲ 重要

- 同梱の地図SDメモリーカード以外は使用することができません。(地図データをコピーしたSDメモリーカードは使用することができません。)
- 本機以外での地図SDメモリーカードのご使用は絶対に行わないでください。その際、破損した場合は保証できませんのでご容赦ください。(デジタルカメラへの挿入、パソコンでのフォーマット(初期化)などを行うと、地図データが全て消失します。)
- 同梱している地図SDメモリーカードのフォーマット(初期化)は絶対に行わないでください。地図データが使用できなくなります。
- デジタルカメラや携帯音楽プレイヤーなど、他の機器に同梱されているSDメモリーカードは使用しないでください。

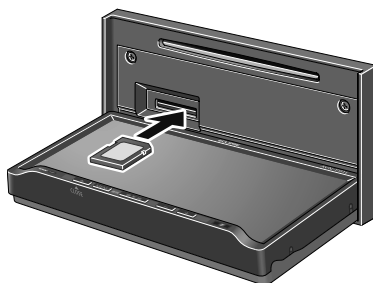
1 |  を押す。

2 | **Full OPEN** にタッチ。



3 | 差し込み口に、地図SDメモリーカードをロックした状態で“カチッ”と音がするまで差し込む。

- 地図SDメモリーカードのロック解除は絶対に行わないでください。ロック解除状態で使用し、データが破損した場合、弊社は保証することができません。



4 | **CLOSE** にタッチ。

地図SDメモリーカードを取り出す

1 |  を押す。

2 | **Full OPEN** にタッチ。



3 | 地図SDメモリーカードを軽く押しで取り出す。

4 | **CLOSE** にタッチ。

3. 本機について

ディスプレイの角度を調整する

⚠ 注意

ディスプレイの角度調整をするときは手などはさまないよう注意してください。けがの原因や、ディスプレイの故障の原因になります。

⚠ 重要

- ディスプレイがTILT状態のときに上部のすき間からディスクを差し込まないでください。本機およびディスクにキズがつくおそれがあります。
- ディスプレイの角度調整をする際、下記に注意してください。

<A/T車>

チルト位置を設定する際、PまたはⒶ、Nレンジで手などが干渉しないように設定しご使用ください。(走行レンジで干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。)

<M/T車>

チルト位置を設定する際、1・3・5・Ⓐポジションで手などが干渉しないように設定しご使用ください。(干渉する場合はチルト位置の設定をしないでください。)

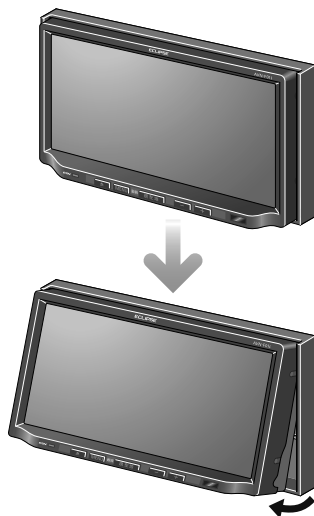
1  を押す。

2 角度調整の  または  にタッチ。

1段階(5°)ずつもどる(最大6段階)



1段階(5°)ずつ傾く(最大6段階)



3 調整後、 を押す。

ワンポイント

- ディスプレイを傾けた状態でも、ディスプレイを開くことができます。ディスプレイを閉じると、元の傾いた状態にもどります。
- ディスプレイを傾けた状態でエンジンスイッチをOFF (LOCK) にすると、自動的に傾いていない状態になります。次にエンジンスイッチをACC、またはONにしたときは、元の傾いた状態にもどります。

液晶パネルの性質

- 液晶パネルは斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりすることがあります。
- 太陽の光などの外光が表示部にあたると画面が見えにくくなります。

4つの主な操作画面

本機には大きく分けて「マルチ」・「ナビゲーション」・「オーディオ」・「MENU」の4つの操作画面があります。

1



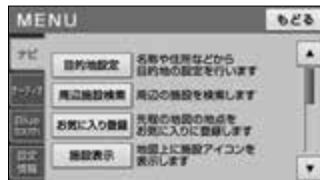
2



3



4



番号	操作画面	主な機能
1	マルチ	● ナビゲーション画面とオーディオ操作画面の同時表示 ● 各オーディオソースの操作・切替え ● ナビゲーション画面の操作・表示
2	ナビゲーション	● 現在地の表示 ● 目的地の案内 ● 地点（自宅・お気に入り地点）の登録 ● マルチ画面への切替えなど
3	オーディオ	● ワンセグの受信 ● CDプレーヤーの操作 ● USBメモリの操作 ● iPodの操作（別売） ● Bluetooth Audioの操作 ● AM・FM放送の受信 ● マルチ画面への切替えなど
4	MENU	● ナビメニューの表示 ● 目的地の設定、VICSの設定など ● オーディオメニューの表示 ● 音設定、画質調整など ● Bluetoothメニューの表示 ● ハンズフリー、Bluetooth Audioの設定など ● 設定／情報メニューの表示 ● FM VICSの受信、ESNの設定、各種設定など

3. 本機について

各機能の操作条件一覧

本機の機能は、次の条件（エンジンスイッチの位置）により、操作できる場合とできない場合があります。

○：操作できます ×：操作できません

各機能	エンジンスイッチ				
	OFF (LOCK)	ACC	ON停車中※2	ON走行中	ディスプレイがオープン状態
ナビゲーション／ 情報	×	○	○	走行中は安全上の 配慮などから、操 作できなくなる機 能があります	×
オーディオ※1 (映像を伴わない オーディオソース)	×	○	○	走行中は安全上の 配慮などから、操 作できなくなる機 能があります	×
オーディオ※1 (映像を伴うオー ディオソース)	×	○	○	走行中は安全上の 配慮などから、操 作できなくなる機 能があります※3	×
赤外線通信機能	×	○	○	走行中は安全上の 配慮などから、操 作できなくなる機 能があります	×
Bluetooth 通信機能	×	○	○	走行中は安全上の 配慮などから、操 作できなくなる機 能があります	×
ディスクの出し入 れ／ディスプレイ の角度調整	×	○	○	○	ディスプレイの 角度調整はでき ません

※1 映像を伴わないオーディオソース：FM、AM、CD、iPod、USBメモリ、Bluetooth Audio

映像を伴うオーディオソース：ワンセグ、外部入力

※2 パーキングブレーキがかかっている状態。

※3 映像は表示されません。

ワンポイント

操作できないスイッチは、色がトーンダウンし、操作できません。また、走行中に操作できないスイッチを操作すると、画面に操作禁止メッセージが表示されることがあります。

各操作画面を表示する

マルチ画面

オーディオ操作画面とナビゲーション画面を左右に分割して同時に表示したり、ワンセグや外部入力映像画面とナビゲーション画面を同時に表示することができます。

■ オーディオ操作画面+ナビゲーション画面



AV+ ナビ にタッチ。



ナビ にタッチ。



AV にタッチ。



AV+ ナビ にタッチ。



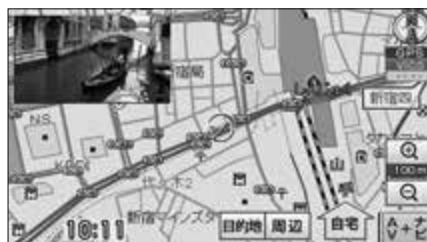
■ 映像画面+ナビゲーション画面



映像+ナビ にタッチ。



映像画面にタッチ。



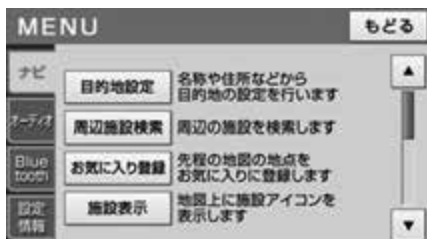
- 地図にタッチして動かすと、映像画面は解除されます。**現在地**を押すと、再度映像画面と地図画面を同時に表示することができます。

① ワンポイント

映像画面+ナビゲーション画面は、オーディオソースがワンセグ、または外部入力るとき表示することができます。

MENU画面

MENU を押す。



3. 本機について

ナビゲーション画面

現在地 を押す。



ワンポイント

- ナビゲーション画面表示中に次の操作をする
と、オーディオの作動状態をオンスクリーンで
表示します。
 - ・ CDを差し込んだとき
 - ・ USBメモリやiPodを取りはずしたとき
 - ・ ハンズフリー機能（通話中、発信中、応答保
留中）の操作を終了したとき
 - ・ ステアリングスイッチの (A)・(V)、または
(MODE) を操作したとき (187 ページ参照)
- オンスクリーン表示はしばらくすると自動で
解除されます。

オンスクリーン表示



オーディオ操作画面

マルチ画面で **AV** にタッチ。

- ナビゲーション画面が表示されている場合は、
AV+ ナビ、**AV** の順にタッチします。

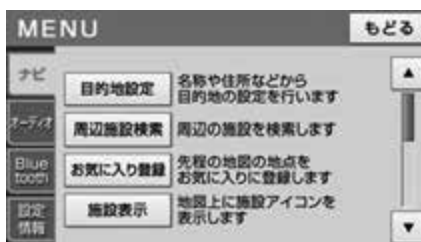


MENU画面の基本操作

MENU画面から、ナビゲーションやオーディオ、Bluetooth機能、その他機能の各種設定や編集をすることができます。

1  を押す。

2 [ナビ] タブ、[オーディオ] タブ、[Bluetooth] タブ、[設定／情報] タブのいずれかにタッチ。



● 各MENU画面で設定できるのは次の項目です。

タブ	スイッチ	ページ
ナビ	目的地設定	65
	周辺施設検索	74
	お気に入り登録	105
	施設表示	64
	ルート確認	81
	ケータイリンク	34
	VICS表示	118
	ナビ編集	82、90、107、110
オーディオ	音設定	142
	画質調整	42
	チャンネル設定	146、160
Bluetooth	電話	200
	カンタンペアリング	40
	ハンズフリー設定	195、197、210、213、217、219
	Bluetooth Audio設定	173、180
設定／情報	ESN	46
	案内音量設定	58
	アプリ連携案内音声設定	59
	詳細設定	32
	システムチェック	132
	バージョン	131

3. 本機について

お好みの設定に変える（詳細設定項目一覧）

ナビゲーションに関する設定や、カメラのガイド線表示の設定などお好みにあわせて設定／変更することができます。

項目		機能概要	初期状態	ページ
ルート探索条件の設定	ルート探索時の初期条件設定	ルート探索の条件（距離優先や主要道路優先など）を設定することができます。	標準	79
	車種設定	有料道路の料金計算の基準として、車両のタイプを設定することができます。	普通車	
	ルート探索時のスマートIC考慮	高速道路を通るルートを探した場合、スマートICを通るルートを探することができます。	しない	
地図向き変更		地図の向きを変更することができます。	ヘディングアップ	62
地図上の文字サイズ変更		地図に表示されている名称（文字）の大きさを切り替えることができます。	標準	57
自車位置マークの変更		地図に表示される自車位置マークを変更することができます。	ノーマル	56
走行軌跡の表示設定		走行した道路の軌跡を保存し、表示することができます。	表示しない	61
操作音の設定		パネルスイッチを押したときや、タッチスイッチにタッチしたときの操作音を設定することができます。	1	42
FM VICSの設定	渋滞・混雑情報の表示	渋滞・混雑情報を表示することができます。	する	117
	空いている道路の表示	空いている道路を表示することができます。	する	
	事象・規制情報の表示	事象・規制情報（事故や交通規制など）を表示することができます。	する	
	駐車場情報の表示	駐車場情報（名称など）を表示することができます。	しない	
	VICS音声案内	目的地案内中にVICS情報を受信したとき、音声で案内することができます。	する	
	FM VICSの選局設定	FM VICSの放送局を選局することができます。	オート	114
到着予想時刻の設定		時刻表示を、アナログ/デジタル表示に切り替えることができます。	アナログ	98
		到着予想時刻や所要時間などを計算する基準として、平均車速を設定することができます。	一般道：30km/h 有料道：80km/h	
細街路案内時の自動縮尺		目的地案内中に細街路を走行したとき、地図の縮尺を自動で切り替えることができます。	自動縮尺する	96
合流案内の設定		目的地案内中に有料道路の合流地点に近づくと、音声案内をすることができます。	案内する	97

項目	機能概要	初期状態	ページ
踏切案内の設定	目的地案内中に踏切に近づくと、音声案内をすることができます。	案内する	98
ラジオアンテナ	お車のラジオアンテナがオートアンテナの場合、ラジオアンテナを強制的に下げることができます。	上げる	45
画面切替時の動画表現	画面を切り替えるとき、ゆっくりした動きの表現に変更することができます。	する	57
現在地の修正	現在地と異なる場所に自車位置マークが表示されているとき、位置と方向を修正することができます。	-	130
バックカメラガイド線表示	バックアイカメラのガイド線を調整することができます。	-	126
ステアリングスイッチ	お車がステアリングスイッチ設定車の場合、お車の車両メーカーを選んで、ステアリングスイッチの操作を設定することができます。	-	184

① ワンポイント

詳細設定画面で **設定初期化** にタッチすると、すべての項目が初期設定の状態にもどります。

システムアップ製品の紹介

バックアイカメラ

別売の「バックアイカメラ」を接続すると、本機のモニター画面に自動で後方のカメラ映像を映すことができます。

バックアイカメラの詳細は、「バックアイカメラの操作」（125ページ）を参照してください。

接続コード

- 別売の「ビデオ接続コード」に市販の外部入力機器を接続すると、ビデオをご覧になることができます。「外部入力の使い方」（165ページ参照）
- 別売の「iPod接続コード」を同梱の「USB接続コード」に接続すると、iPodの音楽ファイルを再生することができます。「iPodプレーヤーの使い方」（168ページ参照）

4. E-iSERVについて

携帯電話を使ってE-iSERV (ECLIPSE information SERVICE)にアクセスすると、ケータイリンク機能のアプリケーションソフトをダウンロードすることができます。ダウンロードした機能は、赤外線通信を使って本機に読み込むことができます。

ダウンロードされるケータイリンク機能：

- ・モクテキチネット
- ・Pic-CLIP※
- ・助手席リモコン※

※ 本機は対応していません。

- モクテキチネットとは、パソコンや携帯電話から専用サイトへアクセスし、検索した目的地のマップコードを専用のアプリケーションソフトで送信することができる機能です。詳しくは、「赤外線通信で送信する」(35ページ)、「赤外線ケータイリンクで呼び出す」(73ページ)を参照してください。



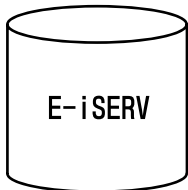
赤外線通信

2次元バーコード
(QRコード)



アプリケーション
ソフトのダウンロード

アクセス



E-iSERV

ケータイリンクのアプリ をダウンロードする

E-iSERVにアクセスして、アプリケーションソフトをダウンロードします。

ダウンロードしたあとは、ケータイリンク機能の、モクテキチネットのサービスを利用できます。

警告

走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

チェック

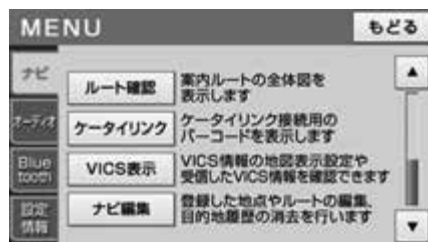
- 2次元バーコード (QRコード) の読み取りに対応している携帯電話でご利用いただけます。
- 携帯電話の動作確認機種は、弊社ホームページおよびE-iSERVを参照してください。
- ケータイリンク、ケータイ版E-iSERVは、スマートフォン対象外です。

1

[MENU] を押す。

2

[ナビ] タブにタッチし、**ケータイリンク** にタッチ。



3 携帯電話でバーコードを読み込む、 またはURLを入力してE-iSERVに アクセスする。



2次元バーコードを拡大／縮小

- URL :
<http://www.e-iserv.jp/dpmobile/dispTop.do>
- 2次元バーコード :



④ ワンポイント

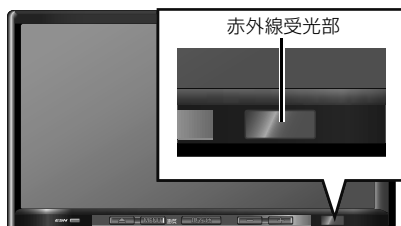
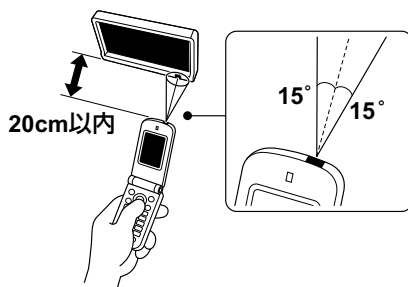
- 携帯電話の操作については携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 2次元バーコードの読み取りは、携帯電話各社で完全に保証されておりません。また、読み取り環境や条件によって読み取りが困難になることがあります。
- 2次元バーコードが読み取れないときは、2次元バーコードのサイズを変更する、または携帯電話および本機の画面の明るさを変えることで読み取ることができる場合があります。
- 携帯電話の通信料金はお客様のご負担になります。
- QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- ケータイリンクは富士通テン株式会社の登録商標です。

ケータイリンク®

赤外線通信で送信する

E-iSERVからダウンロードした情報は、携帯電話の赤外線通信を使用して、本機に読み込むことができます。

通信の規格上、双方向の通信が必要なため、近づけて操作する必要があります。操作するときは携帯電話と本機の受光部をまっすぐ近づけて送信し、通信終了までそのままお待ちください。



5. アプリ連携機能について

アプリ連携機能のご紹介

アプリ連携機能とは、対応のiPhoneにアプリをインストールすることで、アプリを使って本機とiPhoneを連携させることができる機能です。

各アプリの詳細は、以下のサイトをご確認ください。

- パソコンから確認する場合：
<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/pc/manual/index.html>
- iPhoneから確認する場合：
<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/smapho/manual/index.html>



対応しているiPhone

対応のiPhone機種やOSバージョンについては、ECLIPSEホームページ「お客様サポート」(<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/>)をご確認ください。

アプリ画面を表示する

① チェック

事前にアップルストアにて対応アプリをiPhoneにインストールしてください。

1 本機とiPhoneを接続。

- 「iPodを接続する／取りはずす」(168ページ)を参照してください。

2 iPhoneでアプリを起動する。

- 対応アプリを、最前面に表示してください。

3  にタッチ。



- ナビゲーション画面の場合、**AV+ ナビ** にタッチします。

④ ワンポイント

- アプリ画面を終了する場合、**現在地** を押します。
- アプリ連携機能では、シングルタッチのみ対応しています。下記のような操作はできません。
 - ・フリック／ドラッグ操作
 - ・マルチタッチ操作
 - ・ダブルタップ
- アプリの切り替えは、iPhone側で行います。アプリを切り替えする時は、安全な場所に停車してから行ってください。

6. Bluetooth®通信機能について

本機では次の機能を利用することができます。各機能をご利用いただくには、Bluetooth機器を本機に登録する必要があります。

- Bluetooth ケータイリンク機能：Bluetooth 携帯電話※で検索した位置情報や施設情報を本機に転送し、目的地に設定することができます。(69 ページ参照)
 - ハンズフリー機能：Bluetooth 携帯電話※を直接操作することなく、電話をかけたり電話を受けたりすることができます。(192 ページ参照)
 - Bluetooth Audio 機能：Bluetooth 無線技術を搭載した機器（携帯電話など）に収録されている音楽を再生することができます。(173 ページ参照)
- ※ 動作確認済の携帯電話の機種については、ECLIPSE ホームページ「お客様サポート」(<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/>) をご確認ください。

ワンポイント



Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc が所有する登録商標であり、富士通テン株式会社はこれら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有者が所有する財産です。
本機は、電波法に基づく特定無線設備の工事設計の認証を取得しています。

Bluetooth®機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。（上記3種の無線局を以下「他の無線局」と略します）

この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。

この機器の使用周波数帯は2.4GHz帯です。
変調方式としてFH-SS変調方式を採用しています。

想定干渉距離は10m以下です。

この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

ワンポイント

- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

6. Bluetooth®通信機能について

お車を手放すとき

Bluetooth Audioやハンズフリー機能を使用すると、多数の個人情報登録されます。
お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。(51 ページ参照)
なお、個人情報の初期化を行うと、二度ともとの状態にもどることはできません。間違えて初期化してしまわないよう、ご注意ください。

表示されるアイコンの紹介



●ハンズフリー操作画面



●Bluetooth Audio操作画面

番号	表示	機能
①	受信レベル表示	電波の受信レベルの目安を表示します。ただし、データの転送中は表示されません。 圏外 圏外 弱 強
②	Bluetooth 接続状態表示	Bluetooth機器のBluetooth接続状態を表示します。 ● ハンズフリー操作画面の場合 BT ...① BT ...② BT ...③ ● Bluetooth Audio操作画面の場合 BT ...① BT ...② BT ...③ ① 青色表示：Bluetooth接続の状態が良好であることを示しています。 ② 黄色表示：この状態では通話時や音楽再生時に音質が劣化することがあります。 ③ 切断表示：本機とBluetooth 対応機器が接続されていないか、接続範囲外に離れています。本機と携帯電話を接続するか、表示が消える距離まで本機と携帯電話を近づけてください。
③	電池残量表示	Bluetooth機器の電池残量の目安を表示します。ただし、データ転送中は表示されません。 無 少 多

ワンポイント

- 受信レベル表示は状況によって次のようになることがあります。
 - ・「圏外」の表示が出ているときは、サービスエリア外または電波の届かない場所にいます。この場合は、携帯電話本体も使用できません。「圏外」の表示が消えるところまで移動してください。
 - ・受信レベルは携帯電話の表示と一致しないことがあります。また、機種によっては、受信レベルの表示ができないことがあります。
- 電池残量レベル表示は状況によって次のようになることがあります。
 - ・電池残量表示は Bluetooth 機器の表示と一致しないことがあります。また、機種によっては、電池残量の表示ができないことがあります。
 - ・Bluetooth 機器を充電中は、電池残量が最大で表示されます。
- 本機には Bluetooth 機器の充電機能はありません。
- Bluetooth 通信用の車両側アンテナが本機に内蔵されています。
- 次のような場所や状態で Bluetooth 機器を使用すると、Bluetooth 接続状態表示が黄色になることや、Bluetooth 接続ができないことがあります。この場合、青色の表示が出るように、Bluetooth 機器の場所を移動させてください。
 - ・Bluetooth 機器がディスプレイから隠れる場所にあるとき（Bluetooth 機器がシートのうしろや下にあるとき、またはグローブボックス内やコンソールボックス内にあるときなど）
 - ・Bluetooth 機器が金属製のものに接したり、覆われているとき
- 携帯電話を省電力モードに設定していると、自動的に Bluetooth 接続が切断されてしまうことがあります。この場合は、携帯電話の省電力モードを解除してください。

6. Bluetooth®通信機能について

Bluetooth®機器を登録する (カンタンペアリング)

カンタンペアリング機能を使うと、周辺にあるBluetooth機器を本機側で探して、ハンズフリー機器およびBluetooth Audio機器として登録することができます。ハンズフリー機器およびBluetooth Audio機器は、本機に最大5台ずつ登録することができます。

チェック

- 仕様に对应した Bluetooth 機器のみ登録することができます。
 - ・ハンズフリー (193 ページ参照)
 - ・Bluetooth Audio (173 ページ参照)
- Bluetooth機器のBluetooth待ち受けをONにするなど本機と接続できる状態にします。Bluetooth機器側の操作については、各機器の取扱説明書を参照してください。

1 **MENU** を押す。

2 [Bluetooth] タブにタッチし、**カンタンペアリング** にタッチ。

- すでにBluetooth機器が登録可能台数を超えている場合、確認のメッセージが表示されます。その場合、**了解** にタッチし、Bluetooth機器の登録を削除してから再度登録してください。**「Bluetooth®機器の登録を削除する」** (183 ページ参照)、**「携帯電話の登録を削除する」** (212 ページ参照)
- すでにBluetooth機器がBluetooth 接続されているときは、確認メッセージが表示されます。**「はい」** にタッチすると、Bluetooth機器を登録することができます。



3 登録するBluetooth機器にタッチ。



4 画面に表示されているパスキーを、登録するBluetooth機器に入力する。



5 **了解** にタッチ。

- 登録が完了するとメッセージが表示されます。
- 登録する Bluetooth 機器の仕様により表示されるメッセージが異なります。



ワンポイント

- Bluetooth 機器によっては、カンタンペアリング機能で登録できないことがあります。Bluetooth Audio 設定画面 (173 ページ参照)、またはハンズフリー設定画面 (195 ページ参照) から登録してください。
- パスキーとは、Bluetooth 機器を本機に登録するための番号です。4～8桁の任意の数字に変更することができます。「**パスキーを変更する**」(181 ページ参照)、「**パスキーを変更する**」(220 ページ参照)
- Bluetooth 機器を登録すると、最後に登録した機器が使用する機器として選択されます。複数登録している場合は、使用する機器を選択することができます。「**Bluetooth®対応機器を切替える**」(180 ページ参照)、「**使用する携帯電話を選択する**」(210 ページ参照)
- すでにハンズフリー機器を5台登録している、または Bluetooth Audio 機器を5台登録している場合、それ以上登録することができません。ハンズフリー機器、または Bluetooth Audio 機器を削除してから登録してください。「**Bluetooth®対応機器の登録を削除する**」(183 ページ参照)、「**携帯電話の登録を削除する**」(212 ページ参照)
- 携帯電話の設定によっては、Bluetooth 接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除してご使用ください。

7. 本機の設定

本機は次の設定をすることができます。

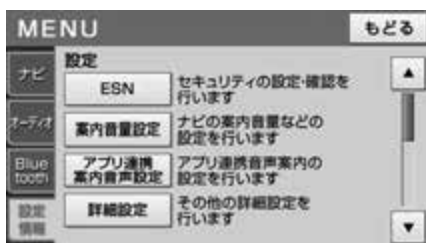
- 操作音の設定 (42 ページ参照)
- 画面の調整・設定 (42 ページ参照)
- ラジオアンテナの設定 (45 ページ参照)
- ESN (ECLIPSE Security Network) の設定 (46 ページ参照)
- 設定内容の初期化 (51 ページ参照)

スイッチの操作音を変える

パネルスイッチを押したときや、タッチスイッチにタッチしたときの操作音を設定することができます。

1 **MENU** を押す。

2 [設定／情報] タブにタッチし、**詳細設定** にタッチ。



3 操作音の設定の **1**、**2**、**3**、**4**、**OFF** のいずれかにタッチ。



4 **もどる** にタッチ。

画面の表示・設定を変える (画質調整など)

車のライト点灯時の画面を調整する

画面を見やすくするため、ライト（車幅灯、尾灯、番号灯）の点灯・消灯により〈昼画表示〉と〈夜画表示〉に切替わります。

取り付けの車種により、ライトの点灯、消灯を本機が検出できない場合があります。その場合は、手動で〈昼画表示〉と〈夜画表示〉を切替えてください。

- ライト消灯時…〈昼画表示〉



- ライト点灯時…〈夜画表示〉



1 **MENU** を“ピッ”と音がするまで押す。

2 昼画（夜画）表示のときに **夜画面**（**昼画面**）にタッチ。

- タッチするごとに、夜画表示と昼画表示が切替わります。



ワンポイント

本機の電源を入ると、パネルスイッチは常時点灯します。

画面を消す

- 1 **MENU** を“ピッ”と音がするまで押す。

- 2 **画面消** にタッチ。

- 再度、画面を表示させるには **現在地** を押します。



7. 本機の設定

画質を調整する

1 **MENU** を“ピッ”と音がするまで押す。

2 それぞれの項目を調整する。

- 調整できるのは次の項目です。
 - ・色合い（映像画面時のみ）
 - ・色の濃さ（映像画面時のみ）
 - ・コントラスト
 - ・明るさ



● 映像画面時以外



● 映像画面時

- 明るさの、ライト消灯時の初期設定は、一番明るい状態になっています。

ワンポイント

昼画・夜画それぞれ独立して調整することができます。

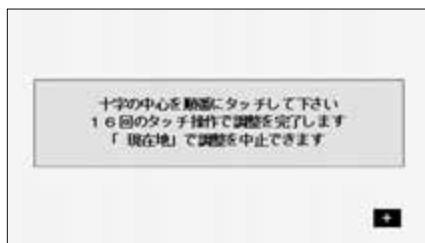
画面のタッチ位置を調整する

タッチスイッチを操作しているときに、実際のタッチ位置と画面の反応にずれを感じた場合、調整することができます。

1 **MENU** を“ピッ”と音がするまで押す。

2 画質調整画面が表示されたら、さらに **MENU** を1秒以上押す。

3 画面にしたがってタッチ。



ワンポイント

調整するときは、**+** の中心にタッチしてください。**+** の中心以外の場所にタッチした場合、正しく調整されない場合があります。

ラジオアンテナを設定する (オートアンテナ車)

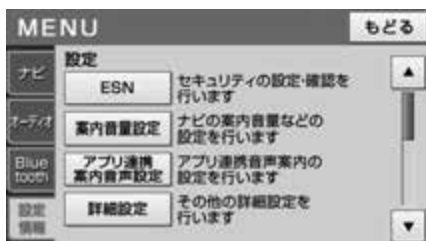
お車のラジオアンテナがオートアンテナの場合、ラジオ受信時以外にもラジオアンテナが上がったままになります。このときは、本機から強制的にラジオアンテナを下げるができます。

▲ 重要

ラジオアンテナを下げたまま、エンジンスイッチをOFF (LOCK) にした場合、次にエンジンスイッチをACC、またはONにしても、ラジオアンテナは下がったままになります。ラジオアンテナを上げるときは、設定画面で、**上げる** にタッチしてください。

1 **MENU** を押す。

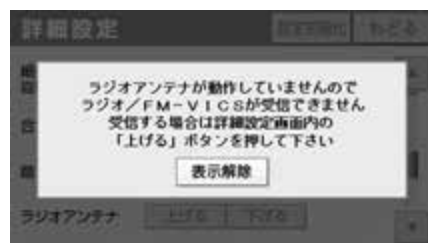
2 [設定／情報] タブにタッチし、**詳細設定** にタッチ。



3 ラジオアンテナの **上げる**、または **下げる** にタッチ。



- **下げる** にタッチしたときは、メッセージを確認後、**表示解除** にタッチします。



4 **もどる** にタッチ。

④ ワンポイント

ラジオアンテナを下げた状態では、VICS情報を受信することができません。VICS情報を受信する場合、ラジオアンテナを **上げる** に設定してください。

7. 本機の設定

セキュリティ (ESN) を設定する

ESN (ECLIPSE Security Network) は、バッテリーターミナルをはずして再度接続した場合に、本機をロックする (操作できなくする) セキュリティ機能です。

ESN 作動中にセキュリティインジケータが点滅するように設定したり、エンジンスイッチを OFF にするたびに本機をロックするように設定することもできます。



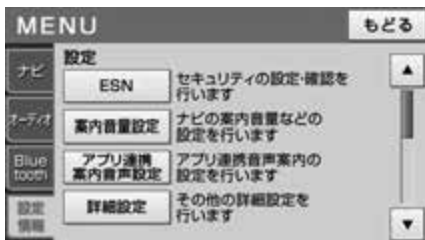
ESN を作動する

🏠 チェック

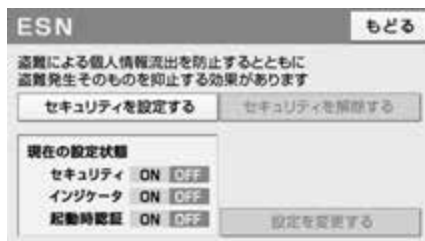
ESN の設定は 4 桁の暗証番号が必要です。

1 | **MENU** を押す。

2 | [設定／情報] タブにタッチし、**ESN** にタッチ。

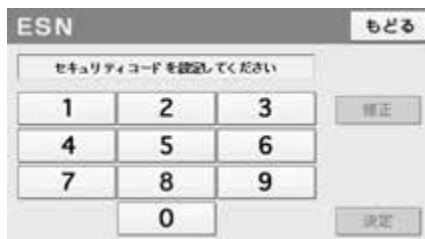


3 | **セキュリティを設定する** にタッチ。



4 | 暗証番号を入力し、**決定** にタッチ。

- 暗証番号は、他人にわかりにくい番号にしてください。



5 | もう一度、手順 4 で入力した暗証番号を入力し、**決定** にタッチ。

6 | **はい** にタッチ。



- 7 インジケータや起動時認証の **ON**、または **OFF** にタッチして設定する。



- 8 **もどる** にタッチ。

ワンポイント

登録した暗証番号は、セキュリティを解除するときに必要になります。登録した暗証番号を忘れたときの確認用にメモなどしておくことをおすすめします。

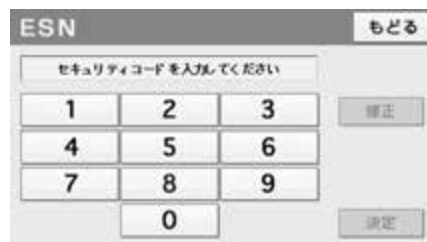
ESNのロック／起動時認証を解除する

ESNのロックがかかっている場合や、起動時認証の設定をしている場合、暗証番号を入力してロックを解除します。

- 1 **了解** にタッチ。



- 2 暗証番号を入力し、**決定** にタッチ。



ワンポイント

- 起動時認証を **ON** に設定していた場合（46 ページ参照）、ESNのロックを解除しても、起動時認証の設定は **ON** のまま保持されますが、ESNの設定を解除した場合（49 ページ参照）は、起動時認証の設定も解除されます。
- 暗証番号が5回照合できなかった場合、次の画面が表示されます。その場合は、「ESNのロック解除／起動時認証の解除に5回連続で失敗したとき」（48 ページ参照）を参照してください。



7. 本機の設定

■ ESNのロック解除／起動時認証の解除に5回連続で失敗したとき

ロックを解除するには、解除キーの入力が必要です。

解除キーは携帯電話からE-iSERVにメールを送ると取得することができます。

1 携帯電話で、2次元バーコードを読み取り、メーカーを立ち上げる。

- 2次元バーコードは、セキュリティ保護のため、Web上では公開しておりません。製品に同梱されている「取扱説明書」の229ページを参照してください。
- 携帯電話に、宛先アドレスを入力済みのメール作成画面が表示されます。

2 **了解** にタッチ。



3 メールタイトルのシリアルNo. (8桁)、本文に前回のコード (6桁) を入力する。



4 メールを送信する。

- 今回のコードが記載されたメールが、E-iSERVより返信されます。

5 今回のコードを入力し、**決定**にタッチ。

- 画面切替え確認メッセージが表示されるまで **HELP** にタッチすると、「お客様相談窓口へお問い合わせ下さい」のメッセージが表示され、操作できなくなります。この場合、お買い上げの販売店、またはお客様相談窓口（☎ 0120-022210）までご連絡ください。



- 5 回照合できなかった場合、「お客様相談窓口へお問い合わせ下さい」のメッセージが表示され、操作できなくなります。この場合、お買い上げの販売店、またはお客様相談窓口（☎ 0120-022210）までご連絡ください。

① ワンポイント

- 本機能はNTT docomo、au、SoftBankの3キャリアに対応しています。（一部の携帯電話やドメインには対応していません。）対応機種の詳細は、ECLIPSE ホームページ「お客様サポート」（<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/>）をご確認ください。
- 携帯電話以外（パソコンなど）から送信されたメールや、ファイルが添付されているメール（デコメールやHTMLメールなど）には対応していません。
- メールにはシリアルNo.や前回のコード以外の文字を入力しないでください。桁数が違う場合や、英数字以外の文字が入力されている場合、エラーメールが返信されます。
- 携帯電話がE-ISERV (esn_admin@eismail.ten.fujitsu.com) からのメールを受信できるよう設定しておいてください。
- メールサーバーの通信状況やメンテナンス状況によっては、メールの返信に時間がかかる場合があります。

- E-ISERVのメンテナンス等サービスに関する情報は、ホームページでご確認ください。
<http://www.e-iserv.jp/top/index.html>
- ESN では、解除コード取得の際、お客様の携帯電話から送られたメールや個人情報については、厳重管理のもとサーバーに保存致しますが、警察からの捜査協力依頼があった場合、保存している個人情報を提供します事をご了承ください。

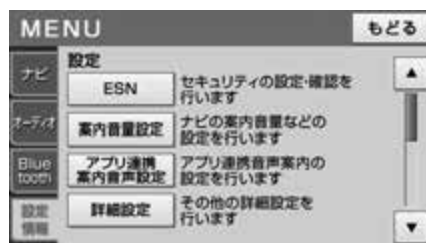
ESNの設定を解除する

① チェック

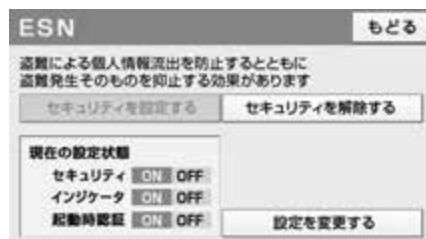
ESNを解除した場合、起動時認証も解除されます。起動時認証のみを解除したい場合は、「**ESNの設定を変更する**」（50ページ）を参照してください。

1 **MENU** を押す。

2 「設定／情報」タブにタッチし、**ESN** にタッチ。

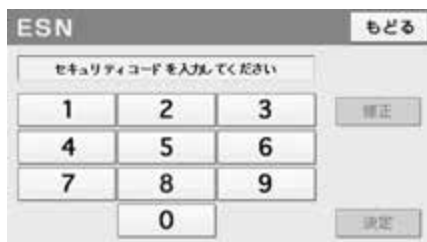


3 **セキュリティを解除する** にタッチ。

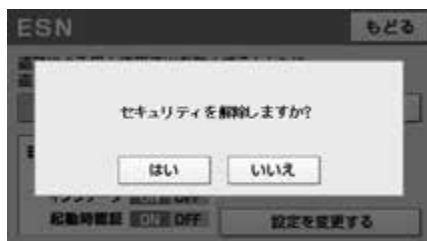


7. 本機の設定

- 4 暗証番号を入力し、**決定** にタッチ。



- 5 **はい** にタッチ。



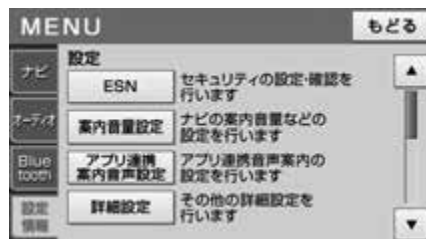
① ワンポイント

ESN の設定をしている場合、バッテリーの交換などを行うと、ESN のロックがかかります。バッテリーの交換などを行う際は、事前に ESN の設定を解除してください。

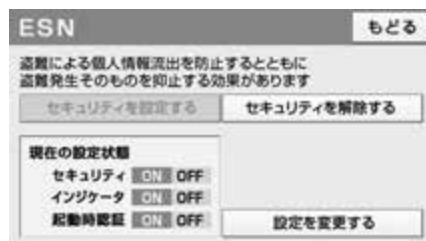
ESN の設定を変更する

- 1 **MENU** を押す。

- 2 [設定／情報] タブにタッチし、**ESN** にタッチ。



- 3 **設定を変更する** にタッチ。



- 4 インジケータ、起動時認証の **ON**、または **OFF** の設定を変更。



- 5 **もどる** にタッチ。

設定した内容をもとに戻す（初期化する）

本機に設定した内容を初期状態にもどすことができます。

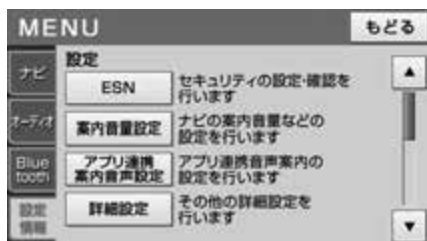
① チェック

初期化されるのは、次の項目です。

- ・ 案内音量設定
- ・ 詳細設定
- ・ ハンズフリー設定
- ・ Bluetooth Audio設定

1 **MENU** を押す。

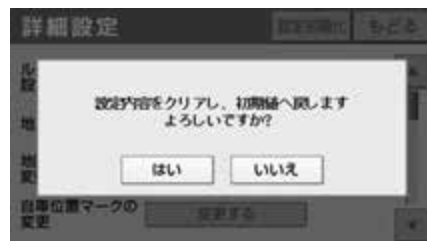
2 [設定／情報] タブにタッチし、**詳細設定** にタッチ。



3 **設定初期化** にタッチ。



4 **はい** にタッチ。



④ ワンポイント

一度初期化（消去）された内容（データ）は元にもどせません。十分注意して初期化作業をおこなってください。

本機の情報・設定をリセットする

自転車位置マークが動かないなど、本機が動作不良を起こした場合に使用します。

① チェック

お客様が設定・登録した内容など、バッテリーを取り外した場合と同じ情報が消去されます。詳細は「バッテリーの交換について」（245 ページ）を参照してください。

1 **リセット** を 30 秒以上押す。

④ ワンポイント

リセットで消去された内容は元にもどせません。十分注意してください。

MEMO

2



ナビゲーション

1. GPSボイスナビゲーションについて

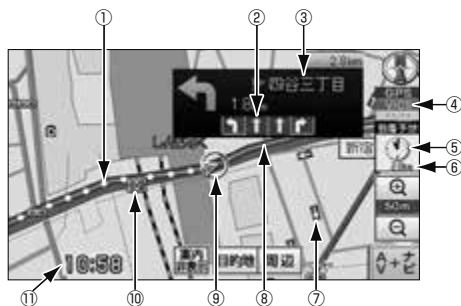
目的地を設定することによって、自動的にルートを探索し、音声と画面表示によるルート案内を行います。

ナビゲーション機能をお使いになる前のお知らせ

- 地図データに情報が無い場合は、路線名の表示や施設の検索、ルートの案内などを行うことができません。
- 本機が探索するルートは目的地周辺までの参考ルートです。必ずしも最短ルート、早く行けるルート、渋滞していないルートではありません。
- 施設の表示やルートの案内などは、実際とは異なる場合があります。
- 到着予想時刻は、走行条件などにより、多少の誤差が生じる場合があります。
- 交差点案内や音声案内などは、状況により異なる場合があります。また、まれに誤った案内が行われる場合があります。

基本地図画面のマークや表示

ナビゲーションの地図表示には現在地画面とスクロールさせた地図画面があります。



<現在地画面>



<スクロール地図画面>

番号	表示	内容
①	走行軌跡表示	通行した道路の軌跡が、地図上に点線で表示されます。
②	レーン（車線）表示	目的地案内中、通過・分岐する交差点の車線が表示されます。（地図データに情報のある交差点のみ）また、走行を推奨する車線が黄色で表示されます。
③	交差点名称表示	分岐する交差点の名称が表示されます。（地図データに情報のある地点のみ）
④	VICSタイムスタンプ	VICS情報が提供された時刻が表示されます。 VICS情報の表示については、「 地図に表示するVICS情報を設定する 」（117ページ）を参照してください。 地図上に表示されるマークについては、「 地図に表示されるVICSマークの紹介 」（123ページ）、または「 凡例 」（250ページ）を参照してください。
⑤	到着予想時刻表示	目的地案内中、目的地（複数設定されている場合、最終目的地）へ到着する予想時刻が表示されます。到着予想時刻については、「 目的地到着予想時刻の設定を変える 」（98ページ）を参照してください。

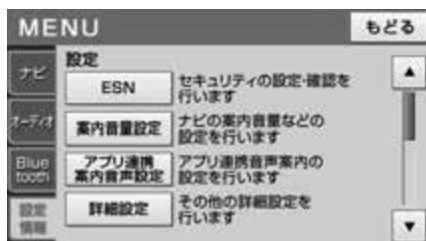
番号	表示	内容
⑥	残距離表示	現在地から目的地（複数設定されている場合、最終目的地）までの距離が表示されます。 目的地案内中は、表示されているルートを通る場合の距離が表示されます。 ルートからはずれたときは、直線距離が表示されます。
⑦	一方通行表示	50mスケール以下の地図に、一方通行を表す矢印が表示されます。
⑧	ルート表示	目的地を設定したとき、目的地までのルートが次の色で表示されます。 ● 一般道：青色 ● 有料道：水色 ● 細街路：紫色
⑨	自転車位置マーク	現在地と車が向いている方向が表示されます。
⑩	信号機マーク	100mスケール以下の地図に、信号機を表すマークが表示されます。
⑪	時計表示	現在の時刻が表示されます。 時計表示は常時表示されます。時計表示の時刻はGPS電波を利用して自動調整します。（操作することはできません。）
⑫	目的地方向表示	目的地案内中、現在地と目的地（複数設定されている場合、次の目的地）を直線で結んだラインが表示されます。
⑬	名称／住所表示	状況により次の情報が表示されます。（地図データに情報のある地点のみ） ● 地図上の施設にタッチした場合、施設の名称 ● スクロールした場合、カーソル位置の住所
⑭	方位マーク	地図の方角が表示されます。 地図向きの切替えについては「 地図の向きを変える 」（62ページ）を参照してください。
⑮	GPSマーク	GPS衛星からの位置情報の受信状態により、GPSマークは次の色で表示されます。 ● GPS （青色）：GPS衛星の受信状態が3次元測位時 ● GPS （黄色）：GPS衛星の受信状態が2次元測位時 ● GPS （赤色）：GPS衛星を受信していないとき
⑯	案内ポイント	交差点案内（車線表示・交差点名称表示・交差点拡大図）が表示されます。 交差点案内については、「 案内中画面の紹介と解除のしかた 」（93ページ）を参照してください。
⑰	カーソルマーク	検索した地図やスクロールさせた地図に表示されます。 スクロールするには地図に直接タッチします。
⑱	スケール表示	表示させている地図の縮尺が表示されます。

1. 画面の調整・音声の設定

自転車位置（現在地）マークを変える

1 **MENU** を押す。

2 [設定／情報] タブにタッチし、**詳細設定** にタッチ。



3 自転車位置マークの変更の **変更する** にタッチ。



4 変更したいマークにタッチ。



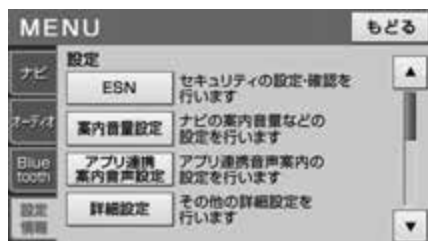
5 **もどる** にタッチ。

ワンポイント

3D 表示（62 ページ参照）にさせているときや交差点拡大図（93 ページ参照）では、自転車位置マークは  で表示されます。

地図に表示される文字の大きさを変える

- 1 **MENU** を押す。
- 2 「設定／情報」タブにタッチし、**詳細設定** にタッチ。



- 3 地図上の文字サイズ変更の **拡大**、または **標準** にタッチ。

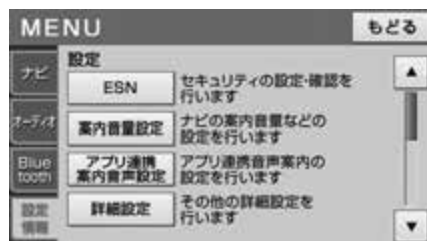


- 4 **もどる** にタッチ。

画面切替え時の動きを設定する

画面の切替表現に、動きを付けることができます。
(一部を除く)

- 1 **MENU** を押す。
- 2 「設定／情報」タブにタッチし、**詳細設定** にタッチ。



- 3 画面切替時の動画表現の **する**、または **しない** にタッチ。



- 4 **もどる** にタッチ。

1. 画面の調整・音声の設定

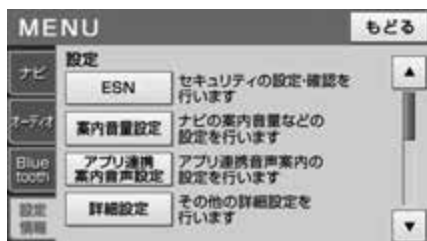
音声案内の設定を変える

案内音量で設定できるのは、次の項目です。

- 案内音量の調整
- 高速走行時に、自動で音量を切替える
- 音声案内の出力位置（スピーカ）の設定
- 音声案内とAV音楽のMIX（音声案内時に、オーディオを消音にしない）

1 **MENU** を押す。

2 「設定／情報」タブにタッチし、**案内音量設定** にタッチ。



案内音量を調整する

1 案内音量設定の **消音**、**小** ～ **大** のいずれかにタッチ。



2 **もどる** にタッチ。

高速走行時の自動音量切替を設定する

1 高速走行時の自動音量切替の **する**、または **しない** にタッチ。

- **する** に設定した場合、車速が約80km/h以上になったときに、設定した音量が自動的に1段階上がります。車速が約70km/h以下になると、もとの音量にもどります。



2 **もどる** にタッチ。

音声案内が聞こえるスピーカを設定する

1 音声案内出力設定の **左側スピーカ**、または **右側スピーカ** にタッチ。



2 **もどる** にタッチ。

音声案内とAV音楽の設定をする

1 音声案内とAV音楽のMIXの **する**、または **しない** にタッチ。

- **する** に設定すると、ルート案内中に音声案内がされた場合、オーディオの音を消音にせず、そのままの状態で聞くことができます。



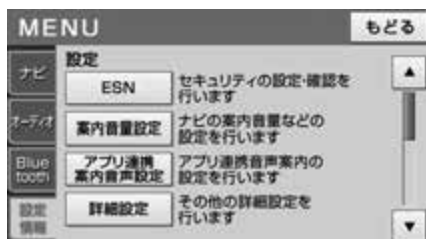
2 **もどる** にタッチ。

アプリ連携案内音声を設定する

アプリ連携機能（36 ページ参照）の使い方の案内を音声で確認する場合、車内のスピーカーをとおして聞こえるようにする・しないの設定をすることができます。

1 **MENU** を押す。

2 **設定／情報** タブにタッチし、**アプリ連携案内音声設定** にタッチ。



3 アプリ連携の案内音声の **する**、または **しない** にタッチ。



4 **もどる** にタッチ。

2. 地図の表示

今いる場所（現在地）を表示する

🏠 チェック

エンジンスイッチをOFF（LOCK）にすると、ワンセグや外部入力映像画面を表示していた場合は、エンジンスイッチをACC、またはONにしても現在地は表示されません。

1 エンジンスイッチをACC、またはONにする。

2 現在地画面で、**現在地** を押す。

- ルート案内中、現在地が道路上のときは、走行中の道路に路線名があると、路線名が表示される場合があります。

現在地付近の地名を表示



📌 ワンポイント

取り付け後、およびバッテリーターミナルを脱着したあとは、実際の現在地と異なる場所に自転車位置マークが表示されていることがあります。しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）GPS情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。（130 ページ参照）

画面にタッチして地図を動かす

地図に直接タッチすると、タッチした地点を画面の中心に動かすこと（スクロール）ができます。

1 地図にタッチ。

- タッチした位置に、地図がスクロールされます。
- そのまま地図をタッチし続けると、連続して地図がスクロールされます。

+ マーク位置の地名を表示



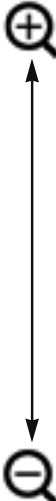
現在地からの直線距離を表示

📌 ワンポイント

- 安全のため、走行中は地図を連続でスクロールできません。
- スクロールで地図を動かすと、地図が固定され、現在地が移動しても地図は動きません。
現在地 を押すと、現在地画面にもどります。

地図の縮尺を切替える

地図を次の範囲で切替えることができます。

タッチスイッチ	縮尺	スケール表示
	1/1562	10m
	1/3125	25m
	1/6250	50m
	1/12500	100m
	1/25000	200m
	1/5万	500m
	1/10万	1k
	1/20万	2k
	1/40万	5k
	1/80万	10k
	1/160万	20k
	1/320万	50k
	1/640万	100k

希望の縮尺に切り替える

- 1  または  にタッチ。



スケールバー（3D表示時は非表示）

走行軌跡の表示を設定する

走行した道路の軌跡を表示する／しないの設定をすることができます。

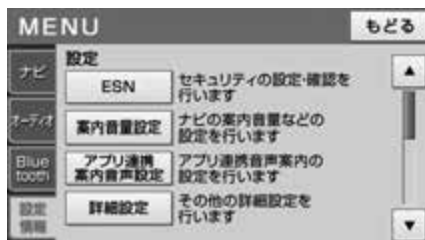


チェック

- 5km スケール以下の地図で表示させることができます。
- 表示できる軌跡は、20,000ポイントです。

- 1  を押す。

- 2 「設定／情報」 タブにタッチし、**詳細設定** にタッチ。



2. 地図の表示

- 3 走行軌跡の表示設定の **表示する**、または **表示しない** にタッチ。

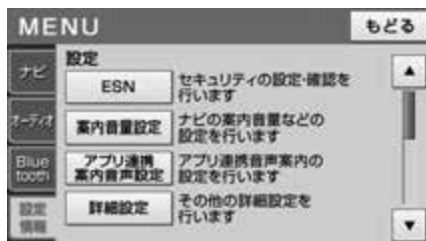


- 4 **もどる** にタッチ。

走行軌跡データを消去する

- 1 **MENU** を押す。

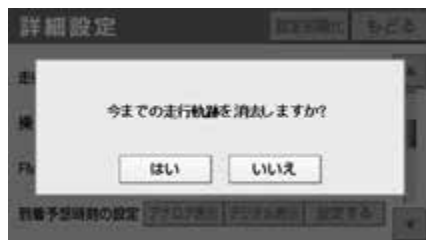
- 2 [設定／情報] タブにタッチし、**詳細設定** にタッチ。



- 3 走行軌跡の表示設定の **データ消去** にタッチ。



- 4 **はい** にタッチ。



地図の向きを変える

次の3つの向きで地図を表示できます。

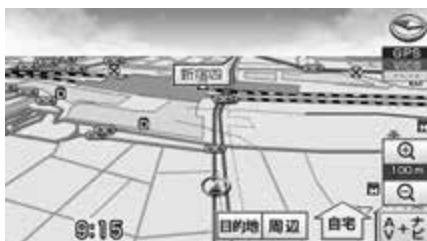
- 2Dヘディングアップ表示  常に車の進行方向を上向きに表示します。



- 2D ノースアップ表示 
常に北を上向きに表示します。

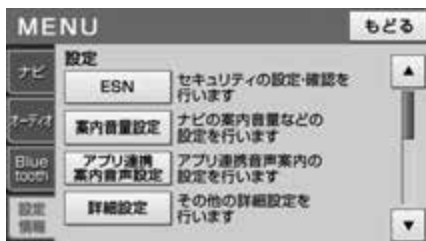


- 3D表示 
立体的な地図を、常に車の進行方向を上向きに表示します。



1 **MENU** を押す。

2 「設定／情報」タブにタッチし、**詳細設定** にタッチ。



3 表示したい向きの表示にタッチ。



4 **もどる** にタッチ。

ワンポイント

- 2D ヘディングアップ表示と 3D 表示は自転車位置マークが画面中央より下に表示され、進行方向の地図が広く表示されます。
- 3D 表示に設定しているときに地図をスクロールすると、一時的に2Dヘディングアップ表示になります。**現在地** を押すと、3D表示にもどります。
- 地図上の  マークに直接タッチしても、地図の向きを変えることができます。タッチするごとに、次の順番で切替わります。
2Dヘディングアップ表示→2Dノースアップ表示→3D表示（スクロール中は不可）

2. 地図の表示

施設（店舗など）を地図に表示する

地図に自車位置マーク、または **+** マークから半径約10km以内にある施設のマークを最大200件表示することができます。

① チェック

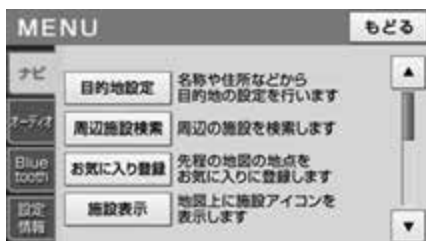
500mスケール図以下の詳細な地図で表示させることができます。(全ルート図画面を除く)



● 施設表示

1 **MENU** を押す。

2 [ナビ] タブにタッチし、**施設表示** にタッチ。



3 表示させたい施設ジャンルにタッチ。

- **その他施設を表示** にタッチすると、さらに詳細なリストから施設を選択できます。

最大5ジャンルまで選択可能



4 **表示** にタッチ。

② ワンポイント

自車位置マーク、または **+** マークが移動すると施設マークの表示も切り替わります。

3. 地図の呼び出し方法

目的地の設定・目的地の追加・自宅の登録・お気に入り地点の登録のときには、設定・登録する場所をさまざまな方法により呼び出し、表示させることができます。

地図の呼び出し方法を選ぶまでの手順については、各項目を参照してください。

- 目的地の設定 (77 ページ参照)
- 目的地の追加 (86 ページ参照)
- 自宅の登録 (104 ページ参照)
- お気に入り地点の登録 (105 ページ参照)

項目	機 能
50音で探す	施設の名称を入力することで、その施設周辺の地図を表示させることができます。(66 ページ参照)
住所で探す	住所を入力することで、その地点（または地域）の地図を表示させることができます。(67 ページ参照)
電話番号で探す	電話番号を入力することで、その番号の施設周辺の地図を表示させることができます。また、その番号が使用されている地域の地図を表示させることができます。(68 ページ参照)
履歴で探す	過去に設定された目的地から、その地点周辺の地図を表示させることができます。(69 ページ参照)【目的地履歴が登録されているときのみ。目的地履歴については、「 目的地履歴について 」(90ページ)を参照してください。】
お気に入りで探す	お気に入り地点周辺の地図を表示させることができます。(70 ページ参照)【お気に入り地点が登録されているときのみ。お気に入り地点については、「 お気に入り地点の登録とは 」(103ページ)を参照してください。】
ジャンルで探す	現在地、目的地などの周辺施設を選ぶことで、その施設がある地図を表示させることができます。(71 ページ参照)
マップコードで探す	マップコードを入力することで、その場所を特定し、地図を表示させることができます。(71 ページ参照)
先程の地図で探す	最後に表示していた地図を表示させることができます。(72 ページ参照)
登録ルートで探す	過去に登録したルート呼び出すことができます。(72 ページ参照)【ルートが登録されているときのみ。ルートの登録については、「 探索したルートを登録する 」(82ページ)を参照してください。】
赤外線ケータイリンク	E-iSERVから携帯電話にダウンロードした施設などの位置情報を、赤外線通信を使用して本機に読み込むことができます。読み込みが終わると該当する地図が表示されます。(73 ページ参照)
Bluetoothケータイリンクで探す	携帯電話で取得した施設などの位置情報を、Bluetooth通信を使用して本機に読み込むことができます。読み込みが終わると該当する地図が表示されます。(69 ページ参照)
周辺施設から探す	現在地周辺の施設ジャンルを選んで、該当する施設の地図を表示させることができます。(74 ページ参照)

3. 地図の呼び出し方法

50音（文字入力）で呼び出す

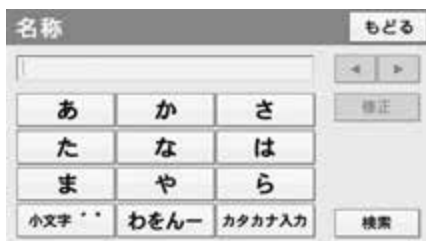
部分的にわかっている施設の名称を入力し、地域で候補を絞り込んで地図を呼び出すことができます。

1 50音で探す にタッチ。



2 文字入力スイッチにタッチして施設名称を入力。

- 文字入力方法については、「画面の基本的な使い方（文字を入力、タブを切替など）」（18ページ）を参照してください。



3 検索 にタッチ。

4 施設がある都道府県名にタッチ。

- 施設がある地域が分からない場合は、**全国から探す** にタッチしてください。



5 施設名称にタッチ。

- 表示された地図については、「呼び出した地図の操作」（75ページ）を参照してください。



⑪ ワンポイント

検索された施設は、都道府県を指定した場合は500件まで、**全国から探す** から検索した場合は10000件まで表示されます。

住所を入力して呼び出す

1 住所で探す にタッチ。



2 都道府県名にタッチ。



3 市区町村名にタッチ。

- 詳細な住所がわからない場合は、**主要部** にタッチすると選択している都道府県の代表地点が表示されます。



4 詳細な住所にタッチ。

- 詳細な住所がわからない場合は、**主要部** にタッチすると選択している地域の代表地点が表示されます。



- 次の画面が表示された場合は、数字にタッチして番地・号数を入力します。



5 検索 にタッチ。

- 表示された地図については、「**呼び出した地図の操作**」(75ページ)を参照してください。

ワンポイント

- 同じ住所で複数の建物が存在する場合、いずれか1箇所のみを検索します。
- 住所の番地に文字が付いている場合(例: 甲乙丙、イロハ)、検索することができません。

3. 地図の呼び出し方法

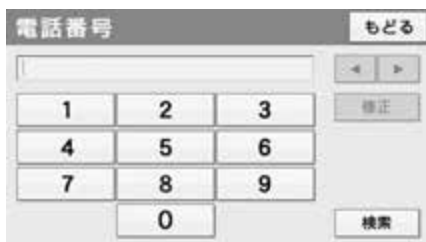
電話番号から呼び出す

施設の電話番号を入力すると、施設周辺の地図、またはその局番を使用している地域の地図を呼び出すことができます。市外局番のみの入力でも地図を呼び出すことができます。

1 電話番号で探す にタッチ。



2 数字にタッチして市外局番から電話番号を入力。



3 検索 にタッチ。

- 表示された地図については、「呼び出した地図の操作」(75ページ)を参照してください。
- 次の画面が表示された場合は、施設名称にタッチします。表示された地図については、「呼び出した地図の操作」(75ページ)を参照してください。



ワンポイント

- 局番が変更になった場合は検索できません。また、一部地域では検索できない場合があります。検索できない場合は、他の方法で地図を呼び出してください。
- 施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっているとは限りません。また、以下のようなケースで一般情報誌などとは異なった検索が行われることがあります。
 - ・デパートの美術館、アミューズメントパークなどでは、問い合わせ先の場所と所在地が離れていることがあります。このとき、電話番号を入力すると、問い合わせ先の所在地の地図が表示されます。
 - ・一般情報誌などではホールなどの電話番号として、管理会社の電話番号を記載していることがあります。このとき、電話番号を入力すると、ホール名ではなく、管理会社名が検索され、その管理会社の所在地周辺の地図が表示されます。
- 地図に表示される住所は、隣接する地名が表示されることがあります。

履歴情報から呼び出す

以前に設定した目的地は、最新のものから200件まで記憶されているため、簡単に同じ地点の地図を呼び出すことができます。

1 履歴で探す にタッチ。



2 目的地履歴にタッチ。

- 表示された地図については、「呼び出した地図の操作」(75ページ)を参照してください。



① ワンポイント

- 自宅は目的地履歴に記憶されません。
- 目的地履歴を消去するには、「目的地の履歴を消す」(90ページ)を参照してください。

Bluetooth® ケータイリンク クで呼び出す

Bluetooth 携帯電話で検索した施設などの位置情報を本機へ送信して、地図を呼び出すことができます。本機能を使用するためには、ECLIPSE ホームページから専用のアプリケーションを携帯電話にダウンロードする必要があります。本機で動作確認済みの機種、携帯電話の設定や利用方法については、ECLIPSE ホームページ「お客様サポート」(<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/>)をご確認ください。

⚠ 警告

お車を運転中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

⚠ 注意

- 携帯電話は車室内に放置しないでください。(炎天下など、車室内が高温となる場合があります。)
- Bluetooth 携帯電話を本機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、Bluetooth 接続状態が悪化することがあります。

🏠 チェック

あらかじめ本機に携帯電話を登録(40ページ参照)、接続(197ページ参照)をする必要があります。

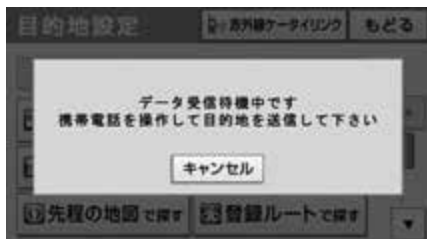
1 Bluetooth ケータイリンクで探す にタッチ。



3. 地図の呼び出し方法

2 携帯電話から位置情報を送信。

- 携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書を参照してください。



① ワンポイント

- 受信した地点をお気に入り地点として登録する場合、コンテンツによっては著作権で保護されているため、携帯電話で表示されていた内容と異なります。
- 詳細情報は、コンテンツにより表示できない場合があります。
- 表示される地図は、携帯電話で送信した位置情報とずれる場合があります。
- Bluetoothケータイリンクを使用中は、ハンズフリー機能を使用することができません。

お気に入り地点から呼び出す

① チェック

お気に入りの地点をあらかじめ登録する必要があります。「お気に入り地点の登録とは」(103ページ参照)

1 お気に入りで探す にタッチ。



2 お気に入り地点にタッチ。

- 表示された地図については、「呼び出した地図の操作」(75ページ)を参照してください。

全てを表示 ジャンルごとに表示

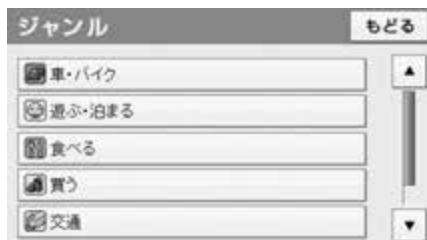


施設のジャンルで呼び出す

1 **ジャンルで探す** にタッチ。

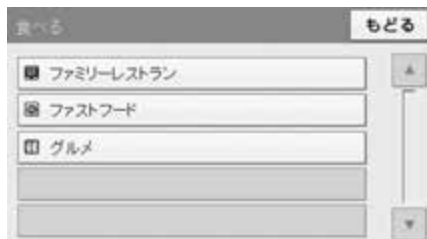


2 ジャンルにタッチ。



3 詳細なジャンルにタッチ。

- 選択する施設によって、さらに詳細なリストから施設を絞り込むことができます。



- 絞り込む必要がない場合、都道府県や地区町村を選択して施設を選択します。



4 目的の施設にタッチ。



- 表示された地図については、「呼び出した地図の操作」(75ページ)を参照してください。

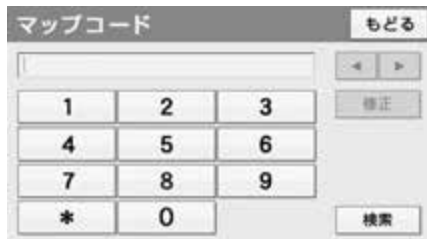
マップコードで呼び出す

1 **マップコードで探す** にタッチ。



3. 地図の呼び出し方法

- 2 数字にタッチしてマップコードを入力。



- 3 **検索** にタッチ。

- 表示された地図については、「呼び出した地図の操作」(75ページ)を参照してください。

ワンポイント

- マップコードとは、日本全国のすべての位置を数字としてコード化し、6～10桁の番号(標準マップコードの場合)でその場所を特定することができるものです。従来は、住所などを使って、場所を特定していましたが、住所では特定できないところ(景勝地や山、川、海など)もマップコードで位置を特定することができるようになります。
- 標準マップコード(6～10桁)の後に*を入力し、高分解能マップコード(1～2桁)を入力することで、より詳細な位置を特定することができます。
- マップコードについては、次のホームページで紹介されていますので、そちらをご覧ください。
<http://www.e-mapcode.com>
- 「マップコード」は、株式会社デンソーの登録商標です。

最後に表示していた地図を呼び出す

- 1 **先程の地図で探す** にタッチ。

- 表示された地図については、「呼び出した地図の操作」(75ページ)を参照してください。



登録したルートを表示

チェック

ルートをあらかじめ登録する必要があります。
「探索したルートを登録する」(82ページ参照)

- 1 **登録ルートで探す** にタッチ。



2 ルートにタッチ。



赤外線ケータイリンクで呼び出す

E-iSERVから携帯電話にダウンロードした施設などの位置情報を、赤外線通信を使用して本機に読み込むことができます。読み込みが終わると該当する地図を呼び出すことができます。E-iSERVへのアクセスについては「**ケータイリンクのアプリをダウンロードする**」(34ページ)を参照してください。

警告

走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

チェック

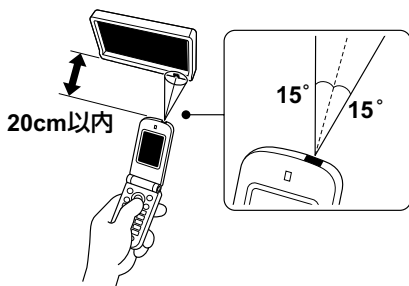
- 赤外線通信を行うには、携帯電話と本機をそれぞれ操作する必要があります。また、携帯電話から位置情報を送信するには、専用のアプリケーションソフトが必要です。
- 通信の規格上、双方向の通信が必要なため、近づけて操作する必要があります。操作する時は携帯電話と本機の受光部をまっすぐ近づけて送信し、通信終了までそのままお待ちください。

1 赤外線ケータイリンク にタッチ。



3. 地図の呼び出し方法

- 2 専用のアプリケーションソフトから位置情報を送信。



- 携帯電話の操作によって表示された地図については、「呼び出した地図の操作」(75ページ)を参照してください。

ワンポイント

- 走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。
- IrDAバージョン1.0および1.2に対応しています。
- 直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下、他の赤外線装置の近くでは正常に受信できない場合があります。
- 通信距離はあくまで目安です。携帯電話の機種や周囲の環境によって異なります。
- 赤外線受光部が汚れていると通信しにくくなります。汚れている時は傷つかないように柔らかい布でふき取ってください。
- 携帯電話の操作については携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- データ受信中は電源を切らないでください。

近くの施設を検索して呼び出す

- 1 検索したい施設のジャンルを選択。

- **その他施設を探す** にタッチすると、さらに詳細なリストから施設を選択できます。



- 2 地図に表示されている施設マークにタッチ。

現在地から近い順番に施設リストを表示



目的地設定中、案内ルートに沿った施設リストを表示

- **情報** にタッチすると、施設の情報を表示します。



4. 呼び出した地図の操作

位置の調整をする

- 1 地図にタッチして地図を動かす。



ワンポイント

お気に入り登録 にタッチするとお気に入り地点に登録することができます。

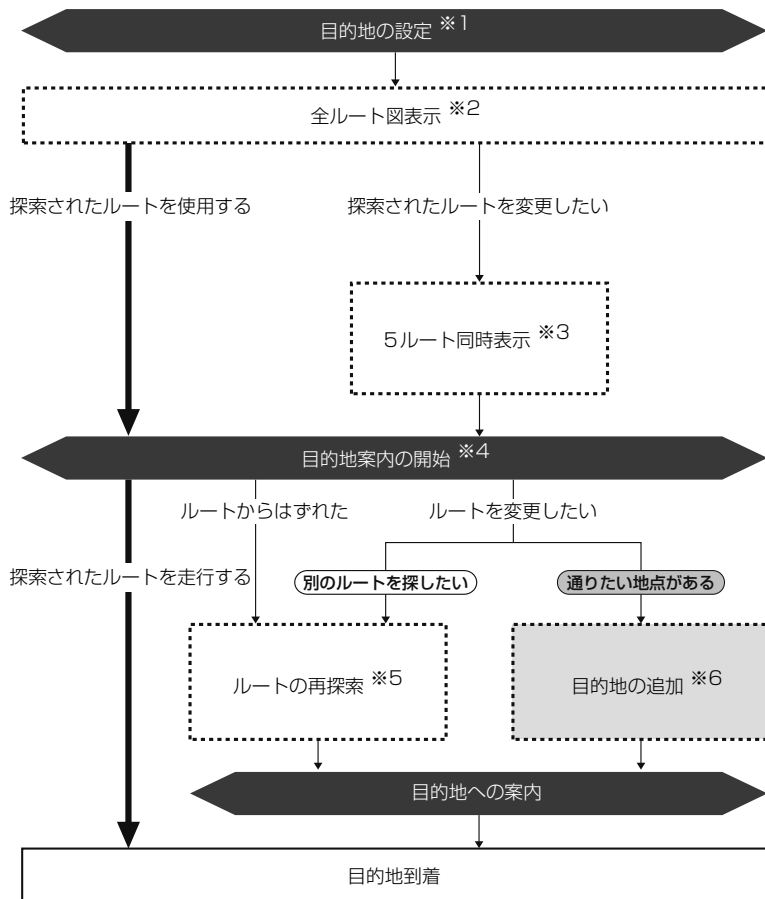
施設の情報を表示する

- 1 **詳細** にタッチ。



1. 目的地設定・ルート探索について

目的地へ案内するまでのルート探索には、目的地の追加やルートの探索条件などの設定をすることができます。



※1 「目的地を設定する」(77ページ参照)

※2 「全ルート図」(80ページ参照)

※3 「5種類のルートを同時に表示する」(84ページ参照)

※4 「案内を始める」(91ページ参照)

※5 「ルートをもう一度探索する」(102ページ参照)

※6 「目的地を追加する」(86ページ参照)

2. 目的地を設定してルート探索

目的地を設定する

目的地案内（ルート案内）を行うには、目的地を設定することから始めます。

目的地を設定するには次の方法があります。

- 地図を動かして設定（スクロール設定）
- 自宅を設定（自宅に帰る）
- 地図の呼び出し方法から設定
- 周辺の施設を検索して設定

目的地を設定すると、自動的に推奨ルートの探索が始まります。推奨ルート以外のルート設定や目的地を追加するときは、ルート探索後に設定します。（79 ページ参照）

チェック

目的地を設定する場合は500mスケール図以下の詳細な地図で設定してください。

ワンポイント

目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶（最大200カ所まで）され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。200カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地は手動で消去することもできます。「目的地の履歴を消す」（90 ページ参照）

地図を動かして設定する（スクロール）

1 **現在地** を押す。

2 タッチスイッチがある場所以外の地図にタッチ。

3 **ここに行く** にタッチ。

- 500m スケール図より広域な地図を表示させているときは、500mスケール図に切り替わります。



- すでに目的地が設定されているときは、新しい目的地を設定する、または目的地を追加するを選択することができます。
- 目的地周辺に一般道路と有料道路がある場合、道路の種類を選ぶことができます。

自宅を設定する（自宅に帰る）

1 **現在地** を押す。

2 **自宅** にタッチ。

- 自宅が登録されていない場合、自宅を登録することができます。（104 ページ参照）
- すでに目的地が設定されているときは、目的地を消去して自宅を目的地に設定することができます。



2. 目的地を設定してルート探索

3 **はい** にタッチ。



地図の呼び出し方法から設定する

1 **現在地** を押す。

2 **目的地** にタッチ。



3 地図の呼び出し方法から目的地の地図を表示。

- 「地図の呼び出し方法」(65ページ)、「呼び出した地図の操作」(75ページ)を参照してください。

4 **ここに行く** にタッチ。



- すでに目的地が設定されているときは、新しい目的地を設定する、または目的地を追加するを選択することができます。
- 目的地周辺に一般道路と有料道路がある場合、道路の種類を選ぶことができます。

近くの施設を検索して設定する

自車位置マーク、または **+** マークの10km以内にある施設を検索することができます。

1 **現在地** を押す。

2 **周辺** にタッチ。



3 検索したい施設のジャンルを選択して、周辺の地図を表示。

- 「近くの施設を検索して呼び出す」(74ページ参照)を参照してください。

4 **ここに行く** にタッチ。



- すでに目的地が設定されているときは、新しい目的地を設定する、または目的地を追加するを選択することができます。
- 目的地周辺に一般道路と有料道路がある場合、道路の種類を選ぶことができます。

ルートを探す（ルート探索）

目的地を設定すると自動で次のいずれかのルート探索を開始します。

探索条件	特長
標準	一般的なルートが探索されます。
距離優先	距離の短いルートが探索されます。
主要道路優先	なるべく道幅の広い道、高速道路、国道などを優先的に利用するルートが探索されます。
有料回避	有料道路/高速道路/フェリーをなるべく利用しないルートが探索されます。
他ルート	標準で探索されたルートと違う道を利用するルートが探索されます。

- 目的地までの距離が近すぎたり、遠すぎるときは、ルートは表示されません。
- 目的地や出発地の周辺は、細街路（幅5.5m未満の道路）を探索することがあります。
- ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面（現在地から目的地までの全体ルート）になります。「**全ルート図**」（80ページ参照）

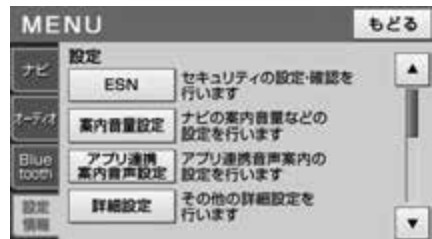
ワンポイント

- ルートの探索は、原則として道幅が5.5m以上の道路を対象としています。ただし、5.5m未満の主要道路でもルートを探索することがあります。
- 高速道路や有料道路のインターチェンジ (IC) ・サービスエリア (SA) ・パーキングエリア (PA) などでルート探索が行われると、その周辺の一般道から開始するルートが探索されることがあります。このときは、ルートの再探索 (102ページ参照) を行ってください。

ルート探索条件を設定する

1 **MENU** を押す。

2 「設定／情報」 タブにタッチし、**詳細設定** にタッチ。



3 ルート探索条件の設定の **設定する** にタッチ。



2. 目的地を設定してルート探索

4 各項目を設定。

- ルート探索時の初期条件設定…どのルートで探索するか設定することができます。
- 車種設定…お車の種類を設定することで、料金の計算をすることができます。
- ルート探索時のスマート IC 考慮…高速道路を通るルートを探した場合、スマート IC を通るルートを探します。



ワンポイント

- 車種設定は、次の料金計算の基準として使用されます。
 - ・ 全ルート図画面の料金表示 (81 ページ参照)
 - ・ ハイウェイモード画面の施設までの料金表示 (95 ページ参照)
 - ・ 5 ルート同時表示の料金表示 (84 ページ参照)
- ルート探索時のスマート IC 考慮は、ルート案内中に設定を変更することはできません。
- ルート探索時のスマート IC 考慮は、ETC 車載器の取り付け有無や規制情報などは考慮されません。事前に国土交通省のホームページでご確認の上、注意して走行してください。
- スマート IC を通るルートが探索されたときは、営業時間が考慮されていないことをお知らせするメッセージが表示されます。

全ルート図

ルート探索が終了すると、全ルート図画面になります。

- 全ルート図が表示されたあと、**現在地** を押したとき、または走行して約3秒以上操作しなかったときは、自動で目的地案内が開始されます。



- 全ルート図画面

全ルート図画面の紹介

全ルート図では、現在地から目的地までの所要時間や距離などが表示されます。また、画面のタッチスイッチから探索されたルートを変更したり、複数の目的地を並び替えることができます。



番号	表示／スイッチ	内容
①	距離表示	目的地（複数のときは最終目的地）までの距離が表示されます。
②	料金案内	目的地までに通るすべての有料道路の料金が表示されます。 ● 料金が特定できないときは、「****円」と表示されます。 ● 全ルート図を再表示（101 ページ参照）したときは、残りの料金が表示されます。
③	所要時間表示	目的地（複数のときは最終目的地）までの所要時間が表示されます。
④	探索条件表示	探索されたルートの種類が表示されます。
⑤	5ルート表示 ※	探索されたルートとは別のルートを選ぶことができます。（84 ページ参照）
⑥	目的地並び替え	複数の目的地を設定している場合、目的地を並び替えることができます。（87 ページ参照）
⑦	デモ走行 ※	デモンストレーションを開始させることができます。（92 ページ参照）
⑧	ルート登録	探索されたルートを登録することができます。（82 ページ参照）
⑨	案内開始	目的地案内を開始させることができます。（91 ページ参照）目的地案内開始後は、現在地画面にもどります。 目的地案内開始後は、 案内に戻る が表示されます。

※ 目的地案内開始後は、表示されません。

ワンポイント

- 交通規制（常時進入禁止、時間による進入禁止など）区間を通らないと目的地に行けないようなときは、規制区間手前までのルートを探します。また、現在地が交通規制区間の場合、規制対象外の道路からルートを探します。
- 目的地案内開始後にも全ルート図を表示させることができます。（101 ページ参照）
- 料金は設定した車種（79 ページ参照）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 高速道路上に目的地を設定したとき、および高速道路走行中にルートを変更したときは、料金案内は行いません。

2. 目的地を設定してルート探索

探索したルートを登録する

🏠 チェック

登録できるルートは、100件までです。

- 1 全ルート図画面で、**ルート登録** にタッチ。



- 2 **名称編集** にタッチ。



- 3 登録したいルート名称を入力し、**完了** にタッチ。

- 文字入力方法は「画面の基本的な使い方（文字を入力、タブを切替など）」（18ページ）を参照してください。

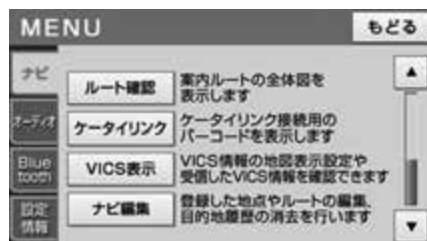


- 4 **登録** にタッチ。

登録したルートを編集する

- 1 **MENU** を押す。

- 2 [ナビ] タブにタッチし、**ナビ編集** にタッチ。



- 3 登録ルートの **編集** にタッチ。



4 編集したいルートにタッチ。



5 名称編集 にタッチ。



6 名称を入力し、完了 にタッチ。

- 文字入力方法は「画面の基本的な使い方 (文字を入力、タブを切替など)」(18ページ) を参照してください。

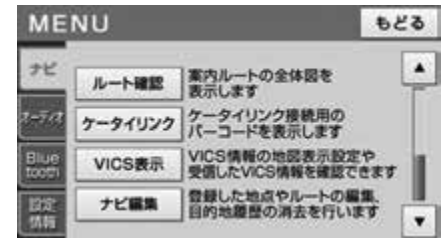


7 完了 にタッチ。

登録したルートを消去する

1 MENU を押す。

2 [ナビ] タブにタッチし、ナビ編集 にタッチ。



3 登録ルートの 消去、または全消去 にタッチ。



① 消去したい地点を選びます。手順4に進みます。

② **全消去**、**はい** の順にタッチすると全ての登録ルートが消去されます。

2. 目的地を設定してルート探索

4 消去したい登録ルートにタッチ。

- **全選択** にタッチすると、全てのルートが選択されます。



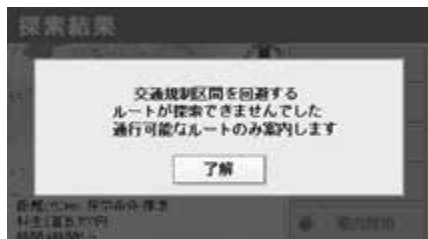
5 **決定** にタッチ。

6 **はい** にタッチ。



季節規制区間の表示

長期間に渡り規制される区間（冬期通行止めになる道路など）を含むルートが探索されたときは、全ルート図画面にメッセージが表示されます。



5種類のルートを同時に表示する

目的地を設定するとルートが探索され、現在地から目的地までの全ルート図が表示されます。探索されたルート以外に、合わせて5つのルートを同時表示させて選ぶことができます。5ルートは探索が終了したルートから順に表示されます。5ルートの詳細については、「**ルートを探す（ルート探索）**」（79ページ）を参照してください。

チェック

次のときは、5ルート同時表示はできません。

- 目的地が2カ所以上設定されているとき。
- 目的地案内が開始されたあと。

1 全ルート図画面で、**5ルート表示** にタッチ。



2 希望のルートにタッチ。



各5ルートの料金・距離・所要時間を表示

ワンポイント

- 料金は設定した車種（79 ページ参照）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 所要時間は設定した平均車速（98 ページ参照）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。

3. 探索ルートの変更

目的地を設定し、ルートを探した後、目的地を追加したり、ルートを変更することができます。

- 目的地の追加 (86 ページ参照)
- 目的地の並び替え (87 ページ参照)
- 目的地の消去 (88 ページ参照)

目的地を追加する

目的地を設定したあと、さらに追加して最大5カ所まで目的地を設定することができます。

① チェック

500mスケール図以下の詳細な地図で、目的地の設定をすることができます。

1 **現在地** を押す。

2 **目的地** にタッチ。



3 **追加目的地設定** にタッチ。



4 目的地の追加の **追加する** にタッチ。



5 地図の呼び出し方法から追加する目的地の地図を表示。

- 「地図の呼び出し方法」(65 ページ)、「呼び出した地図の操作」(75 ページ) を参照してください。



6 **ここに行く** にタッチ。

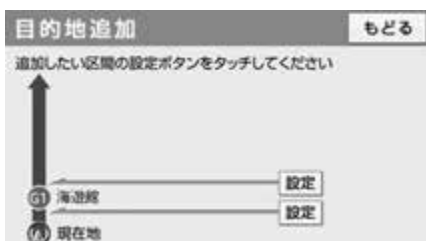


7 追加目的地にする にタッチ。



- 目的地周辺に一般道路と有料道路がある場合、道路の種類を選ぶことができます。

8 追加したい区間の 設定 にタッチ。



目的地の順番を並び替える

複数設定した目的地を並び替えて再探索することができます。

1 現在地 を押す。

2 目的地 にタッチ。



3 追加目的地設定 にタッチ。



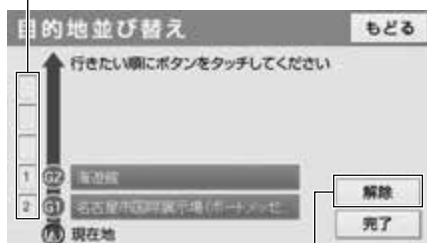
4 目的地の並び替えの 並び替える にタッチ。



3. 探索ルートの変更

5 行きたい順番に地点にタッチ。

順番表示



タッチすることにより選択を解除

6 完了 にタッチ。

⑩ ワンポイント

ナビメニュー画面の **ルート確認** から目的地を並び替えることができます。

設定した目的地を取り消す

1 現在地 を押す。

2 目的地 にタッチ。



3 追加目的地設定 にタッチ。

- 全ての目的地を消去する場合、**ルート消去**、**はい** の順にタッチします。

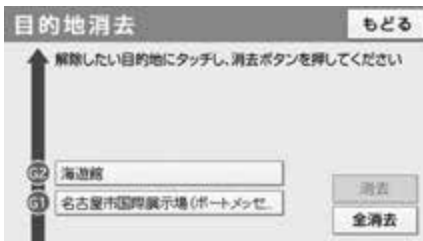


4 目的地の消去の **消去する** にタッチ。



5 目的地にタッチ。

- 全ての目的地を消去する場合、**全消去**、**はい** の順にタッチします。



6 **消去** にタッチ。

7 **はい** にタッチ。



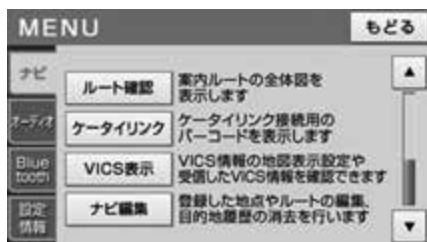
4. 目的地履歴について

目的地に設定した地図の地点は、自動的に記憶されます（最大200カ所まで）。200カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地は、選んで消去することもできます。

目的地の履歴を消す

1 **MENU** を押す。

2 [ナビ] タブにタッチし、**ナビ編集** にタッチ。



3 目的地履歴の **消去**、または **全消去** にタッチ。



① 消去したい地点を選びます。手順4に進みます。

② **全消去**、**はい** の順にタッチすると全ての目的地履歴が消去されます。

4 消去したい履歴にタッチ。

- **全選択** にタッチすると、全ての履歴が選択されます。



5 **決定** にタッチ。

6 **はい** にタッチ。



5. 目的地案内の開始・中止

案内を始める

- 1 全ルート図画面で、**案内開始** にタッチ。

- **現在地** を押す、または走行して約3秒以上操作しなかったときは、自動で案内が開始されます。



案内をやめる

- 1 **現在地** を押す。

- 2 **目的地** にタッチ。



- 3 **ルート消去** にタッチ。



- 4 **はい** にタッチ。



5. 目的地案内の開始・中止

設定したルートを実で確認する

ルート探索終了後、目的地案内が開始される前に、目的地案内のデモ走行を見ることができます。

チェック

走行中はデモンストレーション機能を使用できません。

- 1 全ルート図画面で、**デモ走行** にタッチ。

- **現在地** を押す、または走行を開始するとデモが終了します。



6. 目的地案内について

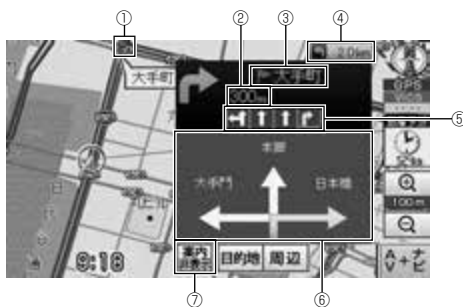
ルート探索が終了すると、希望ルートの案内を開始します。

目的地に向かって走行すると、目的地までのルートを案内します。(ルート案内の音声は、安全を考慮しているため、目的地の周辺で終了します。)

案内中画面の紹介と解除のしかた

走行中、案内地点に近づくと、各案内表示画面が自動で表示されます。案内表示画面は解除することでもできます。

ルート案内中画面



番号	表示/スイッチ	内容
①	案内ポイント	交差点案内が  マークで表示されます。
②	残距離表示	交差点（案内ポイント）までの距離が表示されます。
③	交差点名称表示	分岐する交差点の名称が表示されます。(地図データに情報がある地点のみ)
④	2つ目の案内表示	2つ目の交差点（案内ポイント）までの距離や、曲がる方向が表示されます。
⑤	レーン（車線）表示	通過・分岐する交差点の車線が表示されます。(地図データに情報がある交差点のみ) また、走行を推奨する車線が黄色で表示されます。
⑥	一般道方面表示	方面が看板形式で表示されます。
⑦	案内表示/非表示	拡大図などを非表示にする場合、 案内非表示 にタッチします。再度表示させるには、 案内表示 にタッチします。

⑦ ワンポイント

一般道方面表示は、マルチ画面（29 ページ参照）では表示されません。

6. 目的地案内について

■ 交差点拡大図

交差点が近づくと、自動で拡大して表示されます。



■ 3Dイラスト拡大図

都市高速のIC入口に近づくと、自動で表示されます。



■ 立体交差点拡大図

立体交差点情報のある交差点に近づくと、自動で表示されます。



ハイウェイモード画面

高速道路を走行中、自動で表示されます。

チェック

マルチ画面の場合、ナビゲーション画面の部分は、ハイウェイモード画面のみの表示になります。



番号	表示/スイッチ	内容
①	出口施設情報表示	出口施設（SA・PA・IC）の名称・距離・到着予想時刻が表示されます。
②	設備マーク表示	選んだ施設〔サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）〕にある設備が最大6つまで表示されます。（ガソリンスタンドは常に先頭に表示されます。設備が多い場合、表示されないマークもあります。）
③	施設情報表示	ルート沿いにある3件分の施設（SA・PA・IC）の名称・車種別料金・距離・到着までの残り時間が表示されます。
④	案内表示/非表示	拡大図などを非表示にする場合、 案内非表示 にタッチします。再度表示させるには、 案内表示 にタッチします。

■ 設備マーク表示

マーク	内容
	レストラン
	お風呂
	キャッシュコーナー
	インフォメーション
	郵便ポスト
	FAX
	ショッピングコーナー
	仮眠休憩所

マーク	内容
	身障者トイレ
	ガソリンスタンド
	スマートインターチェンジ

① ワンポイント

- 反対車線の施設情報は表示されません。
- 到着予想時刻は設定した平均車速（98 ページ参照）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）に入るなど、高速道路の本線からはずれたときは、ハイウェイモード画面が解除されることがあります。

6. 目的地案内について

- 施設情報表示の車種別料金は、設定した車種（79 ページ参照）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。また、ETCによる割引は考慮されません。
- 有料道路と一般道が並行している場合などは、有料道路上の自車位置マークが一般道へずれることがあります。このときは再探索が行われると、車種別料金として実際と異なる案内をすることがあります。
- 車種別料金案内は、出発した地点がわからないとき（有料道路内で再探索したときなど）、または有料道路内に目的地を設定したときなどは「****円」と表示されます。
- 高速道路上に目的地を設定したとき、および高速道路走行中にルートを変更したときは車種別料金案内は行いません。

■ ETCレーン情報画面

本線上の料金所や出口料金所の手前で表示されます。



■ 高速分岐拡大図

高速道路を走行しているとき、出口インターチェンジ (IC) やジャンクション (JCT) などの分岐点に近づくとき、自動で表示されます。



㊦ ワンポイント

- 高速分岐拡大図が表示されても、分岐点名称表示が表示されないことがあります。
- 次のようなときは、高速分岐拡大図が表示されないことがあります。
 - ・目的地案内開始直後
 - ・目的地周辺

細街路での案内画面と設定のしかた

細街路に入ると、自動で50mスケールの地図を表示します。

現在地、または目的地周辺では、細街路（幅5.5m未満の道路）のルートが探索される場合があります。



㊦ ワンポイント

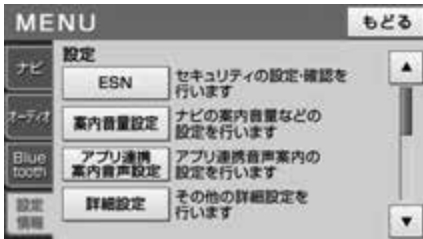
細街路では、音声案内と画面表示（交差点案内など）による目的地案内はされません。また、交通規制（一方通行など）により、通行できないルートで案内されることがあります。必ず、実際の交通規制にしたがって走行してください。

細街路での自動縮尺表示を設定する

細街路に入ったときに、自動で50mスケールの地図を表示する／しないを設定できます。

1 **MENU** を押す。

2 「設定／情報」 タブにタッチし、**詳細設定** にタッチ。



3 細街路案内時の自動縮尺の**自動縮尺する**、または**自動縮尺しない** にタッチ。



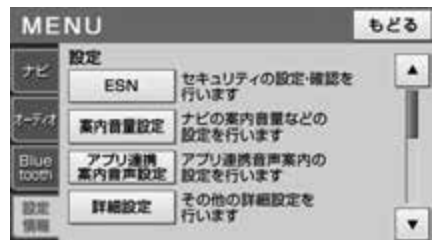
4 **もどる** にタッチ。

高速道路走行中の合流案内を設定する

案内中に高速道路を走行しているとき、合流地点の100m手前で音声案内をする・しないを設定できます。

1 **MENU** を押す。

2 「設定／情報」 タブにタッチし、**詳細設定** にタッチ。



3 合流案内の設定の**案内する**、または**案内しない** にタッチ。



4 **もどる** にタッチ。

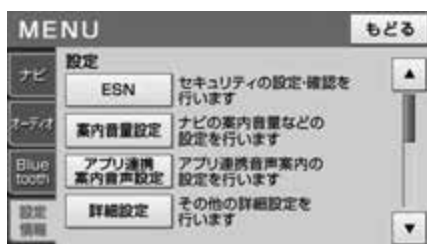
6. 目的地案内について

踏切の案内を設定する

案内中に踏切付近を走行するとき、踏切の150m手前で音声案内をする・しないを設定できます。

1 **MENU** を押す。

2 [設定／情報] タブにタッチし、**詳細設定** にタッチ。



3 踏切案内の設定の **案内する**、または **案内しない** にタッチ。



4 **もどる** にタッチ。

フェリー航路案内

フェリーの航路は水色で表示されます。

- フェリーターミナルをお知らせする音声案内は行われません。
- フェリー利用後、しばらく走行すると目的地案内が再開されます。

ワンポイント

フェリー航路を使用する全ルート図画面では、フェリー料金を表示しません。ただし、到着予想時刻は、フェリー時間を含んでいます。

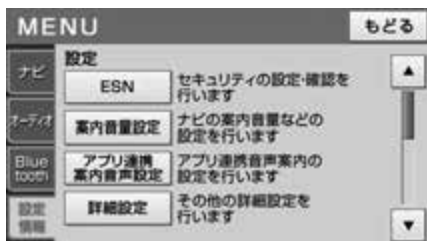
目的地到着予想時刻の設定を変える

目的地案内中の現在地画面で、到着予想時刻が表示されます。目的地が複数設定されている場合、最後の目的地に到着する予想時刻を表示します。到着予想時刻をより正確にするために、車速の設定をすることができます。また、到着予想時刻はアナログ／デジタル表示を切替えることができます。



1 **MENU** を押す。

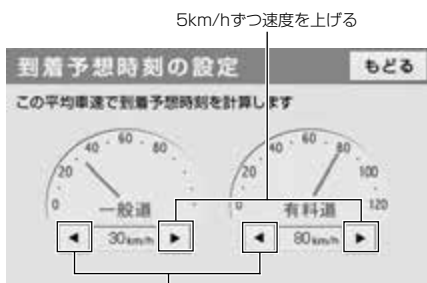
- 2 [設定／情報] タブにタッチし、**詳細設定** にタッチ。



- 3 到着予想時刻の設定の **設定する** にタッチ。



- 4 平均車速を設定。



- 5 **もどる** にタッチ。

ワンポイント

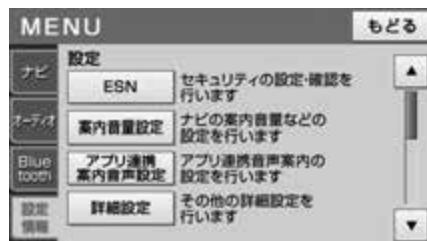
設定した平均車速は、次の時刻や時間を計算する基準として使用されます。

- ・ 現在地画面の到着予想時刻 (54 ページ参照)
- ・ ハイウェイモード画面の施設通過までの残り時間 (95 ページ参照)
- ・ 全ルート図画面の所要時間 (81 ページ参照)
- ・ 全行程一覧画面 (5 ルート同時表示) の所要時間 (84 ページ参照)

到着予想時刻表示のアナログ／デジタルを設定する

- 1 **MENU** を押す。

- 2 [設定／情報] タブにタッチし、**詳細設定** にタッチ。



- 3 到着予想時刻の設定の **アナログ表示**、または **デジタル表示** にタッチ。



- 4 **もどる** にタッチ。

6. 目的地案内について

音声案内

目的地案内中は、交差点、分岐点、通過点、インターチェンジ (IC)、パーキングエリア (PA)、サービスエリア (SA)、ジャンクション (JCT)、目的地に近づく、自動で残りの道のりと曲がる方向を8方向 (右、左、ナナメ右、ナナメ左、右ナナメ後ろ、左ナナメ後ろ、Uターン、直進) で音声案内します。音声案内はPCM音声 (肉声) で案内します。

⑧ チェック

有料道路走行時の合流案内や踏切案内は、**案内する** に設定されているときに出力されます。(97ページ、98ページ参照)

- 分岐交差点までの距離に応じた音声案内が行われます。
- 一度終了した音声案内を再度聞くときは、

現在地 を押します。



まもなく左方向です

■ 目的地案内中の音声案内の例

● 一般道音声機能

交差点までの残りの距離、交差点名および方向を案内します。

また、分岐点の直前でチャイム「ポーンポーン」が鳴ります。(ジャスト案内)

音声案内例は、下記ようになります。

- ・ およそ300m先、〇〇、右方向です。
- ・ まもなく〇〇、右方向です。

● 高速分岐音声案内

高速道路のルート走行中は、分岐点で拡大表示を行い、音声で進行方向を案内します。

音声案内例は、下記ようになります。

- ・ およそ1km先、〇〇方向、〇〇方面です。

● 道路情報に関する音声案内

有料道路走行時の合流や県境、一般道路の踏切の存在を音声で案内します。

音声案内例は、下記ようになります。

- ・ この先合流があります。ご注意ください。
- ・ 〇〇県に入ります。
- ・ この先踏切です。ご注意ください。

■ 目的地に到着したときの音声案内の例

音声案内例は、下記ようになります。

- ・ 目的地に近づきました。案内を終了します。

■ その他の音声案内

エンジンスイッチをACC、またはONにした後、2時間経過すると、下記を音声で案内します。(リフレッシュ案内)

- ・ そろそろ2時間になります。休憩しませんか？

⑨ ワンポイント

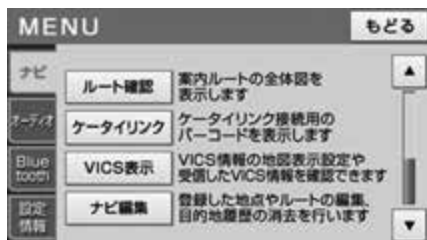
- 音声案内は目的地周辺までの案内をします。また、安全のために細街路での音声案内はされません。実際の道路状況および交通規制にしたがって走行してください。細街路については「細街路での案内画面と設定のしかた」(96ページ)を参照してください。
- 目的地に到着する直前でルートからはずれ再探索された後、目的地に近づく、と再度、音声案内されることがあります。
- 音声案内の音量は調節することができます。(58ページ参照) ただし、**消音** を選んでいると、音声案内されません。

7. 案内ルートの操作

全ルート図をもう一度表示する

全ルート図画面の詳しい内容については、「**全ルート図画面の紹介**」(81ページ)を参照してください。

- 1 | **MENU** を押す。
- 2 | [ナビ] タブにタッチし、**ルート確認** にタッチ。



ワンポイント

設定しているルートによっては、ルート全体を表示できないことがあります。

8. ルートの再探索

ルートをもう一度探索する

ルート案内中に、探索条件を変更してルートを再探索することができます。

1 **現在地** を押す。

2 **目的地** にタッチ。



3 **再探索** にタッチ。



4 再探索するルートにタッチ。

- 各ルートの詳細は、「**ルートを探す（ルート探索）**」（79ページ）を参照してください。



ワンポイント

- 道路形状により再探索されないことや条件を変更しても同じルートを再探索することがあります。
- ルートを大きくはずれて走行したときは、走行していたルートへもどるルートではなく、設定されている目的地に向かうルートが再探索されます。
- 高架道路の下や並行している一般道路上で、ルート探索を行うと、高架有料道路や並行している有料道路上のルート案内をしてしまうことがあります。（都市高速道路下の道路を走行または駐車しているのに、高速道路のルート案内をしてしまう場合など）また、逆のケースもあります。その場合、**別道路探索** にタッチすることで現在地の道路を変更することができます。

自動再探索

ルート案内中にルートからはずれた場合、案内可能な道路を走行していれば自動で再探索を行います。

再探索されるルートは、ルートからはずれたときの状況により異なります。

1. お気に入り地点の登録とは

自宅（1件）と覚えておきたい場所（最大199件）を、お気に入り地点として登録することで、地図上に表示させることができます。

8種類のアイコンから設定したいジャンルを選択したり、登録したい名称などを設定することができ、登録内容の修正や消去もできます。また、地点付近を走行したときに音声で案内することもできます。

登録したお気に入り地点は、地図上に呼び出したり、ルート探索時に呼び出したりできるので、有効にご利用ください。

■ 自宅

自宅は1カ所登録でき、1回の操作で自宅に帰るルートを探索することができるので、**最初に登録することをおすすめします。**

■ お気に入り地点

お気に入り地点（自宅含む）は、登録したアイコンのジャンルごとに表示され、地点検索時などにリストから選択することができます。

📁 ワンポイント

- 表示されるお気に入り地点の住所は、登録の方法により異なります。
- 登録する場所、地図の呼び出し方法によっては名称が自動で入力されることがあります。

2. お気に入り地点の登録・編集・消去

自宅を登録する

自宅を登録しておくと、目的地からの帰り道、ワンタッチで自宅を目的地に設定することができます。

1 **現在地** を押す。

2 **自宅** にタッチ。



3 **はい** にタッチ。



4 **地図から登録**、または**住所から登録** にタッチ。

- 住所から登録する場合、「住所を入力して呼び出す」(67ページ)を参照してください。

住所を入力して自宅付近の地図を表示



現在地の地図を表示

5 地図上にタッチして場所を特定し、**セット** にタッチ。



お気に入り地点を登録する

今表示している地図から登録する

① チェック

500mスケール図以下の地図で登録することができます。

1 お気に入り地点を登録する位置に地図を動かし、**お気に入り** にタッチ。

- + マークの位置にお気に入り地点が  マークで表示されます。



2 **登録** にタッチ。



目的地を、お気に入り地点として登録する

1 **現在地** を押す。

2 **目的地** にタッチ。



3 地図を呼び出す方法を選び、登録する地図を表示する。

- 「地図の呼び出し方法」(65ページ)、「呼び出した地図の操作」(75ページ)を参照してください。



4 **お気に入り登録** にタッチ。



2. お気に入り地点の登録・編集・消去

5 **登録** にタッチ。



4 **情報** にタッチ。



検索した周辺施設を登録する

1 **現在地** を押す。

2 **周辺** にタッチ。



3 施設を探す方法を選び、地図を表示する。

- 「近くの施設を検索して呼び出す」 (74 ページ) を参照してください。



5 **お気に入り登録** にタッチ。

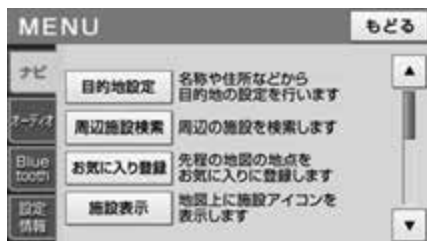


6 **登録** にタッチ。



今いる場所を、お気に入り地点登録する

- 1 **MENU** を押す。
- 2 [ナビ] タブにタッチし、**お気に入り登録** にタッチ。

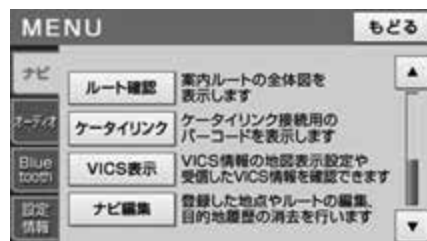


- 3 **登録** にタッチ。



お気に入り地点の情報・設定を編集する

- 1 **MENU** を押す。
- 2 [ナビ] タブにタッチし、**ナビ編集** にタッチ。



- 3 お気に入り地点の **編集** にタッチ。



- 4 編集したい地点にタッチ。



2. お気に入り地点の登録・編集・消去

5 編集したい項目にタッチ。



- ① 地図に表示する名称を編集できます。(108 ページ参照)
- ② お気に入り地点のジャンルを選べます。(108 ページ参照)
- ③ お気に入り地点を、地図に表示する／しないを設定できます。(109 ページ参照)
- ④ お気に入り地点付近に近づいたとき、音声でお知らせする／しないを設定できます。(109 ページ参照)

名称を編集する

1 **名称編集** にタッチ。



2 名称を入力し、**完了** にタッチ。

- 文字入力方法は「画面の基本的な使い方（文字を入力、タブを切替など）」(18ページ) を参照してください。



3 **完了** にタッチ。

ジャンルを変更する

1 **ジャンル変更** にタッチ。



2 設定したいジャンルにタッチ。



3 **完了** にタッチ。

① ワンポイント

自宅が登録されている場合、別の場所を自宅ジャンルに登録すると、メッセージが表示されます。

はい にタッチすると書換されます。

地点を地図に表示する

1 **表示設定** にタッチ。



2 **する** にタッチ。



3 **完了** にタッチ。

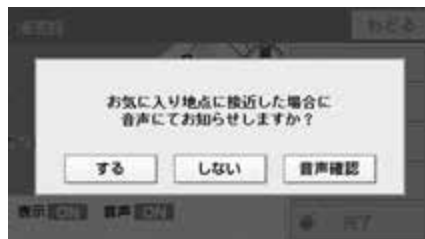
地点場所を音声でお知らせする

1 **音声設定** にタッチします。



2 **する** にタッチ。

- **音声確認** にタッチすると、実際に案内される音声を試聴することができます。試聴後、設定する場合は、**する** にタッチします。



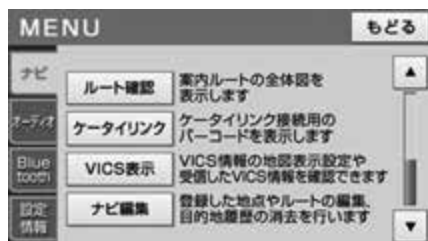
3 **完了** にタッチ。

2. お気に入り地点の登録・編集・消去

お気に入り地点を消去する

1 **MENU** を押す。

2 [ナビ] タブにタッチし、**ナビ編集** にタッチ。



3 お気に入り地点の **消去**、または **全消去** にタッチ。



① 消去したい地点を選びます。手順4に進みます。

② **全消去**、**はい** の順にタッチすると全ての
お気に入り地点が消去されます。

4 消去したい地点にタッチ。

- **全選択** にタッチすると、全てのお気に入り地点が選択されます。



- 消去する地点を選択した状態で別のタブへ切替えた場合、次の画面が表示されます。**はい** にタッチすると、選択した項目が解除されます。



5 **決定** にタッチ。

6 **はい** にタッチ。

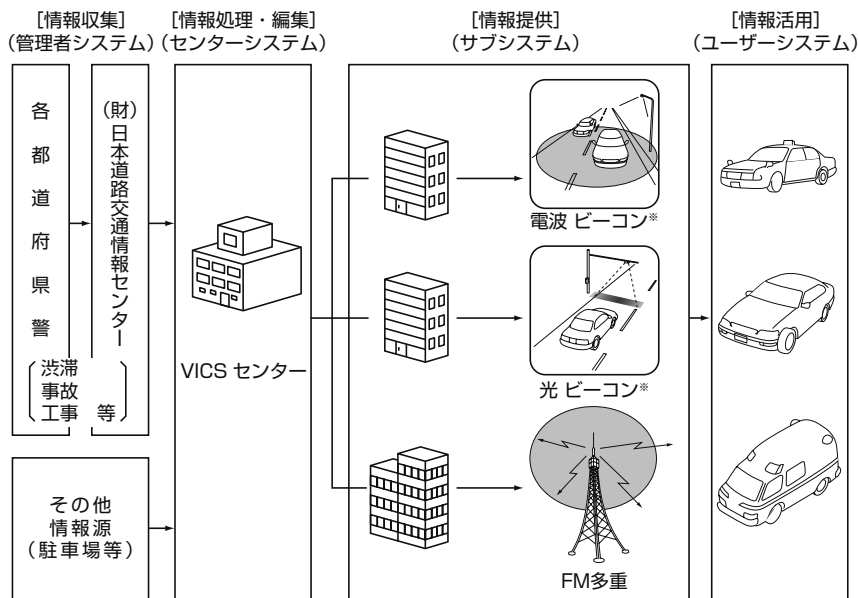


1. VICs情報について

VICSの紹介

道路交通情報通信システム（VICs：Vehicle Information and Communication System）は渋滞や事故、工事、所要時間、駐車場の道路交通情報をリアルタイムに送信し、地図画面等に表示するシステムです。また、道路交通情報の提供をととして、安全性の向上、交通の円滑による環境の保全等を促進することを目的としています。

VICSは大きく分けて、「情報収集」「情報処理・編集」「情報提供」「情報活用」の4つのブロックからなります。



※ 本機は、電波ビーコン、光ビーコンの受信に対応していません。

- VICsリンクデータベースの著作権は (財) 日本デジタル道路地図協会、(財) 日本交通管理技術協会が有しています。
- VICsおよび本機に付与された  のマーク・ロゴタイプは財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

1. VICs情報について

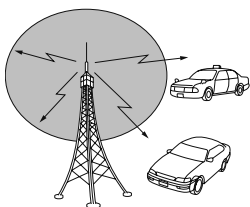
VICsのメディア概要と特 有事項

VICsは、それぞれ特性の異なる3つのメディアがあります。

本機では、内蔵のFM多重チューナーでFM多重放送を受信することができます。(VICs情報の受信については「VICs提供放送局を選ぶ」(114ページ)を参照してください。)

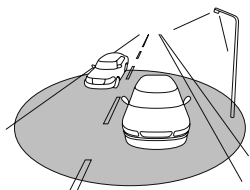
● FM多重

FM多重は、放送局から広く電波の届く範囲の車両に情報の提供を行います。



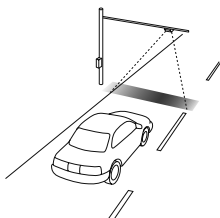
● 電波ビーコン※

電波ビーコンは、主に高速道路の路側に設置され、その地点を通過する車両に情報の提供を行います。



● 光ビーコン※

光ビーコンは、主に一般道路上の各レーンに設置され、そのレーンを通過する車両に情報の提供を行います。



※ 本機は、電波ビーコン、光ビーコンの受信に対応していません。

VICs特有の事項

- 提供情報はあくまで参考情報としてご利用ください。
(提供される情報は最新でない場合があります。)
- VICsの表示内容は、VICsセンターが提供していますので、本取扱説明書の画面表示は、実際の表示内容とは異なる場合があります。
- 電波がうまく受信できないときに一部表示が乱れる場合があります。新しい電波が正しく受信できれば正しい表示に更新されます。
- FM多重放送特有事例として、次の状況ではうまく受信できないことがあります。
 - ・ 高層ビルの間（電波が乱反射することがあるため）
 - ・ 盆地のようなところ
 - ・ トラックとすれ違ったとき

VICS 情報提供内容と表示の紹介

- VICS 情報は文字表示、簡易図形表示、または地図表示から渋滞・交通規制等を表示します。
- VICS 情報は、FM多重放送局から送信された情報の提供時刻が表示されます。

レベル1

- 文字表示



レベル2

- 簡易図形表示



レベル3

- 地図表示



ワンポイント

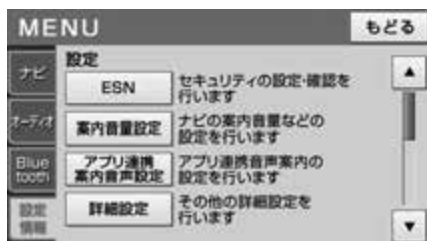
- 情報が受信できない場合など、VICS 情報が表示できないことがあります。
- 情報提供エリアの違いなどによって情報内容が異なります。

2. 放送局の受信

VICS 提供放送局を選ぶ

1 **MENU** を押す。

2 「設定／情報」タブにタッチし、**詳細設定** にタッチ。



3 FM VICSの設定の **設定する** にタッチ。



4 **選局設定** にタッチ。



5 **オート**、または **マニュアル** にタッチ。

- 初期設定は、**オート** です。オートで受信されないときのみ、**マニュアル** から、放送局（または放送エリア）を選択してください。



オート（自動）で選ぶ

1 **オート** にタッチ。



2 **もどる** にタッチ。

マニュアル（手動）で選ぶ（エリア選択）

選んだ都道府県の放送局が受信されます。受信状態がかわると、選んだ都道府県内で、自動的に受信可能な放送局に切り替わります。

1 **マニュアル** にタッチ。

2 受信させる放送局のある都道府県名にタッチ。



3 **もどる** にタッチ。

マニュアル（手動）で選ぶ（周波数選択）

選んだ周波数の放送局が受信されます。受信状態がかわっても自動的に放送局は切り替わりません。

1 **マニュアル** にタッチ。

2 TUNEの **▲**、または **▼** にタッチして、放送局の周波数を選ぶ。



3 **もどる** にタッチ。

2. 放送局の受信

ワンポイント

- 通常は **オート** でご使用ください。
- VICS 情報が受信できる代表的な周波数（2011年6月現在）

北海道（旭川地区 85.8MHz）（函館地区 87.0MHz）（札幌地区 85.2MHz）
 （室蘭地区 88.0MHz）（釧路地区 88.5MHz）（帯広地区 87.5MHz）
 （北見地区 86.0MHz）

青森県	86.0MHz	秋田県	86.7MHz	岩手県	83.1MHz
山形県	82.1MHz	宮城県	82.5MHz	福島県	85.3MHz
茨城県	83.2MHz	栃木県	80.3MHz	群馬県	81.6MHz
埼玉県	85.1MHz	千葉県	80.7MHz	東京都	82.5MHz
神奈川県	81.9MHz	山梨県	85.6MHz	静岡県	88.8MHz
長野県	84.0MHz	岐阜県	83.6MHz	愛知県	82.5MHz
三重県	81.8MHz	新潟県	82.3MHz	石川県	82.2MHz
富山県	81.5MHz	福井県	83.4MHz	滋賀県	84.0MHz
京都府	82.8MHz	大阪府	88.1MHz	兵庫県	86.5MHz
奈良県	87.4MHz	和歌山県	84.7MHz	岡山県	88.7MHz
広島県	88.3MHz	鳥取県	85.8MHz	島根県	84.5MHz
山口県	85.3MHz	香川県	86.0MHz	徳島県	83.4MHz
高知県	87.5MHz	愛媛県	87.7MHz	福岡県	84.8MHz
大分県	88.9MHz	佐賀県	81.6MHz	長崎県	84.5MHz
熊本県	85.4MHz	宮崎県	86.2MHz	鹿児島県	85.6MHz
沖縄県	88.1MHz				

- 新規エリアについては周波数を手動で選択しないと受信できない場合があります。
- VICS 情報のサービスエリアについては、「**VICS 情報有料放送サービス契約約款**」（242 ページ）を参照してください。
- VICS システムでは、あらかじめ地図データに情報提供される道路単位（VICS リンク）を設定しています。これは毎年追加・更新・削除されるため、データベースの更新を行わない場合、本機の発売から経年で VICS 地図情報（レベル3）（渋滞や混雑の矢印など）の一部が表示されなくなることがあります。
 最新の情報に対応するためには、地図データの更新を行う必要があります。
 情報提供サービス維持のため、変更前の VICS リンクにも変更後3年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。
- VICS FM 多重放送の運用時間は24時間です。休止時間については、VICS FM 多重放送の「気象警報他」でご案内します。運用時間は予告なく変更されることがあります。

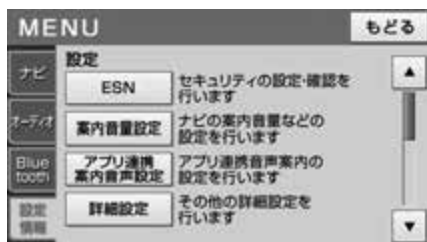
3. VICs情報の表示・案内

地図に表示するVICs情報を設定する

地図（レベル3）に表示するVICs情報を設定することができます。

1 **MENU** を押す。

2 「設定／情報」タブにタッチし、**詳細設定** にタッチ。



3 FM VICsの設定の **設定する** にタッチ。



4 各表示設定の **する**、または **しない** にタッチ。

- VICsマーク（123 ページ参照）は、事象・規制情報の表示、または駐車場情報の表示が **する** に設定されていないと表示されません。



5 **もどる** にタッチ。

ワンポイント

VICs 対象道路は将来の計画も含めた情報提供の可能性のある道路です。したがって、現時点では情報提供されていない道路もあります。

3. VICs情報の表示・案内

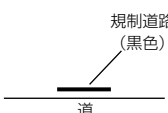
表示されるVICs情報の紹介

地図にVICs情報（渋滞・規制情報、VICsマーク）を表示させることができます。

チェック

500mスケール図以下の地図で表示させることができます。

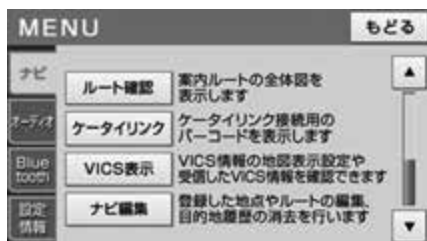


番号	表示	内容
①	タイムスタンプ	VICs 情報を受信した時刻を表示します。状況や受信される情報により、次のように切替わります。 ・  ... 表示中の地図に VICs 情報（レベル3）がある場合 ・  ... VICs 情報を受信しているが、表示中の地図に VICs 情報（レベル3）がない場合 ・  ... VICs 情報を受信していない場合
②	渋滞情報／規制情報	● 渋滞情報 渋滞の長さや混雑状況を、矢印の長さや色で表示します。 ・ 赤色・・・渋滞 ・ 橙色・・・混雑 ・ 水色・・・順調（空いている）  ● 規制情報 規制道路を黒色の線で表示します。 
③	VICsマーク	規制情報、駐車場、サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）の情報がマークで表示されます。 VICs マークの詳細は、「地図に表示される VICs マークの紹介」（123 ページ）を参照してください。

VICS情報を表示する道路を選ぶ

1 **MENU** を押す。

2 **[ナビ]** タブにタッチし、**VICS表示** にタッチ。



3 表示させる道路にタッチ。



VICSマークの内容を確認する

規制情報、または駐車場情報の内容を表示することができます。

1 VICSマークにタッチ。



現在地からの直線距離

ワンポイント

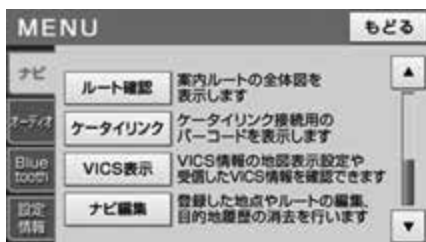
- タイムスタンプは、VICS 情報が提供された時刻を示しています。VICSが受信された時刻ではありません。
- VICS 情報は継続して受信されないと、提供時刻の約30分後に自動的に消去されます。
- VICS マークによっては、内容が表示されないことがあります。

3. VICs情報の表示・案内

VICs情報の表示をやめる

1 **MENU** を押す。

2 **[ナビ]** タブにタッチし、**VICs表示** にタッチ。



3 **非表示** にタッチ。



VICs音声案内を設定する

目的地案内中の現在地画面で、約10km以内のルート上のVICs情報を音声でお知らせします。

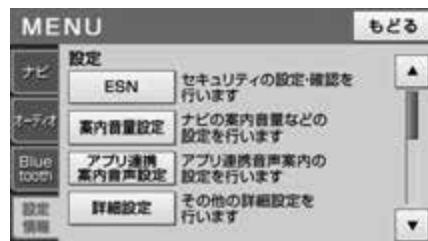
■ 音声案内の例

- VICs渋滞表示がある地点：「およそ1km先、渋滞が発生しています。」
- VICsマークのある地点：「およそ10km先、電気工事のため車線規制です。」

音声案内はあくまでも参考としてください。

1 **MENU** を押す。

2 **[設定／情報]** タブにタッチし、**詳細設定** にタッチ。



3 FM VICsの設定の **設定する** にタッチ。



4 VICs音声案内の **する**、または **しない** にタッチ。

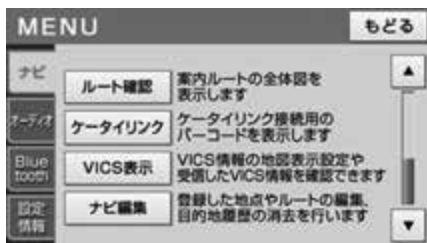


5 **もどる** にタッチ。

VICS図形情報を表示する

1 **MENU** を押す。

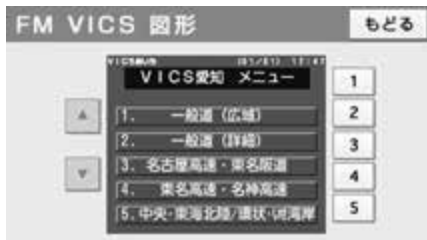
2 [ナビ] タブにタッチし、**VICS表示** にタッチ。



3 **FM図形** にタッチ。



4 表示させる情報の番号にタッチ。



5 ▲、▼ または **自動送り** にタッチ。

- 自動送りを解除する場合は、**停止** にタッチします。

1ページごと送る

目次に戻る

VICS文字情報を表示



自動で情報を送る
(走行中、操作不可)

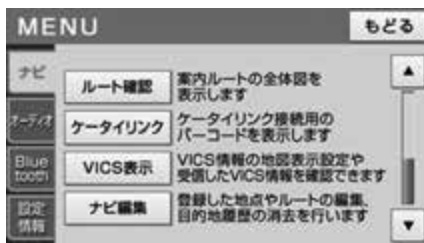
ワンポイント

緊急情報を受信したときは、他の情報より優先して割込表示されます。割込んだ情報は**割込情報**から再表示することができます。

VICS文字情報を表示する

1 **MENU** を押す。

2 [ナビ] タブにタッチし、**VICS表示** にタッチ。



3. VICs情報の表示・案内

3 FM文字 にタッチ。

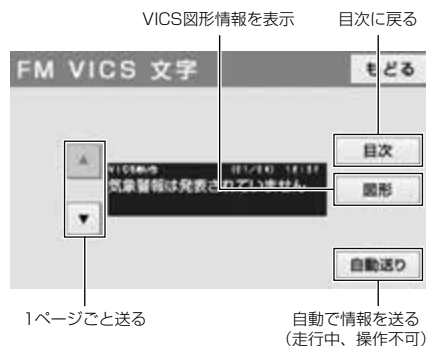


4 表示させる文字情報の番号にタッチ。



5 ▲、▼ または 自動送り にタッチ。

- 自動送りを解除する場合は、**停止** にタッチします。



① ワンポイント

緊急情報を受信したときは、他の情報より優先して割込表示されます。割込んだ情報は**割込情報**から再表示することができます。

地図に表示されるVICISマークの紹介

VICIS情報の中で使用されるマークの代表的な例を示します。

表示	情報内容
	事故
	故障車
	路上障害
	注意（規制情報や地震警戒宣言）
	工事
	火災
	雨、雪、雷など
	凍結
	落石、土砂崩れなど
	作業
	原因事象不明
	通行止め
	右折禁止
	左折禁止
	直進禁止
	右左折禁止
	片側交互通行
	チェーン規制
	進入禁止

表示	情報内容
	規制情報不明
	駐車場 空
	駐車場 満
	駐車場 混雑
	駐車場 不明
	駐車場 閉鎖
	対面通行
	車線規制
	徐行
	入り口閉鎖
	大型通行止め
	入り口規制
	移動規制
	速度規制 30km/h
	SA PA情報 空
	SA PA情報 満
	SA PA情報 混雑
	SA PA情報 不明
	SA PA情報 閉鎖
	イベント

表示されるマークは実際と異なることがあります。また、複数の規制を代表して1つのマークで表示することがあります。

3. VICIS情報の表示・案内

VICISの用語説明

より正しく有効に利用していただくために、次に出てくる用語の説明をご一読ください。

■ 緊急情報

津波情報等の緊急に伝達される必要のある情報の場合、本機では、他の情報より優先して表示提供されます。

■ 交通情報関連の用語

- 渋滞：交通の流れが非常に悪い状態をいいます。
- 混雑：交通の流れがやや悪い状態をいいます。

■ 駐車場情報関連の用語

- 満車：駐車場において、ほぼ満車の状態をいいます。
- 混雑：駐車場において、利用率が高い状態をいいます。
- 空車：駐車場の利用が可能な状態をいいます。
- 不明：駐車場の情報が無い状態をいいます。
- 閉鎖：駐車場が閉鎖されている状態をいいます。

VICISの問い合わせ先

- VICIS車載機の調子や使用方法、受信の可否に関して
 - 地図表示（レベル3）の内容に関して
 - VICIS情報の受信エリアや内容の概略に関して
- これらの内容のお問い合わせは、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

- 文字表示（レベル1）の内容に関して
- 簡易図形表示（レベル2）の内容に関して
- VICISの概念、サービス提供エリアに関して

これらの内容のお問い合わせは、サービス・サポート・センターまでご連絡ください。

電話受付 <受付時間 09:30～17:45 土曜、日曜、祝日を除く>

電話番号 0570-00-8831（全国）※

※全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

※PHS、IP電話等からはご利用できません。

FAX受付 <受付時間 24時間>

FAX番号 03-3562-1719（全国）

VICISの最新情報やFM多重放送局の周波数の情報などは、下記のホームページでご覧いただけます。

URL：<http://www.vics.or.jp/>

なお、お問い合わせ先の判断に迷うようなときには、まずお買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

1. バックアイカメラの操作

バックアイカメラを装着した場合、バックギアにシフトすると、ディスプレイに後方のカメラ映像を映すことができます。また、俯瞰機能付きバックアイカメラを接続している場合、カメラ映像の視点を切替えることができます。

バックアイカメラをお使いになる前のご注意

△ 注意

バックアイカメラの映像はバックミラーやサイドミラーで見ると同じ左右反転させた映像です。また、車種により見え方が異なります。十分にご注意ください。

△ 重要

高圧洗車機を使用する場合、カメラ、またはカメラの周囲に直接ノズルを向けることは避けてください。カメラが脱落する恐れがあります。

📌 ワンポイント

- バックアイカメラを過信しないでください。
- バックアイカメラは、障害物等の確認のための補助手段として使用してください。
- 雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなる恐れがあります。
- モニター画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。必ずルームミラー、ドアミラーを併用し、後方および周囲の安全を十分確認してください。
- 以下のような状況では使用しないでください。
 - ・ 凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
 - ・ 坂道など平坦でない道路
 - ・ バックドアが完全に閉まっていないとき
 - ・ タイヤチェーン、応急タイヤを使用しているとき
- ディスプレイが冷えているときに、映像が尾を引いたり、通常より暗くなり認識しにくくなる場合があります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。
- カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取りつけ角度がずれてバックアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。バックアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりすると、カバーが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- カメラのカバーは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
- 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化をあたえると、バックアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などによりバックアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。早めに販売店で点検を受けてください。
- 太陽光を直接長時間撮像しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
- 写真は一例です。ディスプレイに写る範囲は車種によって異なります。
- バックギアにシフトした瞬間は、一端白画面になりますが、その後次第に安定します。

1. バックアイカメラの操作

- 太陽光、ヘッドライトなど強い光が当たると上下に白帯が出ることがあります。
- 長時間使用した場合、温度上昇により白キズや縦線が出ますが、CCDの特性によるものです。
- 50Hz電源地域の蛍光灯下では、画面のちらつき（フリッカー現象）が起こりますが故障ではありません。
- バックアイカメラのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。

バックアイカメラの映像を映す

1 バックギアにシフト。

- バックギア以外にシフトするとナビゲーション画面にもどります。

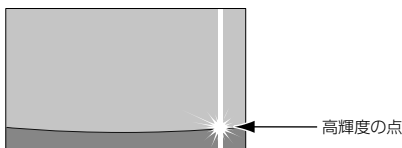


● カメラ映像

ワンポイント

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- 後方の映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
 - ・ 暗いところ（夜間など）。
 - ・ レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
 - ・ カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）。
 - ・ カメラ付近に異物（泥など）がついたとき。
 - ・ 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
 - ・ 高輝度の点（車体に反射した太陽等）がカメラに映ると、CCDカメラ特有のスミヤ現象※が発生することがあります。

<画面の状況>



※ スミヤ現象：高輝度の点（車体に反射した太陽等）がカメラに映るとその点の上下（縦方向）に尾を引く現象。

ガイド線を設定する・調整する

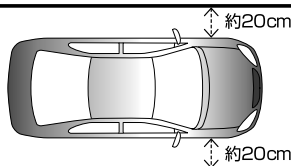
警告

- 車を降りて目印をつけるときは、必ずエンジン切ってください。
- ガイド線を調整するときは、安全な場所に停車してください。

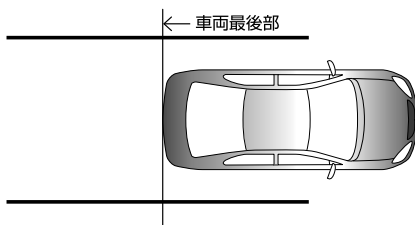
チェック

- ガイド線を表示する場合は、必ず車両に合わせた調整をしてください。
- 俯瞰機能付きバックアイカメラを接続している場合、ガイド線の設定は通常モード、または俯瞰（ふかん）モードのどちらかに合わせた設定になります。ガイド線の設定をしていないモードを表示するときは、ガイド線の表示を解除してください。（128 ページ参照）

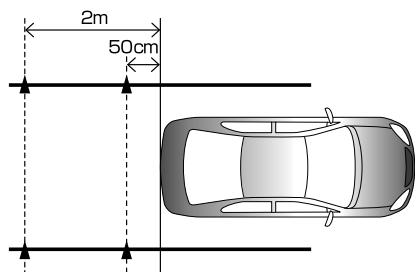
- 1 車両の幅+両側約20cmの位置に、直線の目印をガムテープなどでつける。



- 2 車両を約2.5m直進させ、車両最後部に直線の目印をつける。

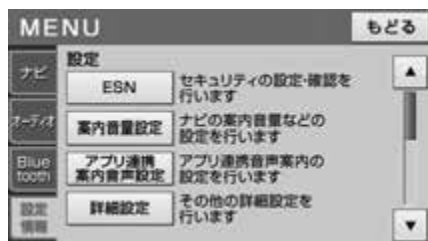


- 3 車両最後部から50cmおよび2m離れた左右4カ所をマーキングする。



- 4 **MENU** を押す。

- 5 [設定／情報] タブにタッチし、**詳細設定** にタッチ。



- 6 バックカメラガイド線表示の**調整する** にタッチ。



- 7 調整したいポイント、または**ポイント切替** にタッチ。



初期設定に戻す ポイント

- **ポイント切替** にタッチするごとに、調整できるポイントが切り替わります。

- 8 **↓**、**↑**、**←**、**→** にタッチし、マーキングした4点と合わせる。

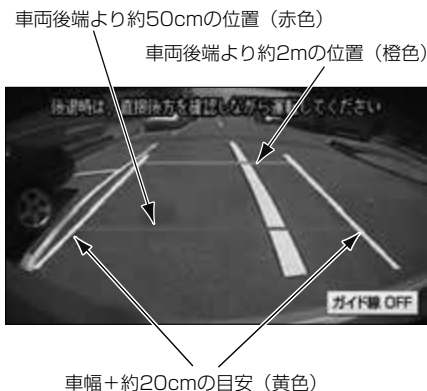
- 9 **完了** にタッチ。

1. バックアイカメラの操作

ガイド線の見方

カメラの位置や表示ガイド線の位置により、車と立体物の距離が異なります。

バグギアにシフトすると、バックアイカメラの映像に切り替わり、車幅や距離感覚を補うガイド線が表示されます。



ガイド線の表示を解除する

1

ガイド線 OFF にタッチ。

- **ガイド線 ON** にタッチすると、ガイド線を表示することができます。



視点を切替える

※ 俯瞰機能付きバックアイカメラを装着している場合のみ操作することができます。

ディスプレイに表示する映像を、上から見た俯瞰(ふかん)モードに切り替えることができます。

- 通常モード

車両後方を全体的に映す映像です。主に車両後方を全体的に確認したいときにご利用ください。



- 俯瞰(ふかん)モード

車両上方から真下方向を映す映像です。主に車両後方の段差、縁石、車両輪止めなどを確認したいときにご利用ください。



バックアイカメラの初期設定をする

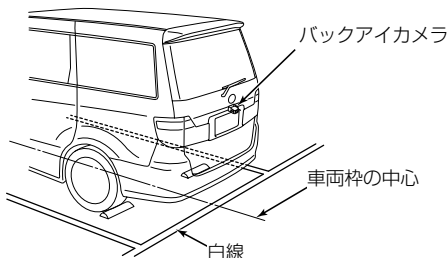
⚠ 注意

初期設定するときは、安全な場所に停車してください。

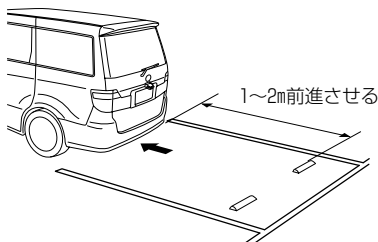
🏠 チェック

バックアイカメラの初期設定は必ず駐車車両枠(白線など)と車両輪止めのある駐車場で行ってください。

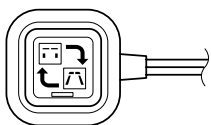
- 1 駐車車両枠（白線）の中央に車両を止める。



- 2 車両を1～2 m前進させる。



- 3 カメラ映像を表示中に、画像切り替えスイッチを5秒以上押す。



- 4 画像切り替えスイッチを押す。

- スイッチを押すごとに、視点の高さが切り替わります。



- 5 画像切り替えスイッチを3秒以上押す。

- 6 画像切り替えスイッチを押す。

- スイッチを押すごとに、角度が切り替わります。
- 駐車車両枠などが平行に見える画面をおすすめします。



- 7 画像切り替えスイッチを3秒以上押す。

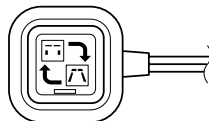
ワンポイント

- 設定中にバックギア以外にシフトすると、設定が保存されません。
- 設定できる角度は6段階です。

視点を切り替える

- 1 カメラ映像を表示中に、画像切り替えスイッチを押す。

- スイッチを押すごとに、通常モードと俯瞰（ふかん）モードが切り替わります。



1. 補正が必要なとき

実際の現在地と異なる場所に自転車位置マークが表示されているときは、自転車位置マークの位置と向いている方向を修正することができます。

ただし、地図の自転車位置マークがずれても、しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。(場合によっては、数分程度かかることがあります。)

GPS情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。

タイヤを交換したときなど、走行中にナビゲーションの自転車位置マークの進み方と、実際の車の進み方が違っているときは、自転車位置マークの進み方を自動で修正します。「システムチェック機能の表示」(132ページ)(距離補正)

自動で距離補正されない場合は、販売店で点検を受けてください。

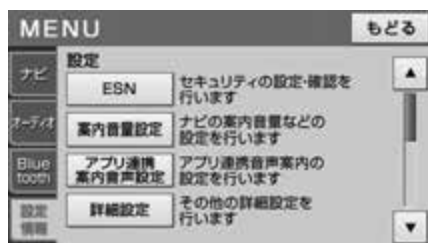
現在地の位置を修正する

① チェック

500mスケール図以下の詳細な地図で補正することができます。

1 **MENU** を押す。

2 「[設定/情報] タブにタッチし、**詳細設定** にタッチ。



3 現在地の修正の **修正する** にタッチ。



4 実際の現在地に地図を動かして **セット** にタッチ。



5 **⏮**、または **⏭** にタッチして **セット** にタッチ。



2. 地図データの情報

地図データの情報を確認する

地図SDメモリーカードに収納されている地図データのバージョンなどの情報を見ることができません。

画面は表示例であり、地図データの作成時期・種類によって表示内容が異なります。

1 **MENU** を押す。

2 **「設定／情報」** タブにタッチし、**バージョン** にタッチ。



● バージョン情報画面

ワンポイント

バージョン情報画面でEコードの **確認** にタッチすると、Eコード読み込み画面が表示されます。



2次元バーコードを拡大／縮小

3. システムチェック機能の表示

システムチェック機能で確認できる項目一覧

次の情報を確認することができます。

項目			内容
GPS 情報	GPS測位レベル	3D測位	3次元測位状態
		2D測位	2次元測位状態
		測位不可	測位不可状態
	GPS受信個数		受信中のGPS衛星数
	GPS受信強度	使用中	GPS衛星の電波を受信して測位中状態
		受信中（未使用）	GPS衛星の電波を受信して未測位状態
		未受信	GPS衛星の電波未受信状態
GPSバージョン		GPSのソフトウェアをバージョンアップすることができます。	
車速パルス	ON	走行状態	
	OFF	停止状態	
車速		速度の表示	
パーキング信号	ON	パーキングブレーキがかかっている状態	
	OFF	パーキングブレーキがかかっていない状態	
リバース信号	ON	バックギアにシフトしている状態	
	OFF	バックギア以外にシフトしている状態	
イルミネーション信号	ON	車のライトが点灯している状態	
	OFF	車のライトが消灯している状態	
距離補正学習状況		自動で行われる距離補正の学習状況	
SDカード	OK	SDメモリーカード挿入状態	
	NG	SDメモリーカード未挿入状態	
カメラ接続	OK	バックアイカメラ接続状態	
	NG	バックアイカメラ未接続状態	
GPSアンテナ接続	OK	GPSアンテナ接続状態	
	NG	GPSアンテナ未接続状態	
USB検知	OK	USBメモリ接続状態	
	NG	USBメモリ未接続状態	
iPod検知	OK	iPod接続状態	
	NG	iPod未接続状態	
Bluetoothバージョン		Bluetoothモジュールのソフトウェアをバージョンアップすることができます。	

システムチェック画面を表示する

- 1 **MENU** を押す。
- 2 [設定／情報] タブにタッチし、**システムチェック** にタッチ。



● システムチェック画面

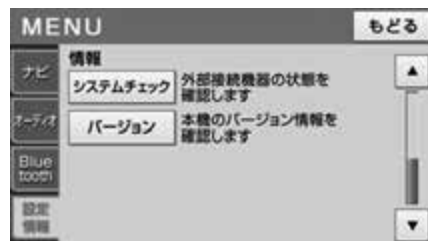
GPSのソフトウェアをバージョンアップする

GPSのソフトウェアをバージョンアップすることができます。

チェック

更新情報がある場合のみ、バージョンアップすることができます。

- 1 **MENU** を押す。
- 2 [設定／情報] タブにタッチし、**システムチェック** にタッチ。



- 3 **確認する** にタッチ。

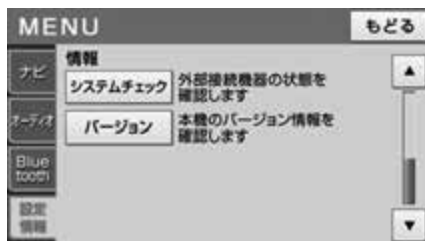


3. システムチェック機能の表示

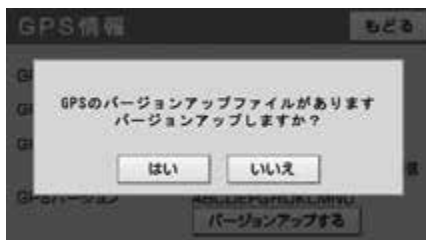
- 4 | GPSバージョンの
バージョンアップする にタッチ。



- 2 | [設定／情報] タブにタッチし、
システムチェック にタッチ。



- 5 | **はい** にタッチ。



- 3 | Bluetoothバージョンの
バージョンアップする にタッチ。



Bluetooth®モジュールの ソフトウェアをバージョ ンアップする

Bluetoothモジュールのソフトウェアをバージョンアップすることができます。

🏠 チェック

更新情報がある場合のみ、バージョンアップすることができます。

- 1 | **MENU** を押す。

- 4 | **はい** にタッチ。



4. 精度と誤差

測位精度

GPS衛星は米国国防総省によって管理されている非常に精度の高いものですが、建物などの反射によるマルチパスがあると誤差が生じることがあります。

GPS衛星の電波の性質と受信状態

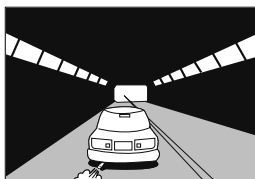
GPSアンテナとGPS衛星の間に障害物があると、衛星からの電波を受信できなくなります。また、測位するには3個以上の電波を同時に受信する必要がありますので、下記のような場所ではGPSによる測位ができなくなることがあります。

さらに、GPSアンテナの上または周囲に障害物（積載物など）がある場合も、衛星からの電波を受信できなくなることがあります。

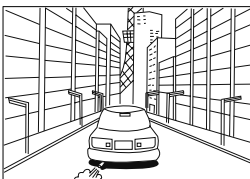
チェック

- GPS衛星は地球を周回していますので、同じ場所でもその時の位置によって電波の受信状態が変化します。また、水平線に近い衛星の電波は障害物の影響を受けやすくなります。
- GPS衛星は米国国防総省によって管理されており、故意に測位精度を落とすことがあります。

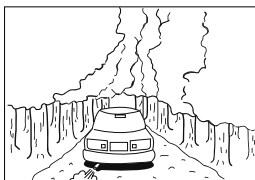
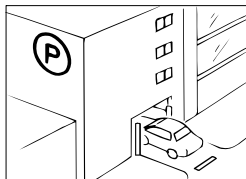
トンネルの中



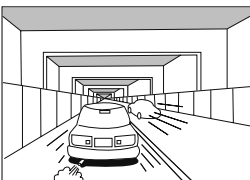
高層ビルなどの障害物で
周囲を囲まれたところ



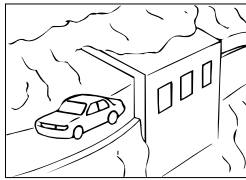
建物の中や地下、屋内駐車場



樹木などが密集しているところ



高架道路の下



崖下の道、洞門

現在地表示の誤差

本機は現在地を測位するために、GPS衛星電波、車速センサーおよび振動ジャイロセンサーからの情報を使用していますが、それぞれには誤差が含まれているため、表示している現在地が実際の位置と一致しないことがあります。

チェック

実際の位置と一致しない場合は、表示している現在地を修正することができます。安全な場所に停車してから行ってください。

4. 精度と誤差

タイヤによる誤差

本機では自車の移動した距離をスピードセンサーで測定（タイヤの回転数に比例）しているので、次の場合には誤差が大きくなって現在地を正しく測定できなくなることがあります。

- 規格外のタイヤを使用したとき。
- 雪道や砂利道などのスリップしやすい道を走行しているとき。
- タイヤの空気圧が適正圧でないとき。
- 新品のタイヤを装着したとき。（自動で距離補正が行われます。）

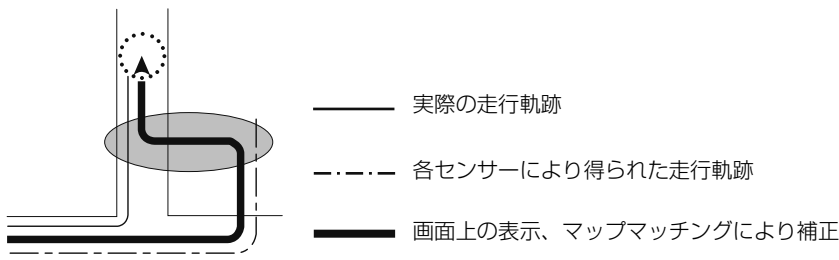
マップマッチングによる現在地検出の補正

マップマッチングとは、GPSなどで得られた現在地の情報と今までに走行してきた道路を比較して、最も適切な道路上に現在地を補正させるシステムです。

本機では、自立航法と衛星航法を組み合わせ得られた現在地の情報を、道路形状に合わせて補正させています。

しかし、現在地の誤差はどうしても避けられない為、マップマッチングで補正しても現在地が実際の位置からずれる場合があります。

また、地図データと実際の道路形状が異なる道路を走行すると自車位置マークがずれる場合があります。

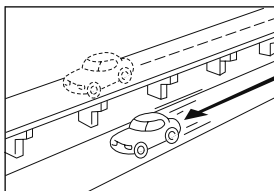


ワンポイント

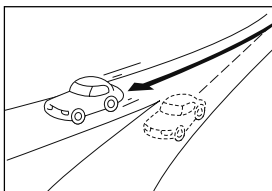
本機の電源を入れた直後は、動作が安定していないため、お車を動かすと、自車位置マークが実際と異なる動きをする場合があります。しばらく走行すると、動作が安定するため、通常の動きに戻ります。

現在地表示、ルート案内の精度

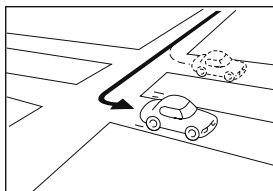
次にあげるように、本機の故障ではありませんが、道路条件や走行状態によっては、正確な現在地表示やルート案内が行われない場合があります。



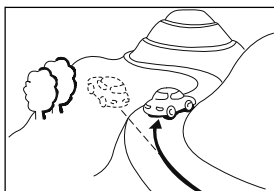
並走している道路に現在地が表示される。



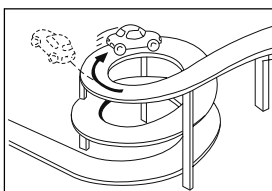
角度の小さなY字路を曲がったとき、他方の道路に現在地が表示される。



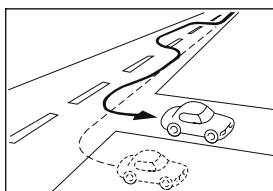
右左折のとき、手前または先の道路に現在地が表示される。



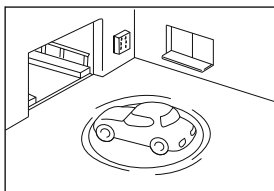
急勾配の道路を走行したとき、現在地がずれて表示される。



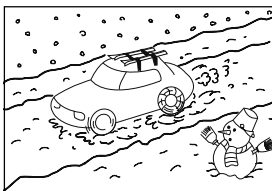
同一方向のカーブが連続する道路を走行したとき、現在地がずれて表示される。



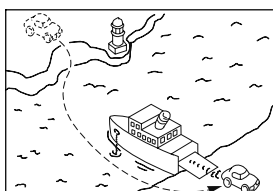
車線変更など蛇行運転をしたとき、現在地がずれて表示される。



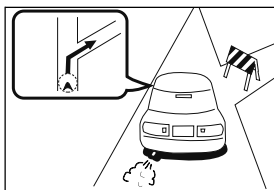
駐車場のターンテーブルなどで、ACC OFFの状態で旋回したとき、現在方位がずれて表示される。



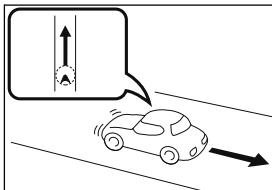
雪道などの滑りやすい路面を走行しているときや、タイヤチェーンなどを装着して走行しているとき、現在地がずれて表示される。



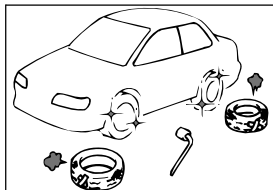
フェリーなど、自転車走行以外で移動したとき、GPSによる測位ができるまで移動前の場所に現在地が表示される。



実際には通行できない道路(進入禁止など)を案内する。



後退時に現在地がずれて表示される。



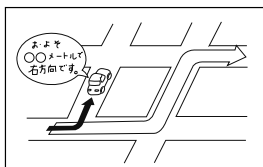
タイヤを交換した場合、自転車位置マークがずれて表示される。

4. 精度と誤差

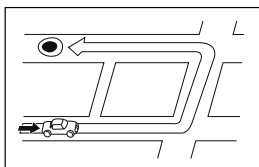
道路、地名データ

道路や地名は、地図データ作成後に変更される場合がありますので、実態と合わない場合があります。

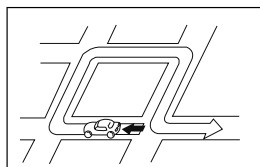
ルート案内



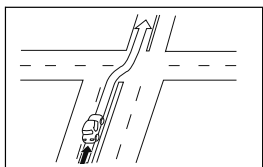
案内ルートをはずれて手前の交差点などで曲がったときなど音声案内が誤ってでる場合があります。



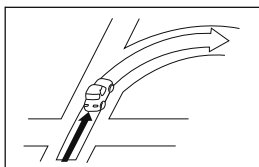
ルート探索時に、ルートが遠回りになる場合があります。



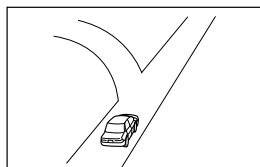
Uターンするルートを案内する場合があります。



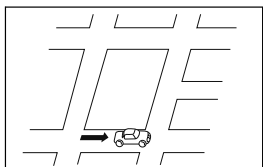
直線道路を走行中に、直進の案内が出る場合があります。(交差点の形状がわかりにくい場合など)



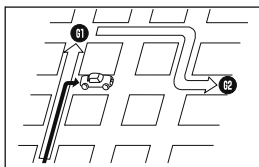
交差点で曲がるのに案内のない場合があります。



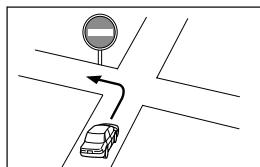
方面の案内で、いくつもの地名を表示する場合があります。



ルート探索時のルート表示が、次の右左折までに間に合わない場合があります。



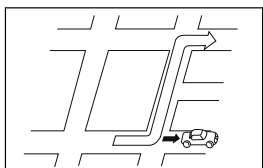
複数目的地の場合、次の目的地を通らずに、再探索するもどるルートになります。



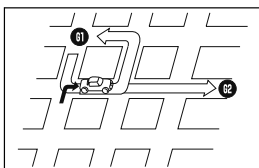
実際の交通規則にしたがって運転してください。



ルート探索完了



再探索



ワンポイント

- 高速走行時の再探索時間が長い場合があります。
- 自転車位置マークを手動で修正したときに、正しい位置に修正しない状態で走行すると、その後正しく位置を表示しません。
- 再探索しても、ルートが変わらない場合があります。
- 離島や周囲に案内可能な道路がないところが現在地・目的地として設定されている場合に、ルートが探索されないことがあります。
- 現在地と目的地が近い場合にルートが表示されない場合があります。
- 有料回避を選択しても必ず有料道路以外の道路を通るわけではありません。
(「有料回避」とは、有料道路と一般道路のいずれの道も選ぶことが可能な場合、一般道路を通るように設定するものです。)

MEMO

3



オーディオ・
ビジュアル

1. 基本操作

ソースを切替える

① チェック

ハンズフリー通話中は、ソースを切替えることはできません。

1 ソース切替タブにタッチ。

- ナビゲーション画面の場合、**AV+ ナビ** にタッチします。

ソース切替タブ



① ワンポイント

iPodを接続すると、USBタブがiPodタブに変わります。

音量を調整する

1 、または を押す。

-  : 音量を上げる
-  : 音量を下げる

① ワンポイント

- 安全運転に支障のないように適度な音量で聞きください。
- 調整レベルは0～80です。
- ソースを切替えたとき、音量に違いが生じることがあります。音量は、お使いになるソースに合わせて調整してください。

音質を調整する

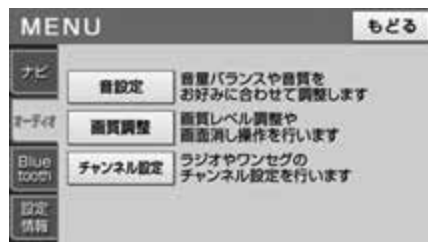
音質、音量バランスを調整することにより、最適な音響空間を作り出すことができます。

- **EQ (イコライザ)** …あらかじめ設定されているイコライザカーブを選択したり、お好みのイコライザカーブに調整することができます。
- **ラウドネス**…オーディオを小音量で聞いているときなどの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。
- **ポジション**…乗車人数や乗車位置、お車のボディータイプ、ツイーターの有無を設定することで、音像定位を簡単に切り替えることができます。
- **フェダー / バランス**…前後・左右の音量バランスを調整し、届きにくいスピーカーからの音を強調することができます。

EQ/ラウドネスの設定

1 を押す。

2 [オーディオ] タブにタッチし、**音設定** にタッチ。



3 | **EQ1** ~ **EQ5**、**FLAT** のいずれかにタッチ。



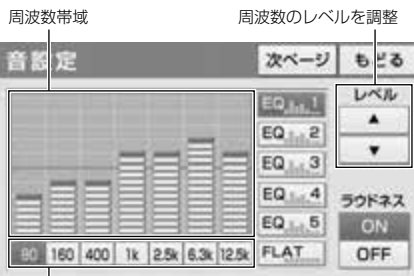
ラウドネスのON/OFFを設定

- 次のイコライザカーブに設定することができます。

スイッチ	イコライザカーブ
EQ1	 高域を強調したパターン
EQ2	 低域・高域を強調したパターン
EQ3	 低域を強調したパターン
EQ4	 低域・高域を少し強調したパターン

スイッチ	イコライザカーブ
EQ5	 ボーカル帯域を強調したパターン
FLAT	 EQ補正なし

- あらかじめ記憶されているイコライザカーブをお好みの音質に調整することもできます。調整したい周波数スイッチにタッチして、周波数のレベルを調整します。
- 周波数帯域にタッチして、周波数レベルの高さを選択することもできます。



周波数スイッチ

- **▲**、**▼** にタッチし続けると連続的に変化しますが、センター値で停止します。再度タッチすると、調整を再開できます。
- **EQ1** ~ **EQ5** に“ピッ”っと音がするまでタッチすると、設定したイコライザカーブが記憶されます。
- **FLAT** に“ピッ”っと音がするまでタッチすると、設定した全てのイコライザカーブが初期化されます。

4 | **もどる** にタッチ。

1. 基本操作

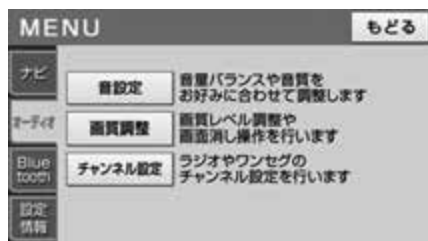
ポジションの設定

チェック

ポジションとフェダー/バランスは同時に設定することができません。

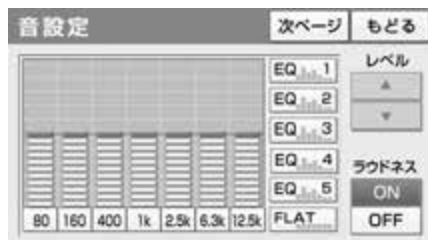
1 **MENU** を押す。

2 [オーディオ] タブにタッチし、**音設定** にタッチ。

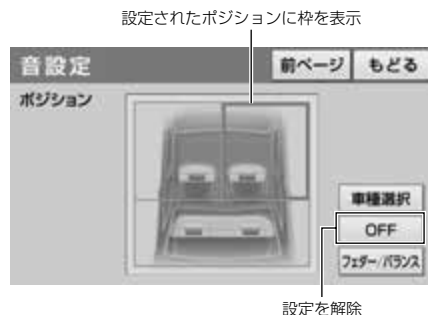


3 **次ページ** にタッチ。

- フェダー/バランス設定画面が表示された場合は、**ポジション** にタッチします。



4 シートにタッチ。



- 次のポジションに設定することができます。

表示	ポジション
	右座席を中心にした音場
	左座席を中心にした音場
	前席を中心にした音場
	後席を中心にした音場

5 **車種選択** にタッチ。

6 お車のボディータイプとツイーターの有無を設定。



7 もどる にタッチ。

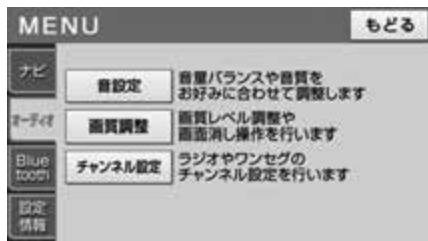
フェダー / バランスの設定

🏠 チェック

ポジションとフェダー / バランスは同時に設定することができません。

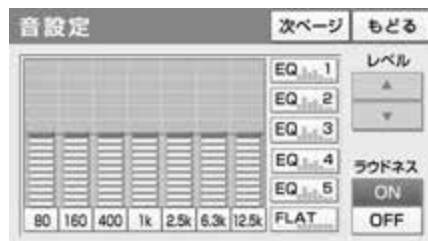
1 MENU を押す。

2 [オーディオ] タブにタッチし、音設定 にタッチ。

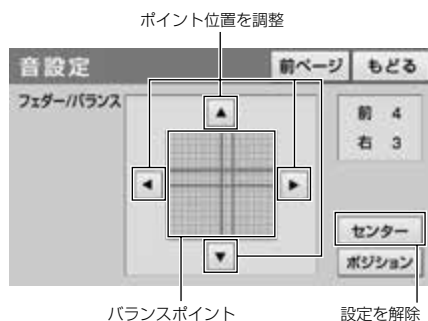


3 次ページ にタッチ。

- ポジション設定画面が表示された場合は、**フェダー / バランス** にタッチします。



4 お好みのバランスポイントにタッチ。



- ▲, ▼, ◀, ▶ にタッチし続けると連続的に変化し、センター値で停止します。再度タッチすると、調整を再開できます。

5 もどる にタッチ。

1. ラジオの使い方

ラジオを聞く

1 [ラジオ] タブにタッチ。

- ナビゲーション画面の場合、**AV+ ナビ** にタッチします。



操作画面を表示

2 **AM**、または **FM** にタッチ。



放送局を記憶する

プリセットスイッチに放送局を記憶させるには手動と自動の2つの方法があります。

手動で記憶する

1 **◀◀**、または **▶▶** にタッチして記憶したい放送局を受信。

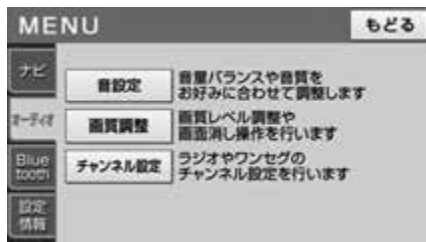
2 記憶させたいプリセットスイッチに“ピー”と音がするまでタッチ。



自動で記憶する

1 **MENU** を押す。

2 [オーディオ] タブにタッチし、**チャンネル設定** にタッチ。



3 AM、またはFMの **設定する** にタッチ。

- “ピッピッ”と音がすると自動選局が終了し、受信できた放送局が、周波数の低い順に最大10局記憶されます。



ワンポイント

- 受信電波の弱い地域では、自動で選局できないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、手動と自動では記憶される放送局が異なることがあります。
- 自動で記憶させる場合、を同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶される放送局が異なることがあります。

基本操作



●AM操作画面

番号	スイッチ	機能
①	プリセットスイッチ※ ¹	記憶されている放送局が受信されます。
②		オーディオの電源が切れます。
③		記憶されている放送局が切り替わります。
④		タッチするごとに、1ステップずつ※ ² 周波数が切り替わります。 “ピッ”と音がするまでタッチすると、受信中の周波数に一番近い放送局が自動で選局されます。 再度タッチすると、解除されます。

※¹ あらかじめ放送局を記憶する必要があります。(146 ページ参照)

※² AMは 9kHz、FMは 0.1MHz ずつ切り替わります。

ワンポイント

受信電波の弱い地域では、自動で選局できないことがあります。

1. ラジオの使い方

交通情報を聞く

🏠 チェック

交通情報 はAM操作画面のみ表示されます。

1

交通情報 にタッチ。

- 交通情報局（1620kHz）が受信されます。



- 交通情報画面

📌 ワンポイント

交通情報 に“ピッ”と音がするまでタッチすると、受信中の周波数を **交通情報** に記憶することができます。

2. CDプレイヤーの使い方

CDを聞く

CDが入っていない場合

1 CDを差し込む。

- 「CD、地図SDメモリーカードを入れる・出す」
(23ページ) を参照してください。

CDが入っている場合

1 [CD] タブにタッチ。

- ナビゲーション画面の場合、**AV+ ナビ** にタッチします。



操作画面を表示

2. CDプレーヤーの使い方

基本操作



●CD操作画面

番号	スイッチ／表示	機能
①	曲選択スイッチ	選択した曲が再生されます。
	CD-TEXT表示※1	CD-TEXT 情報（タイトルや曲名など）が記録されている場合に 表示されます。
②		オーディオの電源が切れます。
③	リピート	再生中の曲が繰り返し再生されます。 再度タッチすると、リピート再生が解除されます。
④	ランダム	全ての曲がランダムに再生されます。※2 再度タッチすると、ランダム再生が解除されます。
⑤		次の曲に切り替わります。 “ピッ”と音がするまでタッチすると、タッチし続けている間、 曲が早送りされます。
		曲が頭出しされます。 連続でタッチすると、前の曲に切り替わります。 “ピッ”と音がするまでタッチすると、タッチし続けている間、 曲が早戻しされます。
⑥	CD-TEXT表示※1	CD-TEXT 情報（タイトルや曲名など）が記録されている場合に 表示されます。

※1 本機で表示できない文字（特殊記号など）は空白スペースで表示されます。

※2 ランダム再生は、曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

ワンポイント

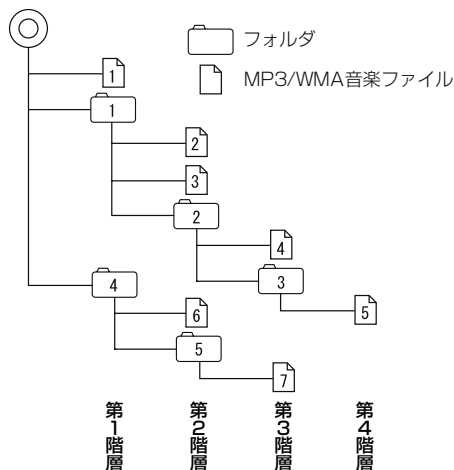
ランダム再生中に **リピート** にタッチすると、再生中の曲を繰り返し再生します。再度 **リピート** にタッチするとランダム再生にもどります。

3. USB メモリの使い方

USBメモリを接続すると、収録されているMP3/WMAファイルを再生することができます。

[MP3/WMAファイル作成例]

ここでの操作説明は、MP3/WMAファイル作成例をもとに説明しています。



🏠 チェック

走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。

📌 ワンポイント

- MP3/WMA ファイルにフォルダ名や音楽ファイル名などが記録されているときは、フォルダ名は全角10文字まで、ファイル名は全角11文字まで表示できます。
- DRM : Digital Rights Management (デジタル著作権管理) システムのWMAファイルやプロテクト録音 (ライセンス管理) されたWMAファイルは再生できません。
- USBメモリにMP3/WMA以外のデータが収録されていたり、データ量が多いときは、再生の開始までに時間がかかる場合があります。

USBメモリを接続する／取りはずす

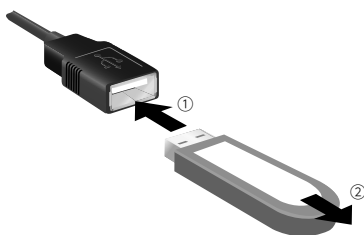
⚠️ 重要

- 必ず本機に同梱されている「USB接続コード」をご使用ください。
- 本機でUSBメモリを使用しているときにUSBメモリ内のデータが消失しても、消失したデータの補償はできませんのでご容赦ください。
- USBメモリを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。その場合、弊社は補償することができません。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。また、車を離れるときは、車内に放置しないでください。
- オーディオソースがUSBのとき、USBメモリを取りはずさないでください。USBメモリ内のデータが破損するおそれがあります。

🏠 チェック

- 接続したUSBメモリが本機で正しく認識できないことがあります。USBメモリを取り外し再度接続してください。
- 使用するUSBメモリによって本機で正しく認識できない場合があります。別のUSBメモリで再度接続してください。

1 USBメモリをUSB接続コードに接続 (①) /取りはずす (②)。



3. USB メモリの使い方

ワンポイント

- 本機で利用できる USB メモリは次のフォーマットです。
 - ・ 対応クラス：マストストレージクラス
 - ・ 対応USB Ver.: USB1.1、USB2.0
 - ・ 最大消費電流：1A未満
- 上記以外のUSBメモリは、正常な動作が行えないため接続しないでください。また、上記を満たしているUSBメモリでも、正常に動作しないことがあります。
- 本機は市販のUSBハブやマルチカードリーダー、外付けのハードディスク、USB端子付ポータブルオーディオプレーヤーには対応していません。
- USBメモリ以外(USB扇風機やUSBクリーナーなど)は接続しないでください。接続して使用すると、ノイズなどが発生する場合があります。
- 本機は市販の USB 充電コード(携帯電話充電コード)を使用することができますが、コードの種類によっては正しく認識できない場合があります。
- 本機の USB メモリ接続コードから延長コードを介してUSB機器を接続しても、正常に動作しないことがあります。

USBメモリを聞く

1 本機とUSBを接続。

- 「USB メモリを接続する／取りはずす」(151ページ)を参照してください。

2 [USB] タブにタッチ。

- ナビゲーション画面の場合、**AV+ ナビ** にタッチします。



操作画面の表示

- 通常は、**1** → **2** → **3** → **4** → **5** → **6** → **7** の順に再生します。【MP3/WMA ファイル作成例】(151ページ参照)
- 同じ階層に複数の MP3/WMA 音楽ファイルやフォルダが存在する場合、SJISコードの昇順(記号→数字→アルファベット→ひらがな→カタカナ→漢字)で再生します。

基本操作



●USBメモリ操作画面

番号	スイッチ	機能
①	フォルダ・ファイル選択 スイッチ	フォルダにタッチすると、フォルダ内の音楽ファイルが表示されます。 音楽ファイルにタッチすると、選択した音楽ファイルが再生されます。
②		オーディオの電源が切れます。
③	フォルダアップ	再生している階層より1つ上の階層のフォルダや音楽ファイルが表示されます。
④		次の音楽ファイルに切り替わります。 “ピッ”と音がするまでタッチすると、タッチし続けている間、音楽ファイルが早送りされます。
		音楽ファイルが頭出しされます。 連続でタッチすると、前の音楽ファイルに切り替わります。 “ピッ”と音がするまでタッチすると、タッチし続けている間、音楽ファイルが早戻しされます。
⑤	再生中フォルダ	再生中の音楽ファイルが表示されます。

3. USB メモリの使い方

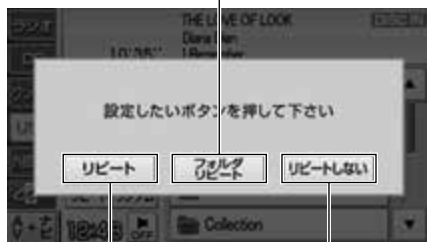
聞きたい音楽ファイルを 繰り返し聞く

1 **リピート** にタッチ。



2 **リピート**、または
フォルダリピート にタッチ。

再生中のフォルダ内の
全音楽ファイルを繰り返し再生



再生中の音楽ファイルを
繰り返し再生

リピート再生を解除

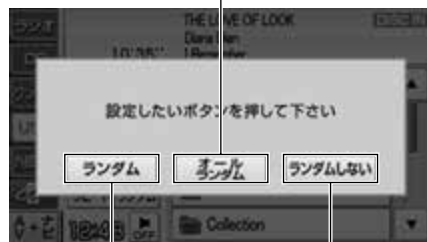
音楽ファイルの順番をランダムに聞く

1 **ランダム** にタッチ。



2 **ランダム**、または **オールランダム**
にタッチ。

USBメモリ内の全音楽ファイルをランダムに再生



再生中のフォルダと
その階層内の全音楽ファイルを
ランダムに再生

ランダム再生を解除

ワンポイント

- ランダム再生は、曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。
- ランダム再生中でも、再生中の音楽ファイルを繰り返し再生することができます。「聞きたい音楽ファイルを繰り返し聞く」(154ページ参照)

再生可能なMP3/WMA ファイル

MP3 (MPEG Audio レイヤ3) は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、元のファイルを約1/10のサイズに圧縮することができます。

WMA (Windows Media™ Audio) はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3同様、ファイルを小さいサイズに圧縮することができます。

本機で利用できるMP3/WMAファイルの規格やそれを記録したメディア、フォーマットには制限があります。MP3/WMAファイルを書き込むときには次のことに注意してください。

再生可能なMP3ファイルの規格

- 対応規格：
MPEG Audio レイヤ3 (=MPEG1 Audio Layer Ⅲ、MPEG2 Audio Layer Ⅲ、MPEG2.5 Audio Layer Ⅲ)
- 対応サンプリング周波数：
8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1 (kHz)
- 対応ビットレート：
8、16、24、32、40、48、56、64、80、96、112、128、144、160、192、224、256、320 (kbps)
※ VBR (可変ビットレート) に対応しています。
※ フリーフォーマットには対応していません。
- 対応チャンネルモード：
ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル

再生可能なWMAファイルの規格

- 対応規格：
WMA Ver.7/8/9/9.1/9.2/10Pro
- 対応サンプリング周波数：
8、11.025、12、22.05、32、44.1 (kHz)
- 対応ビットレート：
8、24、32、36、40、44、48、64、80、96、128、160、192 (kbps)
※ 2ch再生のみ対応しています。
※ VBR (可変ビットレート) に対応しています。
※ 可逆圧縮 (ロスレス圧縮) には対応していません。
※ DRM (著作権保護) には対応していません。
- 対応チャンネルモード：
ステレオ、モノラル

3. USB メモリの使い方

ID3タグ/WMAタグ

MP3やWMAファイルには、ID3タグ/WMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

ID3タグは、ID3 Ver.1.0、1.1に対応しています。

WMAタグは、WMA Ver.9に対応しています。

■ ID3タグ/WMAタグ

		ID3		WMA
		Ver1.0	Ver1.1	Ver.9
入力できる項目	TITLE	全角15文字 半角30文字		全角15文字 半角15文字
	ARTIST			
	ALBUM			
表示できる文字		英数字（ASCIIコード） 日本語（S-JISコード）		英数字（ASCIIコード） 日本語（Unicode）

使用できるメディアのファイルフォーマット

● ISO9660

	LEVEL 1	LEVEL 2
フォルダ名（最大文字数）	半角8文字	半角31文字
ファイル名（最大文字数）	8.3形式	半角31文字
表示できる文字	英数字（ASCIIコード）	

● 拡張フォーマット

	ROMEO形式	JOLIET形式
フォルダ名（最大文字数）	半角128文字	半角64文字※1
ファイル名（最大文字数）	半角128文字※2	半角64文字
表示できる文字	英数字（ASCIIコード） 日本語（S-JISコード）	英数字（ASCIIコード） 日本語（Unicode）

※1 区切り文字“.”を含む

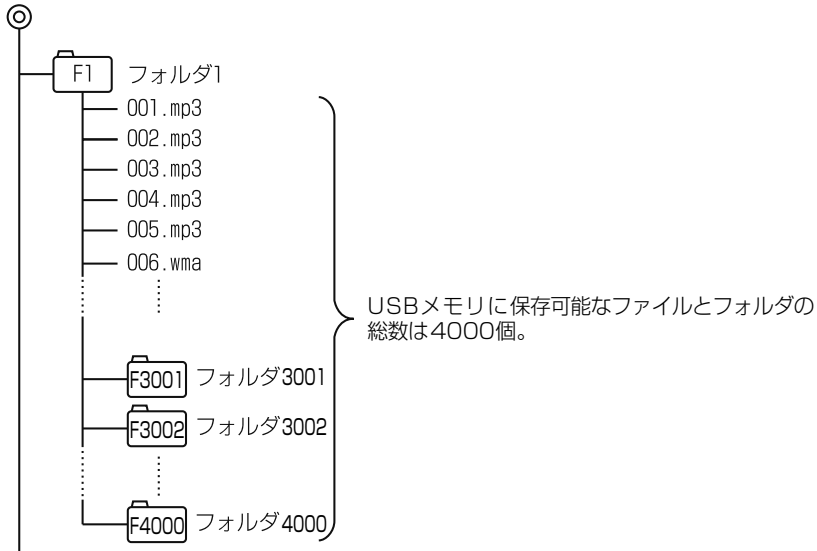
※2 区切り文字“.”+拡張子を含む

- 対応ファイルシステム：FAT16、FAT32
- 最大ディレクトリ階層：8階層（Rootフォルダ含む）
- USBメモリに保存可能なフォルダ数：1000個
- USBメモリに保存可能なファイル数：3000個
- 1つのフォルダ内に保存可能なフォルダ数：512個
- 1つのフォルダ内に保存可能なファイル数：1024個

📌 ワンポイント

MP3/WMAファイルにフォルダ名や音楽ファイル名などが記録されているときは、フォルダ名は全角10文字まで、ファイル名は全角10文字まで表示できます。

[MP3/WMA対応メディアの構造例]



ファイル名

MP3/WMAと認識し再生するファイルはMP3/WMAの拡張子“mp3”/“wma”が付いたものだけです。MP3/WMAファイルには、“mp3”/“wma”の拡張子を付けて保存してください。

拡張子名“mp3”/“wma”は大文字でも小文字でもかまいません。

ワンポイント

MP3/WMA以外のファイルに“mp3”/“wma”の拡張子を付けると、MP3/WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカを破損する場合があります。MP3/WMA以外のファイルに、“mp3”/“wma”の拡張子を付けしないでください。

3. USB メモリの使い方

MP3/WMAの再生に関するお知らせ

MP3/WMAの再生

MP3/WMA ファイルが収録されているメディアを差し込むと、最初にメディア内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると最初のMP3/WMA ファイルを再生します。

チェックが終わるまで"MP3/WMA データを読み込み中です"が表示されます。(最大10分程度) なお、メディア内のファイルをチェックしている間、音はできません。

ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3/WMA ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

MP3/WMAの演奏時間表示

MP3/WMA ファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

※ VBR (可変ビットレート) のFAST UP/DOWN動作をすると演奏時間が一致しないことがあります。

MP3/WMA ファイル、フォルダのリスト表示順番

同じ階層に複数のMP3/WMA 音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル→フォルダの順番に、それぞれSJISコードの昇順 (記号→数字→アルファベット→ひらがな→カタカナ→漢字) で表示します。

MP3/WMA ファイルの作り方、楽しみ方

MP3/WMA ファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

インターネット上のMP3/WMA 音楽配信サイトから入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々なMP3/WMA 音楽配信サイトがあります。そのサイトごとのルールを守り (料金支払いなど)、そこから指示通りにダウンロードを行います。

音楽CDからMP3/WMA ファイルに変換する場合

パソコンと市販のMP3/WMAエンコーダ（変換）ソフトを用意します（インターネット上で無料配布されているエンコーダソフトもあります）。パソコンのCD-ROMドライブに音楽CDを入れ、MP3/WMAエンコーダソフトの手順に従って音楽CDの曲を圧縮変換すると、MP3/WMA形式の音楽データファイルができます。

ワンポイント

- 安定した音質で再生するために、MP3の場合、128kbpsの固定ビットレート、44.1kHzのサンプリング周波数、ステレオのチャンネルモードを推奨します。
- MP3/WMAは市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在しています。エンコーダの状態やファイルフォーマットにより、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。

メディアに書き込む場合

- メディアにMP3/WMA以外のファイルを記録すると、メディアの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- 走行中はファイル、フォルダ表示のページ切替え操作ができません。
- Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国マイクロソフトコーポレーションの米国、およびその他の国における登録商標および商標です。

1. ワンセグの使い方

ワンセグ放送に関するお知らせ

ワンセグ放送は、地上デジタルTV 放送の1つのチャンネル（放送局）で放送されている複数の番組（サービス）の1つです。

🏠 チェック

- エンジンスイッチがON、またはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみワンセグ放送をご覧になることができます。（走行中にソースをワンセグに切り替えた場合、音声のみになります。）
- 本機は双方向通信やデータ放送に対応しておりません。

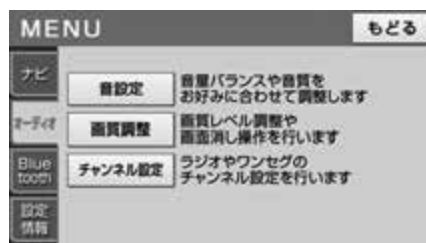
📌 ワンポイント

- バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断れたときは、セットしたチャンネルの記憶は全て消去されます。
- データ放送は受信できません。
- B-CAS カードは不要です。
- 車載器でのワンセグ放送の受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。この関係の主な例を以下に説明します。
 - ・ 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで受信すると、画像が静止したり音声かとぎれる場合があります。
 - ・ 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
 - ・ ラジオ放送やアマチュア無線の送信アンテナの近くで受信すると、画像が静止したり音声かとぎれる場合があります。
 - ・ トンネル内に入ると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
 - ・ 放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
 - ・ 一部の地域において、地上アナログ TV、ラジオなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、画像が静止したり音声かとぎれる場合があります。

ワンセグを見るために必要な設定をする

1 **MENU** を押す。

2 [オーディオ] タブにタッチし、**チャンネル設定** にタッチ。



3 ワンセグの **設定する** にタッチ。

- 受信できたチャンネルが最大12局、プリセットスイッチに記憶されます。



📌 ワンポイント

- 電波の状態により自動選局ができなかったり、受信に最大3分程度の時間がかかることがあります。
- 自動選局を同じ場所で繰り返し操作しても、電波の状態により設定されるチャンネルが異なったり、放送局名が表示されない場合があります。
- 旅先などで地域が変わった場合、再度チャンネルの設定を行って下さい。その地域のチャンネルをご覧いただけます。

ワンセグを見る

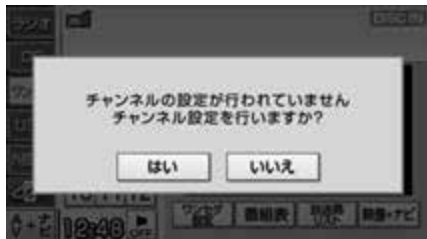
1 [ワンセグ] タブにタッチ。

- ナビゲーション画面の場合、**AV+ ナビ** にタッチします。



操作画面を表示

- チャンネルの未設定を案内する画面が表示された場合、**はい** にタッチしてチャンネルの自動設定を行います。



1. ワンセグの使い方

基本操作



番号	スイッチ／表示	機能
①	映像 + ナビ	映像画面とナビゲーション画面を同時に表示するマルチ画面※1に切替わります。 マルチ画面からワンセグ操作画面に切替えたいときは、映像画面にタッチします。
②	サービス切替	番組が切り替わります。 ご覧のチャンネルが複数の番組を同時に放送している場合に使用できます。
③	オフ	オーディオの電源が切れます。
④	プリセットスイッチ※2	記憶されているチャンネルが受信されます。
⑤	フル映像 ※3	全画面の映像に切り替わります。 映像にタッチしても全画面の映像が表示されます。 全画面表示からワンセグ操作画面に切り替えたいときは、画面にタッチします。
⑥	アンテナインジケータ	 受信不可 受信状態が悪い 受信状態が良い

※1 マルチ画面については「マルチ画面」（29ページ）を参照してください。
※2 あらかじめチャンネルを記憶する必要があります。（160 ページ参照）
※3 全画面で表示される放送と、4:3画面（画面の左右両端が黒表示）で表示される放送があります。

ワンポイント

- 電波の受信状態が悪くなり、受信レベルが弱くなると、画像が静止して、音声がなくなることがあります。
- アンテナインジケータの受信レベルは目安です。受信レベルの状態が良くても映像が静止したり、音声が途切れることがあります。

放送局から番組を選ぶ

1 放送局リスト にタッチ。



2 放送局名にタッチ。



放送局名

3 フル映像 にタッチ。

EPG（電子番組表）を見る

EPGとは放送局が提供する番組表を画面上に表示するシステムです。

1 番組表 にタッチ。



放送局を切替える

番組を切替える



詳細情報を表示

- **サービス切替** は、選択中のチャンネルが複数の番組を放送している場合に使用できます。

1. ワンセグの使い方

音声と字幕の設定をする

ご覧になっている番組が、複数の音声言語、音声多重放送、字幕放送を提供している場合に、お好みに合わせて設定することができます。

1 ワンセグ設定 にタッチ。



2 設定したい項目にタッチ。

MAIN（主音声）とSUB（副音声）の切替え



字幕設定を解除

3 もどる にタッチ。

緊急警報放送（EWS）を受信したときは

EWS (Emergency Warning System) とは、緊急警報信号を送信し、地震や津波などの情報をお知らせする放送です。

緊急警報放送は、警戒宣言、津波警報、知事からの要請があったときに放送されます。

緊急警報放送を受信した場合、自動で放送内容が表示されます。放送が終了すると、自動的にもとのサービスにもどります。

2. 外部入力の使用方

市販の外部入力機器を接続すると、ビデオをご覧になれます。

🏠 チェック

- 外部入力機器を接続する場合は、別売の「ビデオ接続コード」をお買い求めください。
- エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみビデオをご覧になることができます。(走行中にソースを外部入力に切り替えた場合、音声のみになります。)

ビデオを見る

1 [外部入力] タブにタッチ。

- ナビゲーション画面の場合、**AV+ ナビ** にタッチします。



操作画面を表示

2 **外部** にタッチ。



📌 ワンポイント

接続される機器類や、録画品質の良くないVHSテープなどにより、映像が正常に表示されない場合があります。

2. 外部入力使い方

基本操作



番号	スイッチ	機能
①	映像 + ナビ	映像画面とナビゲーション画面を同時に表示するマルチ画面※に切替わります。 マルチ画面から外部入力操作画面に切替えたいときは、映像画面にタッチします。
②	オーディオ電源	オーディオの電源が切れます。(外部入力機器は、再生を続けます。)
③	フル映像	全画面の映像に切り替わります。 映像にタッチしても全画面の映像が表示されます。 全画面表示から外部入力操作画面に切り替えたいときは、画面にタッチします。

※ マルチ画面については「マルチ画面」(29ページ)を参照してください。

画面モードを切替える

1 外部入力設定 にタッチ。



2 標準、ワイド、ズーム のいずれかにタッチ。



● 標準モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）で両端が黒く表示されます。



● ワイドモード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を左右方向に均等に拡大して表示します。



● ズームモード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を上下左右方向に均等に拡大して表示されます。



📖 ワンポイント

お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

1. iPod プレーヤーの使い方

iPodを接続するとiPodの音楽ファイルを再生することができます。

チェック

- iPodを接続する場合は、別売の「iPod接続コード」をお買い求めください。
- 走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。

使用できるiPod

本機に対応しているiPodの種類（世代）については、ECLIPSE ホームページの「お客様サポート」(<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/>)を確認してください。

※ 最新のiPodソフトウェアをお使いください。最新のiPodソフトウェアは、Apple社のWebサイトからバージョンアップすることができます。

ワンポイント

- iPod およびiTunes は、著作権の無いマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPod の写真表示・オーディオブック機能には対応していません。
- ポッドキャスト機能に対応していますが、iPod/iPhone 本体と異なる動作になる場合があります。
- “Made for iPod” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.

Made for



iPod iPhone

- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

iPodを接続する／取りはずす

重要

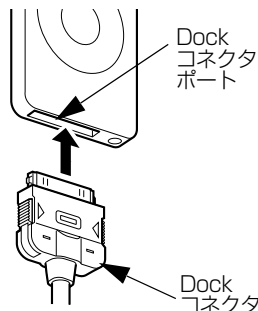
- 本機でiPodを使用しているときにiPodのデータが消失しても、消失したデータの補償はできませんのでご容赦ください。
- iPod を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。その場合、弊社は補償することができません。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。また、車を離れるときは、車内に放置しないでください。
- iPod本体に「接続を解除できます。」が表示されますが、音楽の再生中は、iPod保護のため、iPodからDockコネクタを取りはずさないでください。

チェック

- iPod を接続するときは、iPod に接続されているアクセサリはすべて取りはずしてください。
- ご使用になる iPod および接続コードの適合については、ECLIPSE ホームページを確認してください。
- iPodを取りはずすときは、エンジンスイッチをOFF (LOCK) にする、またはソースをiPod以外に切り替えてください。

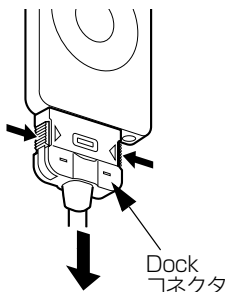
iPodを接続する

- 1 iPodと接続コードのDockコネクタを接続します。



iPodを取りはずす

- 1 Dock コネクタを矢印の方向に押ししながら、iPodと接続用ケーブルを取りはずします。



ワンポイント

- 本機と iPod を接続しても、ソースは自動で iPod に切り替わりません。
- iPod を本機に接続すると、iPod に“ECLIPSE”が表示されます。
また、“ECLIPSE”が表示されている間は iPod による操作をすることができません。
- iPod の電源を OFF にしたまま接続すると、“ECLIPSE”が表示されず“充電済”マークが表示されることがあります。この場合、iPod のいずれかのボタンを押すと、“ECLIPSE”が表示されます。
- ご使用になる iPod によっては、接続中に“ECLIPSE”が表示されない場合がありますが、故障ではありません。
- エンジンスイッチが ON または ACC になっている場合、接続した iPod のバッテリーが充電されます。
- 本機に iPod を接続すると、本機で表示されるリストの順番や表示項目が iPod と異なることがあります。
- iPod が操作不能になった場合は、iPod の接続をはずし、iPod をリセットしてから再度接続してください。iPod のリセット方法については、iPod の取扱説明書を参照してください。

iPod を聞く

- 1 本機と iPod を接続。

- 「iPod を接続する／取りはずす」(168 ページ)を参照してください。

- 2 [iPod] タブにタッチ。

- ナビゲーション画面の場合、**AV+ ナビ** にタッチします。
- iPod で最後に再生していた音楽ファイルが再生されます。



操作画面を表示

ワンポイント

- iPod に収録されているファイル数、ソフトウェアバージョンによっては、操作画面による操作を行っても、すぐに反応しなかったり、正しく動作しない場合があります。
- 正しく動作しない場合、iPod の接続をはずし、エンジンスイッチを OFF (LOCK) にして、再度エンジンスイッチを ON、または ACC にした後、iPod 本体をリセットしてから再度接続してください。
- アーティスト名やタイトル名などは、全角で最大 11 文字まで表示することができます。(名称によっては、表示できない場合があります。)
- エンジンスイッチを OFF (LOCK) にした後は、必ず iPod を取りはずしてください。iPod を接続したままにすると、iPod の電源が切れず、iPod のバッテリーを消費する場合があります。

1. iPod プレーヤーの使い方

基本操作



●iPod操作画面

番号	スイッチ	機能
①	音楽ファイル 選択スイッチ	選択した音楽ファイルが再生されます。
②		オーディオの電源が切れます。
③	リピート	再生中の音楽ファイルが繰り返し再生されます。 ^{※1} 再度タッチすると、リピート再生が解除されます。
④	 ^{※2}	選択した選曲モード内で次のリストに切り替わり、先頭の音楽ファイルから再生されます。
	 ^{※2}	選択した選曲モード内で前のリストに切り替わり、先頭の音楽ファイルから再生されます。
⑤		次の音楽ファイルに切り替わります。 “ピッ”と音がするまでタッチすると、タッチし続けている間、音楽ファイルが早送りされます。
		音楽ファイルが頭出しされます。 連続でタッチすると、前の音楽ファイルに切り替わります。 “ピッ”と音がするまでタッチすると、タッチし続けている間、音楽ファイルが早戻しされます。

※1 **リピート** が解除されている場合、再生対象となる全ての音楽ファイルが繰り返し再生されます。

※2 選曲モード（171 ページ参照）で「曲」が選択されている場合は、操作することができません。

ワンポイント

リピート再生を設定した状態でiPodを取りはずした場合、iPodはリピート再生の設定に切り替わりません。

再生したい音楽ファイルをリストから探す

アーティスト名やジャンルなどの選曲モードからリストを表示して、再生したい音楽ファイルを探すことができます。

1 **MENU** にタッチ。



2 選曲モードスイッチにタッチし、次の表の手順で聞きたい音楽ファイルを探す。

- iPod本体と同じリスト情報が表示されます。

選曲モードスイッチ



iPod操作画面に戻る

選曲モード スイッチ	音楽ファイルを探す手順
プレイリスト	プレイリストを選ぶ→曲を選ぶ→TOP画面
アーティスト	アーティストを選ぶ→アルバムを選ぶ→曲を選ぶ→TOP画面
アルバム	アルバムを選ぶ→曲を選ぶ→TOP画面
曲	曲を選ぶ→TOP画面
Podcast	番組を選ぶ→エピソードを選ぶ→TOP画面
ジャンル	ジャンルを選ぶ→アーティストを選ぶ→アルバムを選ぶ→曲を選ぶ→TOP画面
作曲者	作曲者を選ぶ→アルバムを選ぶ→曲を選ぶ→TOP画面

- リストにタッチすると、対象となる全ての音楽ファイルが再生されます。

1. iPodプレーヤーの使い方

音楽ファイルをランダムに聞く

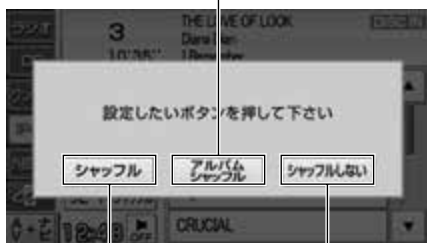
1 **シャッフル** にタッチ。



2 **シャッフル**、または
アルバムシャッフル にタッチ。

- **アルバムシャッフル** の場合、アルバム内の音楽ファイルは先頭から順に再生されます。

再生対象となるアルバムをランダムに再生



再生対象となる全音楽ファイルをランダムに再生

ランダム再生を解除

ワンポイント

本機で **シャッフル** を設定した状態で iPod を取りはずした場合、iPod はシャッフル再生の設定に切替わります。

2. Bluetooth® Audioの使い方

本機とBluetooth無線技術を搭載した機器（携帯電話など）を接続すると、Bluetooth機器に収録されている音楽を再生することができます。本機に接続するBluetooth機器は、仕様（173 ページ参照）に対応している必要があります。

ただし、Bluetooth機器の機種により、一部機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

チェック

- 走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。
- 本機で Bluetooth 無線技術を搭載した機器をご使用になる場合は、その機器の取扱説明書をよくお読みになり、本機での使用に問題が無いことを確認のうえお使いください。動作確認済の携帯電話の機種については、ECLIPSE ホームページ「お客様サポート」(<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/>)を確認してください。

Bluetooth® Audioについて

Bluetooth無線技術を搭載した機器は、本機との通信を無線（Bluetooth）を使用して行います。

従来のポータブルオーディオなどを本機に接続するには、別途接続ケーブルなどを用意して接続する必要がありました。これに対しBluetooth無線技術を搭載した機器は、接続ケーブルなどを接続しないで再生することができます。

例えば、ポケットにBluetooth機器を入れたままでも通信範囲内であれば使用することができます。

対応Bluetooth®仕様および対応プロファイル

- 対応Bluetooth仕様: Bluetooth Specification Ver. 1.1以上（Ver. 2.0 + EDR以上を推奨）
- 対応プロファイル：
 - ・ A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）Ver. 1.0以上
 - ・ AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile）Ver. 1.0以上（Ver. 1.4以上を推奨）

Bluetooth®機器を登録する

Bluetooth Audioを使用するには、Bluetooth機器を本機に登録する必要があります。Bluetooth機器は、最大5台まで登録することができます。

チェック

- Bluetooth機器の登録は、カンタンペアリング（40 ページ参照）から設定することもできます。
- Bluetooth機器のBluetooth待ち受けをONにするなど本機と接続できる状態にします。Bluetooth機器側の操作については、各機器の取扱説明書を参照してください。

1

MENU を押す。

2

[Bluetooth] タブにタッチし、**Bluetooth Audio 設定** にタッチ。



3

登録機器設定の **設定する** にタッチ。



2. Bluetooth® Audioの使い方

4 新規登録 にタッチ。

- すでにBluetooth機器や携帯電話がBluetooth接続されているときは、確認メッセージが表示されます。**はい** にタッチすると、Bluetooth機器を登録することができます。



5 Bluetooth Audio接続中画面が表示されたら、画面に表示される案内にしたがってBluetooth機器側から登録する。

- Bluetooth 機器側の登録操作は、Bluetooth Audio接続中画面が表示されているときに行ってください。



接続失敗画面が表示されたとき

「接続できませんでした」のメッセージが表示されたときは、画面の案内にしたがってやり直してください。



ワンポイント

- Bluetooth機器によっては、パスキーの入力が必要になります。
- パスキーとは、Bluetooth機器を本機に登録するための番号です。4～8桁の任意の数字に変更することができます。(181 ページ参照) を参照してください。
- Bluetooth機器を登録すると、最後に登録したBluetooth機器が使用するBluetooth機器として選択されます。複数登録している場合は、使用するBluetooth機器を選択 (180 ページ参照) することができます。
- Bluetooth機器を5台登録していると、それ以上登録することができません。Bluetooth機器の登録を削除してください。(183 ページ参照)

Bluetooth® 機器を接続する

▲ 重要

- 本機でBluetooth Audioを使用しているときにBluetooth機器のデータが消失しても、消失したデータの補償はできませんのでご注意ください。
- Bluetooth機器を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。その場合、弊社は補償することができません。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。また、車を離れるときは、車内に放置しないでください。
- Bluetooth機器を本機に近づけすぎないでください。音質が劣化したり、Bluetooth接続状態が悪化することがあります。

自動で接続する

自動接続が **する** に設定されている場合（181ページ参照）、エンジンスイッチをACC、またはON にするたびに、本機に選択されているBluetooth機器（180ページ参照）と自動的にBluetooth接続します。

🏠 チェック

Bluetooth機器のBluetooth待ち受けをONにするなど本機と接続できる状態にします。Bluetooth機器側の操作については、各機器の取扱説明書を参照してください。

1 エンジンスイッチをACC、またはONにする。

- Bluetooth 接続が完了すると接続完了のメッセージが表示されます。
- Bluetooth 接続に失敗したときや自動接続の設定（181ページ参照）が **しない** に設定されているときは、手動でBluetooth接続します。（175ページ参照）

📌 ワンポイント

機器により自動接続では、Bluetooth接続できない場合があります。この場合は、手動でBluetooth接続してください。

手動で接続する

Bluetooth機器との自動接続に失敗したときや自動接続の設定（181ページ参照）が **しない** に設定されているときは、手動でBluetooth接続します。

🏠 チェック

Bluetooth機器のBluetooth待ち受けをONにするなど本機と接続できる状態にします。Bluetooth機器側の操作については、各機器の取扱説明書を参照してください。

1 [外部入力] タブにタッチ。

- ナビゲーション画面の場合、**AV+ ナビ** にタッチします。



操作画面を表示

2 **BT** にタッチ。



2. Bluetooth® Audioの使い方

3 接続 にタッチ。

- 複数のBluetooth機器を登録している場合、最後に接続していた機器と接続します。



Bluetooth® Audioを聞く

1 本機とBluetooth機器を接続。

- 「Bluetooth®機器を接続する」(175ページ)を参照してください。

2 [外部入力] タブにタッチ。

- ナビゲーション画面の場合、**AV+ ナビ** にタッチします。



操作画面を表示

3 BT にタッチ。



ワンポイント

- Bluetooth機器によっては、自動で再生が開始されない場合があります。この場合、機器本体を操作すると再生が開始されることがあります。
- Bluetooth 機器に収録されている音楽ファイル数、ソフトウェアバージョンによっては、操作画面による操作を行っても、すぐに反応しなかったり、正しく動作しない場合があります。
- アーティスト名や曲名(トラック名称)などは、全角で最大10文字まで表示することができます。ただし、接続しているBluetooth機器によって表示内容が異なる場合があります。
- Bluetooth機器によっては、機能に対応していないため、スイッチにタッチしても操作できない場合があります。また、機能に対応している場合でも別動作をすることがあります。
- オーディオのソースがBluetooth Audioのときに音量を調整すると、Bluetooth Audio用の音量レベルとして記憶させることができます。

基本操作



●Bluetooth Audio操作画面

番号	スイッチ	機能
①	⏸	再生中の音楽ファイルを一時停止します。
②	ランダム	全ての曲がランダムに再生されます。 再度タッチすると、ランダム再生が解除されます。
③	OFF	オーディオの電源が切れます。
④	リピート	再生中の音楽ファイルが繰り返し再生されます。 再度タッチすると、リピート再生が解除されます。
⑤	>	次の音楽フォルダに切り替わり、先頭の音楽ファイルから再生されます。
	<	前の音楽フォルダに切り替わり、先頭の音楽ファイルから再生されます。
⑥	▶	音楽ファイルを再生します。
⑦	⏭	次の音楽ファイルに切り替わります。 “ピッ”と音がするまでタッチすると、タッチし続けている間、音楽ファイルが早送りされます。
	⏮	音楽ファイルが頭出しされます。 連続でタッチすると、前の音楽ファイルに切り替わります。 “ピッ”と音がするまでタッチすると、タッチし続けている間、音楽ファイルが早戻しされます。

📌 ワンポイント

- Bluetooth機器がAVRCP1.4に対応していない場合、**ライブラリ**、**再生リスト** は表示されません。
- Bluetooth機器によっては、機能に対応していないため、操作できない場合があります。
この場合、機器本体を操作すると機能が使用できることがあります。また、機能に対応している場合でも別動作をすることがあります。

2. Bluetooth® Audioの使い方

ライブラリから音楽ファイルを選ぶ

Bluetooth機器に収録されたフォルダから聞きたい音楽ファイルを選ぶことができます。

① チェック

AVRCP Ver. 1.4以上に対応したBluetooth機器のみ表示・操作できます。

1 ライブラリ にタッチ。



2 音楽ファイルが表示されるまでフォルダにタッチ。

- フォルダのリストには、 マークが表示されます。
- 音楽ファイルにタッチすると、再生を始めます。



Bluetooth Audio操作画面に戻る

3 聞きたい音楽ファイルにタッチ。



① ワンポイント

- 音楽フォルダ名は全角で最大 10 文字まで、音楽ファイル名は全角で最大 11 文字まで表示することができます。ただし、接続しているBluetooth機器によって表示内容が異なる場合があります。
- Bluetooth機器によっては、機能に対応していないため、操作できない場合があります。この場合、機器本体を操作すると機能が使用できることがあります。また、機能に対応している場合でも別動作をすることがあります。
- 音楽ファイルを再生中に Bluetooth 機器を操作して音楽ファイルを削除すると、再生リストは更新されません。そのため、表示されているリストと再生される曲が異なる場合があります。

再生リストから音楽ファイルを選ぶ

現在再生中のフォルダから聞きたい音楽ファイルを選ぶことができます。

チェック

AVRCP Ver. 1.4に対応したBluetooth機器のみ表示・操作できます。

1 再生リスト にタッチ。



2 聞きたい音楽ファイルにタッチ。

Bluetooth Audio操作画面に戻る



ワンポイント

- 音楽ファイル名は全角で最大 11 文字まで表示することができます。ただし、接続している Bluetooth 機器によって表示内容が異なる場合があります。
- Bluetooth 機器によっては、機能に対応していないため、操作できない場合があります。この場合、機器本体を操作すると機能が使用できることがあります。また、機能に対応している場合でも別動作をすることがあります。
- 音楽ファイルを再生中に Bluetooth 機器を操作して音楽ファイルを削除すると、再生リストは更新されません。そのため、表示されているリストと再生される曲が異なる場合があります。

2. Bluetooth® Audioの使い方

Bluetooth® Audioの設定

次の項目を設定・表示することができます。

項目	機能	ページ
Bluetooth機器の選択	使用するBluetooth機器を選択することができます。	180
パスキーの変更	Bluetooth機器を本機に登録するときのパスキーを変更することができます。	181
自動接続の設定	エンジンスイッチをACC、またはONにしたとき、Bluetooth機器を自動でBluetooth接続するか、しないか選択することができます。	181
詳細情報の表示	使用しているBluetooth機器の情報を表示し、Bluetooth接続方法を変更することができます。	182
Bluetooth機器の削除	登録したBluetooth機器を削除することができます。	183

Bluetooth® 機器を切替える

通常は、最後に登録したBluetooth機器が使用する機器として選択されますが、登録している別の機器を選択することができます。

① チェック

Bluetooth機器のBluetooth待ち受けをONにするなど本機と接続できる状態にします。Bluetooth機器側の操作については、各機器の取扱説明書を参照してください。

1 **MENU** を押す。

2 [Bluetooth] タブにタッチし、**Bluetooth Audio 設定** にタッチ。



3 登録機器設定の **設定する** にタッチ。



4 使用するBluetooth機器にタッチし、**接続** にタッチ。

- 他のBluetooth機器がBluetooth接続中のときは、確認のメッセージが表示されます。切断しよければ、**はい** にタッチします。

Bluetoothマーク（接続中のBluetooth機器に表示）



パスキーを変更する

1 **MENU** を押す。

2 [Bluetooth] タブにタッチし、**Bluetooth Audio 設定** にタッチ。



3 詳細設定の **設定する** にタッチ。



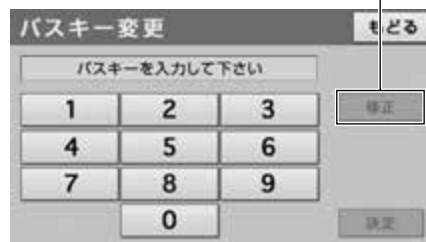
4 パスキーの **変更** にタッチ。

Bluetooth Audio設定を初期化



5 数字に1文字ずつタッチして、4～8桁の数字を入力し、**決定** にタッチ。

入力した番号を1文字ずつ修正



自動接続を設定する

④ チェック

Bluetooth 機器の Bluetooth 接続方法が **オーディオ機から接続** (183 ページ参照) に設定されている場合は、自動接続を設定することができません。

1 **MENU** を押す。

2 [Bluetooth] タブにタッチし、**Bluetooth Audio 設定** にタッチ。



2. Bluetooth® Audioの使い方

3 詳細設定の **設定する** にタッチ。



4 自動Bluetooth接続の **する**、または **しない** にタッチ。

- **しない** にタッチしたときは、Bluetooth接続する場合、手動で接続（175 ページ参照）します。

Bluetooth Audio設定を初期化



5 **もどる** にタッチ。

詳細情報を表示する

登録されているBluetooth機器の情報を確認することができます。

1 **MENU** を押す。

2 [Bluetooth] タブにタッチし、**Bluetooth Audio 設定** にタッチ。



3 登録機器設定の **設定する** にタッチ。



4 現在使用しているBluetooth機器にタッチし、**詳細情報** にタッチ。

Bluetoothマーク（接続中のBluetooth機器に表示）



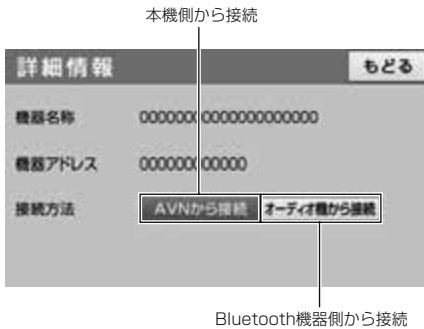
- Bluetooth Audio 詳細情報画面では、次の情報表示や設定を行うことができます。

項目	内容
機器名称	現在使用中のBluetooth機器の名称が表示されます。
機器アドレス	Bluetooth機器特有のアドレスが表示されます。アドレスの変更はできません。

項目	内容
接続方法	接続方法を選択することができます。(183 ページ参照)

■ 接続方法の変更

- 1 接続方法の **AVNから接続**、または **オーディオ機から接続** にタッチ。



- 2 **もどる** にタッチ。

Bluetooth® 機器の登録を削除する

- 1 **MENU** を押す。
- 2 [Bluetooth] タブにタッチし、**Bluetooth Audio 設定** にタッチ。



- 3 登録機器設定の **設定する** にタッチ。

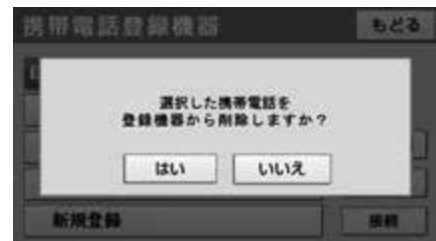


- 4 削除するBluetooth機器にタッチし、**削除** にタッチ。



- 5 **はい** にタッチ。

- 削除するBluetooth機器がBluetooth 接続されているときは、確認メッセージが表示されます。**はい** にタッチすると、Bluetooth機器を削除することができます。



1. ステアリングスイッチの使い方

ステアリングスイッチを設定する

お車がステアリングスイッチ設定車の場合、オーディオ・ビジュアルの主要機能や、ハンズフリーの音量調整機能（217 ページ参照）をステアリングスイッチで操作することができます。（187 ページ参照）

ステアリングスイッチは次の方法で設定することができます。

- 自動車メーカーを指定して設定（お客様のお車がトヨタ/ダイハツ/ホンダ/スバル/マツダ車の場合）
- 自動車メーカーを指定しないで設定

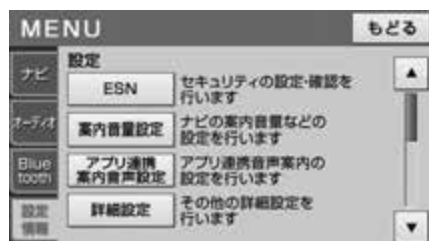
チェック

対応車両につきましては、ECLIPSE のホームページ「お客様サポート」（<http://www.fujitsuten.co.jp/eclipse/support/>）をご確認ください。

自動車メーカーを指定して設定する

1 **MENU** を押す。

2 「設定／情報」タブにタッチし、**詳細設定** にタッチ。



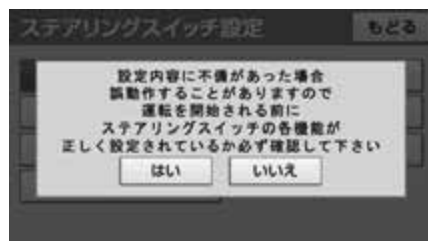
3 ステアリングスイッチの **設定する** にタッチ。



4 お車の自動車メーカーにタッチ。



5 **はい** にタッチ。



ワンポイント

自動車メーカーを設定しても、車種によっては設定値が合わず、ステアリングスイッチが動作不良を起こす場合があります。その場合、「**自動車メーカーを指定しないで設定する**」（185 ページ参照）の手順でステアリングスイッチを設定してください。

自動車メーカーを指定しないで設定する

④ チェック

ステアリングスイッチの動作を本機に記憶させることができます。

記憶させることができるスイッチは以下です。

- ・音量スイッチ
- ・モード切替スイッチ
- ・選局（選曲）スイッチ

1 **MENU** を押す。

2 「設定／情報」 タブにタッチし、**詳細設定** にタッチ。



3 ステアリングスイッチの **設定する** にタッチ。



4 **その他** にタッチ。



5 **設定する** にタッチ。

- すでにステアリングの設定がされている場合、確認メッセージが表示されます。**はい** にタッチすると、設定ができるようになります。

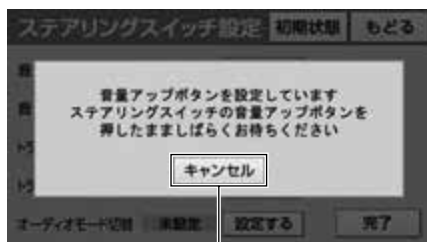


6 設定したい項目の **設定する** にタッチ。



1. ステアリングスイッチの使い方

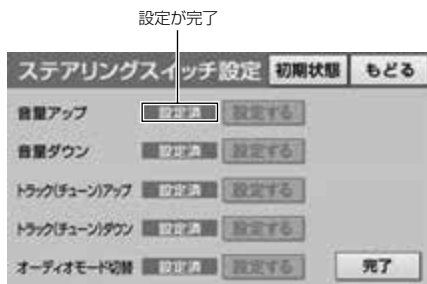
- 7 画面に表示される案内にしたがって、ステアリングスイッチを押す。



設定を中止

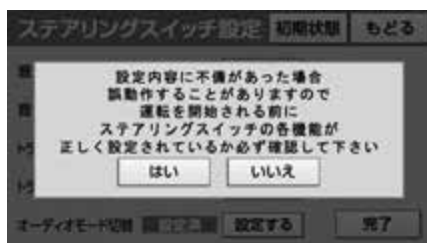
- 8 設定したい項目ごとに、手順6、手順7の操作を繰り返す。

- 9 **完了** にタッチ。



設定が完了

- 10 **はい** にタッチ。



ハンズフリー・オーディオ機能共通の操作

スイッチ名称	スイッチ	機能
音量スイッチ	(+)・(-)	● 押すごとに2ステップずつ音量が変わります。 (調整レベルが50以上になった場合は、1ステップずつ音量が変わります。) ● 長押しすると、押し続けている間、音量が連続して変わります。

オーディオ機能の操作

チェック

ハンズフリー機能使用中は、(MODE) スイッチを操作することができません。

共通操作

スイッチ名称	スイッチ	機能
モード切替 スイッチ	(MODE)	■ オーディオ電源がOFF のとき オーディオの電源がONになります。 ■ オーディオ電源がON のとき ● 押すごとにモードが切替わります。 交通情報→AM→(CD)→ワンセグ→(iPod/USB)→(外部入力) →(Bluetooth Audio)→FM→AMに戻ります。 ()：再生または視聴できないときは、切り替わりません。 ● 長押しすると、オーディオの電源がOFF になります。

1. ステアリングスイッチの使い方

各オーディオ機能の操作

チェック

ハンズフリー機能使用中は、(Λ)・(V) スイッチを操作することができません。

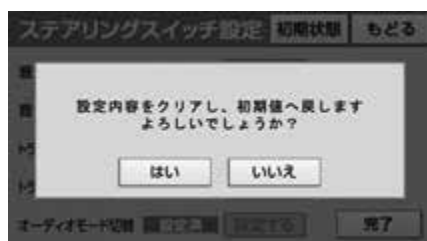
操作項目	スイッチ名称	スイッチ	機能
ラジオ	選局スイッチ	(Λ) ・ (V)	● 押すごとに、プリセットスイッチに記憶させた放送局が切り替わります。 ● 長押しすると、受信中の周波数に一番近い放送局が自動で選局されます。(147 ページ参照)
CD	選曲スイッチ	(Λ)	● 次の曲に切り替わります。 ● 長押しすると、押し続けている間、曲が早送りされます。(150 ページ参照)
		(V)	● 曲が頭出しされます。(連続で押すと、前の曲に切り替わります。) ● 長押しすると、押し続けている間、曲が早戻しされます。(150 ページ参照)
USB メモリ	選曲スイッチ	(Λ)	● 次の音楽ファイルに切り替わります。 ● 長押しすると、押し続けている間、音楽ファイルが早送りされます。(153 ページ参照)
		(V)	● 音楽ファイルが頭出しされます。(連続で押すと、前の音楽ファイルに切り替わります。) ● 長押しすると、押し続けている間、音楽ファイルが早戻しされます。(153 ページ参照)
ワンセグ	選局スイッチ	(Λ) ・ (V)	● 押すごとに、プリセットスイッチに記憶させた放送局が切り替わります。(162 ページ参照)
iPod プレーヤー	選曲スイッチ	(Λ)	● 次の音楽ファイルに切り替わります。 ● 長押しすると、押し続けている間、音楽ファイルが早送りされます。(170 ページ参照)
		(V)	● 音楽ファイルが頭出しされます。(連続で押すと、前の音楽ファイルに切り替わります。) ● 長押しすると、押し続けている間、音楽ファイルが早戻しされます。(170 ページ参照)
Bluetooth Audio	選曲スイッチ	(Λ)	● 次の音楽ファイルに切り替わります。 ● 長押しすると、押し続けている間、音楽ファイルが早送りされます。(177 ページ参照)
		(V)	● 音楽ファイルが頭出しされます。(連続で押すと、前の音楽ファイルに切り替わります。) ● 長押しすると、押し続けている間、音楽ファイルが早戻しされます。(177 ページ参照)

設定を初期化する

- 1 ステアリングスイッチ設定画面で、**初期状態** にタッチ。



- 2 **はい** にタッチ。



MEMO

4



ハンズフリー

1. ご使用になる前に

⚠ 警告

- お車を運転中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。ハンズフリー機能を使用する場合、安全のため、運転者は走行中の操作は絶対に行わないでください。
- 移動中は電話をかけないでください。また、運転中にかかってきたときには、あわてずに安全な場所に停止してから受けてください。どうしても受けなければいけないときは、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停止してからかけ直してください。

⚠ 注意

- 携帯電話は車室内に放置しないでください。（炎天下など、車室内が高温となる場合があります。）
- Bluetooth携帯電話を本機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、Bluetooth接続状態が悪化することがあります。

ハンズフリーについて

動作確認済のBluetooth接続対応の携帯電話※（以下「携帯電話」）を本機にBluetooth接続することで、携帯電話を直接操作することなく、「電話をかける」「電話を受ける」などの電話機能を使用できます。これをハンズフリー機能と呼びます。

本機に接続する携帯電話は、仕様（193 ページ参照）に対応した携帯電話である必要があります。ただし、携帯電話の機種により、一部機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※ 本機で動作確認済みの機種については、ECLIPSE ホームページ「お客様サポート」(<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/>) をご確認ください。

Bluetooth® 携帯電話について

Bluetooth携帯電話は、他の機器との間の通信を無線（Bluetooth）を使用して行う携帯電話です。

従来の携帯電話は、ハンズフリー機能を利用するために、別途ハンズフリーキットなどのケーブルを用意して、接続する必要がありました。これに対し、Bluetooth携帯電話は、接続ケーブルなどを接続することなく、ハンズフリー機能を利用することができます。

例えば、胸ポケットに携帯電話を入れたままでも、そのままの状態でもハンズフリー機能がご利用いただけます。



※ 本機では、有線（ケーブル）接続の携帯電話はご利用になれません。

対応Bluetooth®仕様および対応プロファイル

- 対応Bluetooth仕様：
Bluetooth Specification Ver. 1.1以上（Ver. 2.0 + EDR以上を推奨）
- 対応プロファイル：
 - HFP（Hands Free Profile）Ver.1.0以上
 - OPP（Object Push Profile）Ver.1.1

ハンズフリーが使用できないとき

次の場合は、ハンズフリー機能を使用することができません。

- 通話エリア外るとき
- 回線が混雑しているなど、発信規制中るとき
- 携帯電話から電話帳データを転送中るとき
- 携帯電話がダイヤルロックされているとき
- 携帯電話が故障しているとき
- 携帯電話が本機とBluetooth接続されていないとき
- 携帯電話のバッテリー残量が不足しているとき
- 携帯電話の電源がOFFのとき
- 携帯電話の設定が、ハンズフリーモードでないとき
- その他、携帯電話自体が使えないとき

ワンポイント

- Bluetooth 携帯電話と他の無線機器を同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- Bluetooth 携帯電話は、Bluetooth 接続により、携帯電話の電池が早く消耗します。
- 携帯電話の機種によっては、Bluetooth 接続中に表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話本体で照明をOFFにしてください。（設定については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。）
- 携帯電話の設定によっては、Bluetooth 接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除してご使用ください。
- Bluetooth 接続する携帯電話によっては、動作や音量が異なることがあります。
- 通話中にエンジンスイッチをOFF（LOCK）にすると、機種によって、通話が切断される場合と、通話が携帯電話で継続される場合があります。なお、通話が携帯電話で継続される場合は、携帯電話の操作が必要になることがあります。
- 携帯電話の割込通話（キャッチホン）や三者通話を契約しているときは、携帯電話本体で割込通話（キャッチホン）や三者通話を解除してからお使いください。

マイクについて

通話時に、音声入力マイクを使用します。

1. ご使用になる前に

ハンズフリー操作について

本機の画面に表示されるタッチスイッチを操作することにより、ハンズフリーのさまざまな機能が利用できます。

音声について

- 発信後および着信後は、マイクおよびスピーカを通して通話できます。
- 着信通知や通話時などの音声出力は、運転席側スピーカーから出力されます。ただし、状況によっては、他のスピーカーから出力されることがあります。
- ハンズフリーで音声や呼出音などが出力されると、オーディオ音声やナビ案内音声などはミュート（消音）されます。

ワンポイント

- 通話時は通話相手と交互にお話してください。通話相手と同時に話した場合、こちらの音声相手に、相手の音声はこちらに聞こえにくくなることがあります。（故障ではありません。）
- 受話音量はできるだけ小さく調整してください。通話相手側にエコーが聞こえることがあります。また、声は大きくはっきりとお話してください。
- 次のような場合は、通話相手側にこちらの音声がかき消えにくくなることがあります。
 - ・ 悪路走行時
 - ・ 高速走行時
 - ・ 窓を開けているとき
 - ・ エアコンの吹き出し口をマイクの方に向けたとき
 - ・ エアコンのファンの音が大きいとき
 - ・ 携帯電話をマイクに近づけたとき
- 使用する携帯電話やネットワークの影響により、音質が悪化（ノイズ、エコーなど）することがあります。
- 他のBluetooth 機器（ポータブルオーディオ）が同時にBluetooth 接続されている場合、ハンズフリーの音声にノイズが発生することがあります。

お車を手放すとき

ハンズフリーを使用すると、多数の個人情報が登録されます。お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。（51 ページ参照）なお、個人情報の初期化を行うと、二度ともとの状態にもどすことはできません。間違えて初期化してしまわないよう、ご注意ください。ハンズフリーでは、次の情報が初期化されます。

- 電話帳データ
- 発信履歴および着信履歴
- Bluetooth携帯電話の登録情報
- ロックNo.
- ハンズフリー関連の設定・編集項目

1. 携帯電話の登録

携帯電話を登録する

ハンズフリー機能を使用するには、携帯電話を本機に登録する必要があります。携帯電話は、本機に最大5台まで登録することができます。

① チェック

- 携帯電話の登録は、カンタンペアリング（40ページ参照）から設定することもできます。
- 携帯電話のBluetooth待ち受けをONにするなど本機と接続できる状態にします。
携帯電話側の操作については、携帯電話の取扱説明書を参照してください。
- HFP (Hands Free Profile) が搭載されていない携帯電話は、本機に登録できません。また、OPP(Object Push Profile)のみのサービスも利用できません。

1 **MENU** を押す。

2 [Bluetooth] タブにタッチし、**ハンズフリー設定** にタッチ。



3 登録機器設定の **設定する** にタッチ。



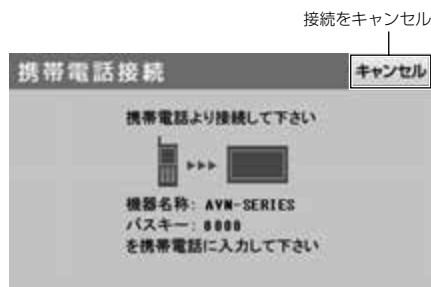
4 **新規登録** にタッチ。

- すでに携帯電話やBluetooth機器がBluetooth接続されているときは、確認メッセージが表示されます。**はい** にタッチすると、携帯電話を登録することができます。



5 Bluetooth接続画面に表示される案内にしたがって、携帯電話本体を操作する。

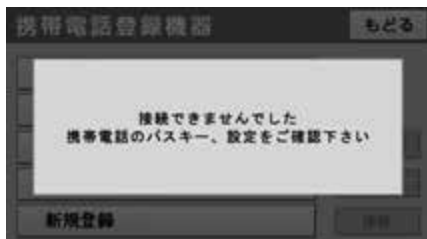
- 携帯電話側の登録操作は、Bluetooth 接続画面が表示されているときに行います。
- 複数の携帯電話を使用する場合は、携帯電話の数だけ登録を繰り返します。



1. 携帯電話の登録

接続失敗画面が表示されたとき

「接続できませんでした」のメッセージが表示されたときは、画面の案内にしたがってやり直してください。



ワンポイント

- 携帯電話によっては、パスキーの入力が必要になります。
- パスキーとは、携帯電話を本機に登録するための番号です。4～8桁の任意の数字に変更することができます。(220 ページ参照)
- 携帯電話を登録すると、最後に登録した携帯電話が使用する携帯電話として選択されます。複数登録している場合は、使用する携帯電話を選択することができます。(210 ページ参照)
- 携帯電話を5台登録していると、それ以上登録することができません。携帯電話の登録を削除してください。(212 ページ参照)
- 携帯電話の設定によっては、Bluetooth接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除してご使用ください。
- Bluetooth接続する携帯電話により、動作や音量が異なることがあります。
- Bluetooth Audio再生中に携帯電話を登録する場合、Bluetooth Audioの音声途切れることがあります。
- 登録時、携帯電話側に登録完了が表示されても、本機への登録が完了しない場合があります。その場合、携帯電話側からBluetoothの接続を行ってください。

2. 携帯電話の接続

Bluetooth携帯電話の本機への接続は、自動と手動の2通りの方法があります。
なお、携帯電話側の操作については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

携帯電話を自動で接続する

自動接続が **する** に設定されている場合、エンジンスイッチをOFF (LOCK) からACC、またはONにするたびに、本機は選択されている携帯電話と自動的にBluetooth接続します。

自動電話機接続を設定する

1 **MENU** を押す。

2 [Bluetooth] タブにタッチし、**ハンズフリー設定** にタッチ。



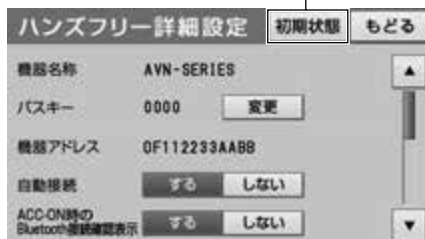
3 詳細設定の **設定する** にタッチ。



4 自動接続の **する**、または **しない** にタッチ。

- 携帯電話はBluetooth接続可能な状態にしておいてください。

ハンズフリー詳細設定を初期化



ワンポイント

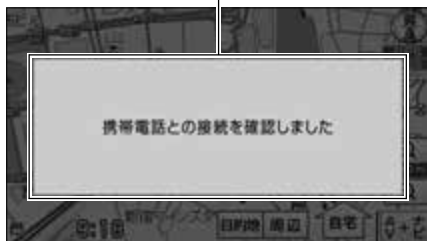
- 携帯電話の機種によっては、Bluetooth接続中に表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話本体で照明をOFFに設定してください。(設定については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。)
- ハンズフリー機能を使用する場合、他のBluetooth機器を使用しているときは、次のようになります。
 - ・ 携帯電話の Bluetooth 接続が切断されることがあります。
 - ・ ハンズフリーの音声にノイズが発生することがあります。
 - ・ ハンズフリーの動作が遅くなることがあります。
- ハンズフリー接続とオーディオ接続の両方に対応している携帯電話でも、ハンズフリー接続とオーディオ接続を同時にできない場合があります。
- Bluetooth Audio再生中に接続動作を行った場合、音声途切れることがあります。
- Bluetooth Audioの操作後に携帯電話の接続を行った場合、接続できないことがあります。また、携帯電話の接続動作中に Bluetooth Audioの操作を行った場合、接続が中断されます。これらの場合、しばらくしてから手動で接続を行ってください。(198 ページ参照)

2. 携帯電話の接続

Bluetooth® 接続確認表示

ハンズフリー 詳細設定画面で、ACC ON時のBluetooth 接続確認表示 (220 ページ参照) が**する**に設定されているときは、Bluetooth接続されると、接続完了メッセージが表示されます。ハンズフリー機能を使用するときは、この表示をご確認ください。

Bluetooth接続確認表示



- Bluetooth 接続状況は、Bluetooth 接続状態表示でも確認できます。(38 ページ参照)

自動接続できなかった場合

自動接続は約60秒行います。自動で接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。(198 ページ参照)

携帯電話を手動で接続・切断する

携帯電話との自動接続に失敗したときや自動電話機接続の設定 (197 ページ参照) が**しない**に設定されているときに、手動でBluetooth接続することができます。また、Bluetooth接続中に、手動で切断することができます。

① チェック

携帯電話のBluetooth待ち受けをONにするなど本機と接続できる状態にします。携帯電話側の操作については、携帯電話の取扱説明書を参照してください。

1 **MENU** を押す。

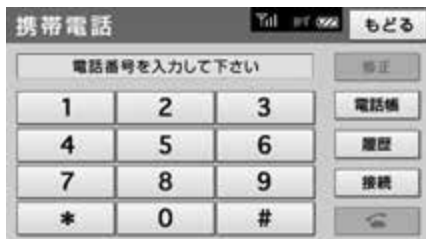
2 [Bluetooth] タブにタッチし、**電話** にタッチ。



3

接続 にタッチ。

- Bluetooth 接続が完了すると、接続完了のメッセージが表示されます。



ワンポイント

- 携帯電話を手動で接続するときは、Bluetooth 接続可能な状態にしてください。
- Bluetooth 接続完了の表示は、エンジンスイッチをOFF (LOCK) からACC、またはONにした後、初めて携帯電話とBluetooth接続完了したときに1回のみ表示されます。Bluetooth接続失敗の表示がされてもその後Bluetooth接続できれば、Bluetooth接続完了の表示が1回のみ表示されます。
- 携帯電話の状態によっては、一度でBluetooth接続できない場合があります。その場合、しばらくしてから再度接続操作を行ってください。

Bluetooth® 接続の再接続について

エンジンスイッチがACC、またはONのときに、一度成立したBluetooth接続がBluetoothネットワーク電波状況などで切断された場合は、自動接続の設定に関わらず、自動的に再接続処理を行います。この場合、接続完了しても表示はありません。

Bluetooth® 接続が意図的に切断された場合

手動でBluetooth接続を切断したときや携帯電話側からBluetooth接続をOFFにするなど、一度成立したBluetooth接続が意図的に切断された場合は、再接続処理は行いません。この場合は、次のいずれかの方法で再接続してください。

- 手動でBluetooth接続をする (198 ページ参照)
- 使用する携帯電話を選んで接続する (210 ページ参照)

ワンポイント

再接続処理は一定時間行われます。その間に接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。 (198 ページ参照)

1. 電話のかけ方

電話をかける

次のいずれかの方法で電話をかけることができます。

- 電話番号を入力して電話をかける（ダイヤル発信）（200 ページ参照）
- 本機に登録した電話帳から電話をかける（電話帳発信）（201 ページ参照）
- 発信履歴、または着信履歴から電話をかける（履歴発信）（202 ページ参照）
- 携帯電話本体から電話をかける（204 ページ参照）

ワンポイント

- ハンズフリー機能を使用して電話をかけるときの通話料は、お客様のご負担になります。
- ハンズフリー機能を使用する場合は、次の点に注意してください。
 - ・ Bluetooth 携帯電話は、本機に携帯電話を登録し、Bluetooth 接続しないとハンズフリー機能が使用できません。ハンズフリー機能を使用するときは、まずご使用になる携帯電話の登録を行ってください。（195 ページ参照）
 - ・ 携帯電話は Bluetooth 機能を使用できる状態にしてご使用ください。携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。
 - ・ Bluetooth 接続状態表示が切断表示の場合は、ハンズフリー機能はご使用になれません。（38 ページ参照）
 - ・ 走行中は安全のため画面に電話番号などが表示されず、一部の操作ができなくなります。ただし、電話帳に登録されている電話番号のときは、電話帳に登録されている名称が表示されます。
 - ・ 電話をかけると同時に着信があると、画面表示と携帯電話の動作が異なることがあります。

ダイヤル発信する

1 **MENU** を押す。

2 [Bluetooth] タブにタッチし、**電話** にタッチ。



3 電話番号を入力し、**電話** にタッチ。



ワンポイント

携帯電話の機種によっては、次のようなことがあります。

- ・発音音や呼出音が鳴らず、無音になることがあります。
- ・発信中画面が表示されず、相手が電話に出る前に通話中画面が表示されることがあります。
- ・通信事業者のサービスにより発信中画面で10キー入力する必要がある場合、10キー入力してもトーン信号を送れないことがあります。10キー入力については、「**10キー入力する**」(209ページ参照)をご覧ください。
- ・Bluetooth Audio再生中に発信すると、発信中画面の表示および発音音の鳴る動作が遅れることがあります。

電話帳発信する

チェック

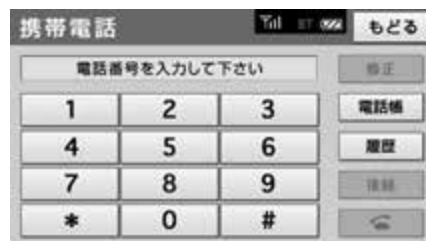
あらかじめ本機に電話帳を登録する必要があります。(213ページ参照)

1 **MENU** を押す。

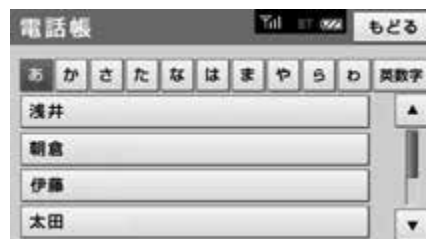
2 [Bluetooth] タブにタッチし、**電話** にタッチ。



3 **電話帳** にタッチ。



4 希望の通話相手にタッチ。



5 希望の電話番号にタッチし、**電話** にタッチ。



1. 電話のかけ方

履歴発信する

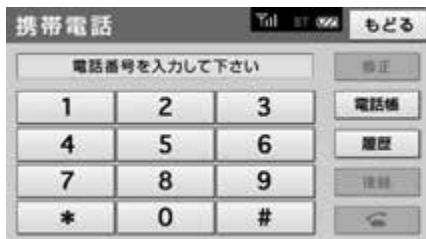
過去に発信、または着信した電話番号を履歴として記憶しています。履歴に登録されている電話番号を呼び出して電話をかけることができます。

1 **MENU** を押す。

2 [Bluetooth] タブにタッチし、**電話** にタッチ。



3 **履歴** にタッチ。



4 **発信履歴**、または **着信履歴** にタッチし、希望の通話相手にタッチ。



不在着信

5 **不在着信** にタッチ。

ワンポイント

- 発信履歴は、次のように登録されます。
 - ・ 最大5件まで登録することができます。登録可能件数を超えると、最も古い発信履歴から自動的に削除されます。
 - ・ 本機の電話帳に登録されている電話番号に発信した場合、そのデータに名称情報があると、名称も発信履歴に登録されますが、発信の日時は表示されません。
 - ・ 同一電話番号から発信した場合は、最新の発信履歴のみ登録されます。
- 着信履歴は、次のように登録されます。
 - ・ 不在着信履歴は最大3件、通常着信履歴は最大2件まで登録することができます。登録可能件数を超えると、最も古い発信履歴から自動的に削除されます。
 - ・ 本機の電話帳に登録されている電話番号から着信した場合、そのデータに名称情報があると、名称も着信履歴に登録されますが、着信の日時は表示されません。
 - ・ 相手先電話番号の情報が無い場合は、着信履歴に“通知不可”と表示されます。
- 履歴を削除したいときは、「履歴を削除する」(203ページ)をご覧ください。

■ 履歴を削除する

発信履歴および着信履歴のデータはまとめて削除することができます。

1 **MENU** を押す。

2 [Bluetooth] タブにタッチし、**電話** にタッチ。



3 **履歴** にタッチ。



4 **全件削除** にタッチ。



5 **はい** にタッチ。



ワンポイント

お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。(51 ページ参照)

1. 電話のかけ方

携帯電話本体から発信する

本機にBluetooth接続された携帯電話本体を直接操作して、発信することができます。

⚠ 警告

運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

📌 ワンポイント

- 携帯電話本体から発信した場合、単独で通話中の携帯電話が本機にBluetooth接続されると、相手先電話番号は発信履歴に登録されません。
- 携帯電話本体から発信した場合、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。携帯電話の操作については、携帯電話の取扱説明書でご確認ください。

発信を中断する

発信中／通話中画面やナビゲーション画面で 発信を中断できます。

1 |  にタッチ。

- 発信が中断されると、発信中／通話中画面が解除されます。



📌 ワンポイント

携帯電話本体で電話を切った場合も、発信を中断します。

2. 電話の受け方

電話を受ける

1



にタッチ。



- 着信中に **現在地** を押すと地図画面、またはマルチ画面 (29 ページ参照) を表示することができます。マルチ画面を表示中に **AV** にタッチすると、ハンズフリー使用中画面が表示されます。



- ハンズフリー使用中画面

ワンポイント

- ハンズフリー機能を使用する場合は、次のようなことがあります。携帯電話の操作については、携帯電話の取扱説明書でご確認ください。
 - ・ ドライブモードなど、携帯電話の設定によっては、着信できないことがあります。
 - ・ 携帯電話は Bluetooth 機能を使用できる状態にしてご使用ください。
 - ・ 携帯電話をマナー (バイブレータ) モードや着信音消去に設定すると、着信音が聞こえない場合があります。
 - ・ 着信音については、
 - ① 本機のスピーカーから聞こえる
 - ② 携帯電話から聞こえる
 - ③ 両方から聞こえる
 など、機種によって異なります。また、着信音は携帯電話で選択している着信音を鳴らします。ただし、機種によっては、本機に登録されている着信音が鳴ることや着信音が聞こえないことがあります。
 - ・ 機種によっては、着信時に相手の電話番号が表示されないことがあります。
 - ・ 携帯電話本体を直接操作して電話を受けたとき、または携帯電話を自動着信応答に設定したときは、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。
 - ・ 携帯電話でデータ通信を行っている最中に着信があった場合、機種によっては、本機に着信中画面が表示されず、着信音も鳴らないことがあります。
 - ・ Bluetooth Audio再生中に着信があった場合、着信中画面の表示および着信音の鳴る動作が遅れることがあります。
- 自動着信応答を **する** に設定しておくと、自動で電話を受けることができます。(221 ページ参照)

2. 電話の受け方

着信中画面を操作する

着信中は着信中画面が表示され、次の操作をすることができます。

- 電話の保留
- 着信音量の調整
- 着信拒否



- 着信中画面

電話を保留する（応答保留）

1 着信中画面で、 にタッチ。

- 応答保留中、 にタッチすると、電話を切って、ハンズフリー画面が解除されます。



2  にタッチ。

- 応答保留が解除され、通話できるようになります。
- 応答保留中でも **通話転送** にタッチすると、通話を転送することができます。(209 ページ参照)



ワンポイント

- 携帯電話の機種によっては、応答保留できないことがあります。
- Bluetooth 接続中に、携帯電話本体で応答保留する、または携帯電話本体で応答保留を解除すると、携帯電話本体での通話に切り替わります。

着信音の音量を調整する

1 | **小**、または **大** にタッチ。



ワンポイント

着信音は携帯電話で選択している着信音を鳴らします。ただし、機種によっては、選択している音以外の着信音が鳴ることや着信音が聞こえないことがあります。

着信拒否する

1 |  にタッチし続ける。

- 携帯電話が着信拒否に対応しているときのみ使用することができます。
着信拒否すると、着信中画面が解除されます。



3. 通話中の操作

通話中画面を操作する

通話中は通話中画面が表示され、次の操作をすることができます。

- 受話音量の調整
- 通話の終了
- 10キー入力
- 送話音のミュート
- 通話の転送



● 通話中画面

🏠 チェック

通話中はオーディオ機能を使うことができません。

📌 ワンポイント

- 画面に表示される通話時間は、通話時間の目安を表示します。そのため、携帯電話の表示と一致しないことがあります。
- 単独で通話中の携帯電話が本機に Bluetooth 接続されると、通話中画面が表示されます。この場合、そのまま通話が維持されるか、ハンズフリーでの通話になるかは、機種によって異なります。

受話音量を調整する

- 1 **小**、または **大** にタッチ。



通話を終了する

- 1  にタッチ。



📌 ワンポイント

携帯電話本体で電話を切った場合も、通話は終了します。通話が終了すると、通話中画面が解除されます。

10キー入力する

1 **トーン** にタッチ。



● トーン入力画面

送話音をミュート（消音）する

ミュート（消音）にすると、お客様の音声を通話相手に聞こえなくすることができます。（この場合でも、通話相手の声はお客様に聞こえます。）

1 **ミュート** にタッチ。



ワンポイント

携帯電話の機種により、送話音をミュート（消音）できない場合があります。

通話を転送する

Bluetooth携帯電話では、本機と携帯電話の間で、通話を転送することができます。ハンズフリーでの通話から携帯電話本体での通話、または携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えられます。

1 **通話転送** にタッチ。



ワンポイント

- 画面で通話転送の操作をした場合、転送に失敗して音声聞こえなくなることがあります。
- 発信中、通話中、着信中に携帯電話本体でも通話を転送することができます。携帯電話の機種により、転送方法や動作が異なります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。

1. 登録機器の設定

使用する携帯電話を選択する

携帯電話の登録をすると、一番新しく登録した携帯電話が使用する携帯電話として選択されます。複数の携帯電話を登録しているときは、使用する携帯電話を選択する必要があります。

携帯電話は本機に最大5台まで登録することができますが、本機で使用できるのは電話機選択で選択された携帯電話のみです。

チェック

携帯電話のBluetooth待ち受けをONにするなど本機と接続できる状態にします。

携帯電話側の操作については、携帯電話の取扱説明書を参照してください。

1 **MENU** を押す。

2 [Bluetooth] タブにタッチし、**ハンズフリー設定** にタッチ。



3 登録機器設定の **設定する** にタッチ。



4 使用する携帯電話にタッチし、**接続** にタッチ。

- 他の携帯電話がBluetooth接続中のときは、確認のメッセージが表示されます。切断してよければ、**はい** にタッチします。



Bluetoothマーク（接続中の携帯電話に表示）

ワンポイント

- 携帯電話の登録については、「携帯電話を登録する」（195ページ）を参照してください。
- Bluetooth Audio再生中に電話機選択をした場合、音声途切れることがあります。

携帯電話詳細情報を表示する

携帯電話詳細情報は、本機に登録されている携帯電話に関する情報を表示することができます。情報は、次の項目が表示されます。

- **機器名称**: 本機に表示される携帯電話の名称で、変更することはできません。
- **機器アドレス**: 機器固有のアドレスで、変更することはできません。
- **自局電話番号**: 携帯電話の電話番号です。



● 携帯電話詳細情報画面

1 | **MENU** を押す。

2 | [Bluetooth] タブにタッチし、**ハンズフリー設定** にタッチ。



3 | 登録機器設定の **設定する** にタッチ。



4 | 詳細情報を表示したい携帯電話にタッチし、**詳細情報** にタッチ。



1. 登録機器の設定

携帯電話の登録を削除する

1 | **MENU** を押す。

2 | [Bluetooth] タブにタッチし、**ハンズフリー設定** にタッチ。



3 | 登録機器設定の **設定する** にタッチ。

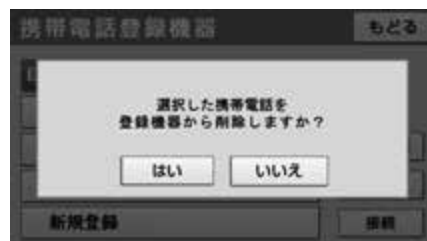


4 | 削除する携帯電話にタッチし、**削除** にタッチ。



5 | **はい** にタッチ。

- 削除する携帯電話がBluetooth 接続されているときは、確認メッセージが表示されます。**はい** にタッチすると、携帯電話を削除することができます。



2. 電話帳の編集

携帯電話に登録されている電話帳を転送することで、電話帳に電話番号を登録することができます。

携帯電話の電話帳データを転送する

携帯電話に登録されている電話番号（電話帳データ）を、本機に転送することができます。本機の電話帳は、1名につき最大3件の電話番号が登録でき、最大1000名分のデータが登録できます。

① チェック

- 転送するときはバッテリー上がり防止のため、エンジンをかけた状態で行ってください。
- この機能は、OPP（Object Push Profile）に対応していない携帯電話では使用できません。また、携帯電話によって、携帯電話からの電話帳データの転送方法が異なります。詳しくは、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

1 **MENU** を押す。

2 [Bluetooth] タブにタッチし、**ハンズフリー設定** にタッチ。



3 電話帳編集の **編集する** にタッチ。



4 電話帳追加の、**電話帳転送** にタッチ。

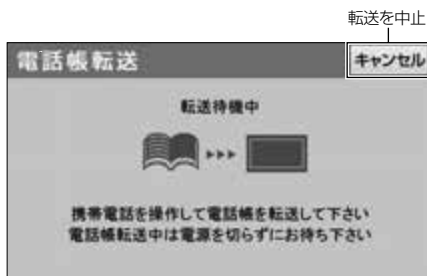
- すでに電話帳データがある場合は、転送方法の確認メッセージが表示されます。既存のデータに上書きするときは **上書き**、既存のデータに追加するときは **追加** にタッチします。



2. 電話帳の編集

5 携帯電話を操作して電話帳データを転送する。

- 携帯電話側の転送操作は、電話帳転送画面が表示されているときに行ってください。
- 転送中は、転送完了のメッセージが表示されるまで、そのままお待ちください。



● 電話帳転送画面

⑧ ワンポイント

- 電話帳データを転送する際、各データについては、次のような制限があります。
 - ・ 携帯電話の電話帳で1つの名称に4件以上の電話番号が登録されている場合、本機の電話帳には同じ名称を複数登録してすべての電話番号を登録します。
 - ・ 電話番号と同時に名称・名称読みも転送されますが、機種によっては漢字や記号などが転送されないことや、すべての文字が転送されないことがあります。また、転送されても正しく表示されないことがあります。
 - ・ 通常はシークレットメモリの読み出しは行いません。(携帯電話の仕様により可能な場合もあります。)
 - ・ 携帯電話に登録されているグループ名は転送されません。
- 電話帳データを転送する際、機種によっては、携帯電話の暗証番号および認証パスワードの入力を求められることがあります。この場合、認証パスワードは“1234”を入力してください。

- 一括転送可能な機種は、電話帳データを転送する際、次のような特徴があります。
 - ・ 転送にかかる時間は、転送する電話番号の件数や電話帳データの容量により異なります。データによっては、数10分かかる場合があります。
 - ・ 電話帳データ転送画面が表示されているときでも他画面に切り替えることができます。この場合、電話帳データ転送は継続されます。
- 電話帳データ転送中は、次のように対応します。
 - ・ 電話帳データ転送中に着信があった場合は、状況によりどちらかが優先されます。着信が優先された場合、着信した電話は携帯電話本体での通話になります。この場合は、通話終了後、再度転送操作をやり直してください。
 - ・ 電話帳データ転送中にエンジンスイッチをOFF (LOCK) にした場合、転送は中止されます。この場合は、エンジンをかけて、再度転送操作をやり直してください。
- 次の場合、転送済みの電話帳データは本機の電話帳に保存されます。
 - ・ 本機のメモリ容量により途中で転送が終了したとき
 - ・ 何らかの原因で転送が中断されたとき
- 本機の電話帳データを携帯電話に転送することはできません。
- 電話帳データ転送中は、Bluetooth Audioやハンズフリー機能のBluetooth接続が切断されます。この場合、転送が終了すると再接続されます。(機種によっては、再接続できないことがあります。)

電話帳のデータを削除する

電話帳データは、個別に選択して削除、または全削除ができます。

ワンポイント

お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。(51 ページ参照)

電話帳のデータを個別に削除する

1 **MENU** を押す。

2 [Bluetooth] タブにタッチし、**ハンズフリー設定** にタッチ。



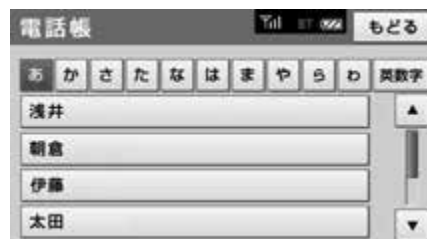
3 電話帳編集の **編集する** にタッチ。



4 電話帳削除の **1件削除** にタッチ。



5 削除したいデータにタッチ。



6 **はい** にタッチします。



2. 電話帳の編集

電話帳のデータをすべて削除する

- 1 電話帳削除の **全件削除** にタッチ。



- 2 **はい** にタッチ。



3. 音量の設定

音量の設定をする

次の項目を設定することができます。

- 受話/送話/着信音量
- 高速道路走行時の自動音声の切替え音量

音量を調整する

1 **MENU** を押す。

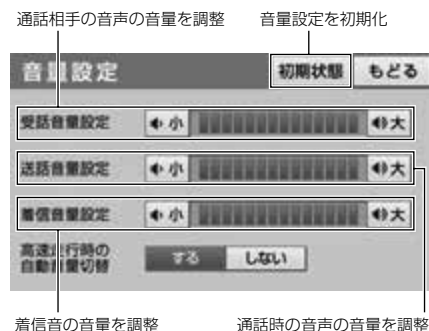
2 [Bluetooth] タブにタッチし、**ハンズフリー設定** にタッチ。



3 音量設定の **設定する** にタッチ。



4 受話音量設定、送話音量設定、着信音量設定の **小**、または **大** にタッチして調整する。



5 **もどる** にタッチ。

ワンポイント

- 受話音量は、発信中画面、通話中画面、応答保留中画面でも調整できます。
- 着信音量は、着信中画面でも調整できます。
- 受話音量はできるだけ小さく調整してください。エコーが出ることがあります。

■ ステアリングスイッチで音量を調整する

お車がステアリングスイッチ設定車の場合、ステアリングスイッチでも、音量を調整することができます。操作方法の詳細は、「ステアリングスイッチを設定する」(184ページ)と、「ハンズフリー・オーディオ機能共通の操作」(187ページ)を参照してください。

3. 音量の設定

高速走行時の自動音量切替えを設定する

高速走行中は、設定した音量が自動的に1段階上がるようにすることができます。

自動音量切替えをON（自動で上がる）にするか、OFF（上がらない）にするかを選ぶことができます。

1 **MENU** を押す。

2 [Bluetooth] タブにタッチし、**ハンズフリー設定** にタッチ。



3 音量設定の **設定する** にタッチ。



4 高速走行時の自動音声切替の **する**、または **しない** にタッチ。



5 **もどる** にタッチ。

ワンポイント

高速時の自動音量切替をONにすると、車速が約80km/h以上になると、設定した音量が自動的に1段階上がります。（車速が約70km/h以下になると、もとの音量にもどります。）

4. ハンズフリーの設定

お好みの設定に変える（ハンズフリー詳細設定項目一覧）

ハンズフリー詳細設定画面では、次の項目を設定・表示することができます。

項目／スイッチ	機能	ページ
機器名称	Bluetoothネットワーク内での本機の名称です。変更することはできません。	219
パスキー	携帯電話を登録するための番号です。4～8桁の数字で任意に変更することができます。	220
機器アドレス	本機に登録されている機器固有のアドレスです。変更することはできません。	219
自動接続	エンジンスイッチをOFF（LOCK）からACC、またはONにしたとき、自動でBluetooth接続ができるようにするか、しないかを設定することができます。	197
ACC-ON時のBluetooth接続確認表示	エンジンスイッチをOFF（LOCK）からACC、またはONにしたとき携帯電話とのBluetooth接続結果を表示するか、しないかを設定することができます。	220
自動着信応答	自動着信応答を設定しておく、と、電話がかかってきたとき、あらかじめ設定した待ち時間が経過すると、自動で通話中画面に切り替わり通話できるように設定することができます。	221
電話帳ロック	ロックNo.を設定して、ハンズフリー機能の使用に制限をかけることができます。	222

機器名称、機器アドレスを表示する

- 1 **MENU** を押す。
- 2 [Bluetooth] タブにタッチし、**ハンズフリー設定** にタッチ。



- 3 詳細設定の **設定する** にタッチ。



4. ハンズフリーの設定

パスキーを変更する

- 1 **MENU** を押す。
- 2 [Bluetooth] タブにタッチし、**ハンズフリー設定** にタッチ。



- 3 詳細設定の **設定する** にタッチ。



- 4 パスキーの **変更** にタッチ。



- 5 数字に1文字ずつタッチして、4～8桁の数字を入力し、**決定** にタッチ。

入力した番号を1文字ずつ修正



ACC-ON時のBluetooth® 接続確認表示を設定する

エンジンスイッチをOFF (LOCK) からACC、またはONにしたとき携帯電話とのBluetooth接続結果 (198 ページ参照) を表示する、しないを設定することができます。

- 1 **MENU** を押す。
- 2 [Bluetooth] タブにタッチし、**ハンズフリー設定** にタッチ。

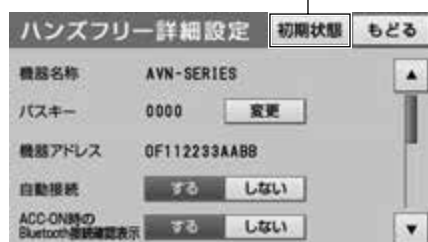


3 詳細設定の **設定する** にタッチ。



4 ACC-ON時のBluetooth接続確認表示の **する**、または **しない** にタッチ。

ハンズフリー詳細設定を初期化



自動着信応答を設定する

自動着信応答を設定しておくとし、電話がかかってきたとき、あらかじめ設定した待ち時間を経過すると、自動で通話中画面に切り替わり通話することができます。

1 **MENU** を押す。

2 [Bluetooth] タブにタッチし、**ハンズフリー設定** にタッチ。



3 詳細設定の **設定する** にタッチ。



4. ハンズフリーの設定

4 自動着信応答の **する**、または **しない** にタッチ。

- **する** にタッチしたときは、**－**、または **＋** にタッチして、自動応答するまでの待ち時間を1～60秒の間で設定できます。



自動着信応答するまでの待ち時間を設定

電話帳ロックを設定する

電話帳ロックを設定すると、電話帳に関する機能を使用することができません。ホテルで車を預けるときなど、他人に見られたくないときにご利用になると便利です。ロックの設定および解除をするには、ロックNo.の入力が必要になります。

⚠ 注意

ロックNo.を変更するときは、ロックNo.を忘れないように管理してください。ロックNo.を忘れると、販売店でも解除できません。万一ロックNo.を忘れてしまった場合は、電話帳ロック設定の初期化を行ってください。(225 ページ参照) ただし、初期化を行うと、電話帳データや発信履歴および着信履歴も削除されます。

ロックNo.を設定する

電話帳ロックの設定および解除をするには、ロックNo.の入力が必要です。電話帳ロックを使用するときは、必ずロックNo.を変更してからご使用ください。なお、ロックNo.を変更するときは、他人にわかりにくい番号にしておいてください。

1 **MENU** を押す。

2 [Bluetooth] タブにタッチし、**ハンズフリー設定** にタッチ。



3 詳細設定の **設定する** にタッチ。



- 4 電話帳ロックの **設定する** にタッチ。



- 5 ロックNo.変更の **変更** にタッチ。



- 6 現在のロックNo.を入力する。

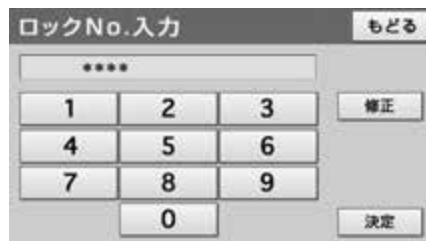
- 初期設定は「0000」です。

入力した番号を1文字ずつ修正



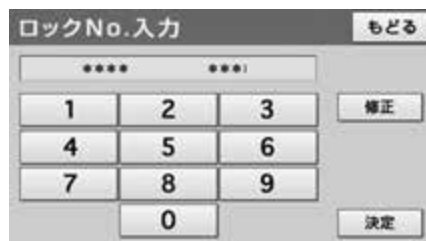
- 7 **決定** にタッチ。

- 8 新しいロックNo.を入力する。



- 9 **決定** にタッチ。

- 10 手順8で入力した新しいロックNo.を入力し、**決定** にタッチ。



- 11 **はい** にタッチ。

- ロックNo.を入力し直す場合は、**いいえ** にタッチします。



4. ハンズフリーの設定

電話帳ロックを設定する

電話帳ロックを設定すると、次の機能を使用することができなくなります。

- 電話帳画面の表示、電話帳データの転送・削除、電話帳発信
- 発信時および着信時の相手先名称の表示
- 発信履歴画面および着信履歴画面の表示、履歴の削除、履歴発信
- ロックNo.の変更

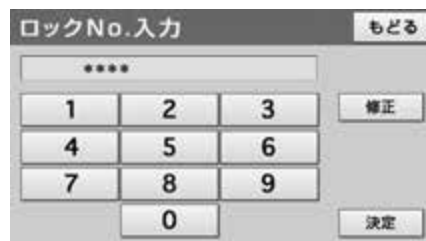
- 1 電話帳ロックの **設定する** にタッチ。



- 2 電話帳ロックの **する** にタッチ。



- 3 ロックNo.を入力し、**決定** にタッチ。



電話帳ロックを解除する

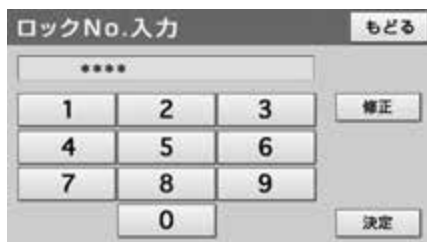
- 1 電話帳ロックの **設定する** にタッチ。



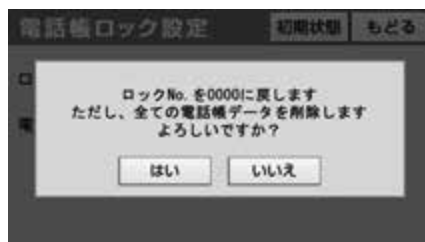
- 2 電話帳ロックの **しない** にタッチ。



- 3 ロックNo.を入力し、**決定** にタッチ。



- 3 **はい** にタッチ。



電話帳ロック設定を初期化する

🏠 チェック

初期状態にもどすと、すべての電話帳、発着信履歴、登録した携帯電話のデータが削除されます。

- 1 電話帳ロックの **設定する** にタッチ。



- 2 **初期状態** にタッチ。



MEMO

5



ご参考に

1. 知っておいていただきたいこと

こんなメッセージが表示されたときは

下記のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

共通操作関係

メッセージ	原因	処置
高温のため、動作を停止します。 しばらく経ってから電源を入れなおしてください	本機内が異常に高温のため。	エンジンスイッチをOFF (LOCK) にして、温度が下がるまでしばらくお待ちください。
低温のため、動作を停止します。 しばらく経ってから電源を入れなおしてください	本機内が異常に低温のため。	エンジンスイッチをOFF (LOCK) にして、温度が上がるまでしばらくお待ちください。
異常検知のため停止中です しばらくお待ちください	何らかの原因で異常を検知したため。	しばらくそのままお待ちください。 回復しないときは、販売店にご相談ください。
プログラム読み込みが必要です パネルにあるオープンボタンを押してSDカードまたはプログラム更新メディアを入れてください	地図SDメモリーカードが挿入されていない、またはプログラムが未更新状態のため。	本機に同梱の地図SDメモリーカードを挿入してください。 (23 ページ参照) またはプログラム更新を実施してください。
プログラムが正しく読みません SDカードまたはプログラム更新メディアをご確認ください	何らかの原因で地図SDメモリーカード、または更新用に作成したCDが読み込めないため。	地図SDメモリーカード、または更新用のCDをお確かめください。
本製品に対応したSDカードではありません SDカードをご確認下さい	本機に同梱された地図SDメモリーカード以外のSDメモリーカードを挿入したため。	本機に同梱の地図SDメモリーカードを挿入してください。 (23 ページ参照)
プログラム読み込みを開始するためパネルにあるクローズボタンを押してディスプレイを閉めて下さい	地図SDメモリーカードを挿入後、ディスプレイを閉じていないため。	 を押す、または CLOSE にタッチしてディスプレイを閉じてください。
地図メディアが入っていません SDカードを入れてください	地図データの入った地図SDメモリーカードが挿入されていないため。	地図データが入った地図SDメモリーカードを挿入してください。
データが読みません SDカードをご確認ください	何らかの原因で地図SDメモリーカードが読み込めないため。	地図SDメモリーカードをお確かめください。
地図の認証エラーです インターネット経由で登録したEコードが下記内容と合致しているかお確かめ下さい Eコード:○○○○○○○○○○○○○○○○	WEBでEコードを間違えて入力したため。	表示されているEコードとWEBで登録したEコードが合っているかお確かめください。(131 ページ参照)

メッセージ	原因	処置
地図メディアが正しく読めません SDカードをご確認ください	地図データ以外のデータが入ったSDメモリーカードを挿入しているため。	本機に同梱の地図SDメモリーカードを挿入してください。(23 ページ参照)
セキュリティコードの認証エラーです。 取扱説明書に記載している方法で解除キーを入力して下さい。 了解	ESNのロック、または起動時認証を解除する場合、誤った暗証番号を5回入力したため。	2次元バーコードは、セキュリティ保護のため、Web上では公開しておりません。製品に同梱されている「取扱説明書」の229ページを参照してください。

ナビゲーション関係

メッセージ	原因	処置
施設情報は500m図より広域の地図には表示されません	施設（施設マーク）表示中に500mスケール図より広域な地図にしたため。	500mスケール図以下の詳細な地図に切り替えてください。(61 ページ参照)
周辺に該当する施設がありません	周辺の施設を検索するとき、近くに該当する施設が見つからないため。	場所を移動するか、ほかの施設で検索してください。(74 ページ参照)
ルート沿いに該当する施設がありません	ルート沿いの周辺施設を検索するとき、近くに該当する施設が見つからないため。	ほかの施設で検索してください。(74 ページ参照)
自宅が登録されていません。 自宅を登録しますか？ はい いいえ	自宅が登録されていないときに、 自宅 にタッチしたため。	はい にタッチすると自宅登録画面を表示します。(104 ページ参照) いいえ にタッチするととの画面にもどります。
該当するデータが見つかりませんでした 電話番号を変えて再検索して下さい	電話番号で地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	電話番号を再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。

1. 知っておいていただきたいこと

メッセージ	原因	処置
該当するデータが見つかりませんでした マップコードを変えて再検索して下さい	マップコードで地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	マップコードを再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
目的地履歴がありません	履歴で地図を呼び出すとき、過去に目的地を設定していないことが原因で、地図を呼び出せなかったため。	目的地を設定すると目的地履歴に登録されます。目的地履歴に登録されていないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。(65 ページ参照)
この縮尺では位置が特定できません 詳細な地図に切り替えます	500mスケール図より広域の地図で目的地、お気に入り地点などを設定・登録しようとしたため。(ワンタッチメモリ地点登録のときを除く)	目的地、お気に入り地点などの設定・登録は500mスケール図以下で行ってください。
ルート探索に失敗しました 出発地と目的地が遠すぎます 必要に応じて再度行き先の設定をして下さい	直線距離5000kmをこえる目的地を設定したため。	目的地は、直線距離5000km以内に設定してください。
登録できる目的地の最大数を超えています 目的地を減らして下さい	登録可能な数（5ヶ所）を超えたため。	不要な目的地を消去してから追加してください。(88 ページ参照)
お気に入り地点がありません	お気に入り地点を未登録のときに、 お気に入りです にタッチしたため	お気に入り地点を登録してからお使いください。(103 ページ参照)
これ以上登録できません 消去してからお使い下さい	お気に入り地点を登録した数が200カ所のときに、さらに登録しようとしたため。	不要なお気に入り地点を消去してから登録してください。(110 ページ参照)
VICSの文字（図形）情報を受信中です しばらくお待ち下さい	VICSメニューを受信していないため。	しばらくしてもメッセージを表示する場合、選局しなおしてください。(114 ページ参照)
○○○○は500m図より広域の地図には表示されません	VICS情報や施設情報を表示設定にしているときに、500mスケール図より広域な地図にしたため。	500mスケール図以下の地図に切り替えてください。(61 ページ参照)
VICSの文字（図形）情報を受信していません	FM多重放送を行っている放送局を選局していない、または情報を受信していないため。	選局しなおしてVICSの情報を受信してください。(114 ページ参照)
走行中は自動送りできません 停車してから自動送りを再開します	自動送り機能を走行中にしたため。	停車してからご使用ください。
走行中は操作できません	E-ISERVへアクセスするための2次元バーコードのサイズ変更を走行中にしたため。	停車してからご使用ください。

オーディオ・ビジュアル関係

メッセージ	原因	処置
ディスクエラーです ディスクをお確かめください	ディスクが汚れている、または裏返しになっているため。	ディスクが汚れているときはクリーニングしてください。 裏返しのときは正しく入れてください。
異常検知でディスク再生停止中です※ ¹	なんらかの原因でCDプレーヤーが動かないため。	イジェクト操作を行ってください。
高温のためディスク再生停止中です 温度が下がるまでお待ちください	CDプレーヤー内の温度が異常に高いため。	しばらくお待ちください。 デッキ内の温度が常温に復帰すると表示が消えて再生を再開します。長時間経過しても表示が消えないときは販売店にご相談ください。
走行中は音声のみをお楽しみください	走行中にワンセグ、またはVTRを見ようとしたため。	車を安全な場所に停車させてパーキングブレーキをかけてからお楽しみください。
iPodとの通信に失敗しました	iPodからの応答がないため。	Dockコネクタを再接続してください。(168 ページ参照)
iPodのファームウェアバージョンをご確認ください	iPodのソフトウェアバージョンが対応していないため。	最新のソフトウェアをApple社のWebサイトからダウンロードしてください。
	iPodとの接続が検知できないため。	販売店にご相談ください、もしくはiPodをご確認ください。
再生できるデータがありません	iPodに再生可能な音楽データが記録されていないため。	iPod内のデータを確認してください。データが記録されている場合はiPodをリセットしてください。
再生できるファイルがありません	USBメモリに再生可能な音楽データが収録されていないため。	再生可能な音楽データをご確認ください。(155 ページ参照)
対応していないフォーマットのため再生できません	USBメモリに収録されている音楽ファイルが、本機に対応していない規格であるため。	再生可能な音楽データをご確認ください。(155 ページ参照)
接続状態をお確かめ下さい	USBメモリとUSB接続ケーブルがきちんと接続されていないため。	USBメモリとUSB接続ケーブルの接続状況を確認してください。
異常検知で停止中です※ ² しばらくお待ちください	何らかの原因で再生が停止したため。	USBメモリを再接続してください。(151 ページ参照)
オーディオ機器が接続されていません	Bluetooth機器が本機に接続されていないため。	Bluetooth機器を本機に接続してください。(175 ページ参照)
接続できませんでした オーディオ機器のパスキー、設定をご確認下さい	本機とBluetooth機器のパスキーが一致しないなどの理由で登録できなかったため。	パスキーを確認のうえ、再度Bluetooth機器を登録してください。(173 ページ参照)

※¹ イジェクト操作をしても動作しないときは、販売店にご相談ください。

※² 再接続しても動作しないときは、販売店にご相談ください。

1. 知っておいていただきたいこと

メッセージ	原因	処置
接続できませんでした オーディオ機器の設定をご確認下さい	何らかの理由でBluetooth機器が本機に接続できなかったため。	Bluetooth機器の設定を確認してください。Bluetooth機器に添付の取扱説明書を参照してください。
オーディオ機器の自動接続ができませんでした	Bluetooth機器が本機に自動接続できなかったため。	手動で接続してください。(175ページ参照)
放送を受信できません	ワンセグ放送の受信エリア外にいるため。	ワンセグ放送を受信できるエリアに移動するか、受信可能なチャンネルに切り替えてください。
放送を休止中です	ワンセグ放送をしていない局を選択しているため。	ワンセグ放送をしている他の局を選択してください。
データを受信中です	番組表、または番組詳細画面の放送データを受信しているため。	しばらくそのままお待ちください。
データを受信できません	番組表、または番組詳細画面の放送データを受信できないため。	サービスエリア内でも環境により受信できない場合がありますので、受信できる場所に移動してください。
受信可能なチャンネルがありませんでした	チャンネル設定時に受信できるチャンネルがなかったため。	チャンネルを受信できるエリアに移動してください。
緊急放送を受信しました 緊急放送画面に切り替えます 安全な場所に停車してご覧ください	緊急放送を受信したため。	緊急放送画面が表示されたときは、安全な場所に停車してご覧ください。放送が終了すると、自動的にもとのサービスにもどります。

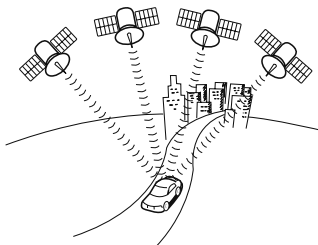
ハンズフリー関係

メッセージ	原因	処置
ハンズフリーのご利用には携帯電話の登録が必要です ハンズフリー設定より登録して下さい	携帯電話の登録がされていないため。	携帯電話の登録をしてください。(195ページ参照)
携帯電話が接続されていません	携帯電話がBluetooth接続されていない。	使用する携帯電話を接続してください。(197ページ、198ページ)
携帯電話をご確認ください	携帯電話に異常がある。(携帯電話の充電不足、携帯電話の故障) 携帯電話にロックがかかっている。	次の点を確認してください。 携帯電話の充電は十分であるか。 携帯電話のロックが解除されているか。
通話エリア外です 通話エリアに移動してご利用下さい	サービスエリア圏外にいる。	場所を変えて、数回試してみてください。

2. 用語説明

より楽しく有効に利用していただくために、次に出てくる用語の説明をご一読ください。

● GPS(Global Positioning System)



GPSは、高度約21000kmの軌道上を周回する通常4個以上、場合により3個のGPS衛星から地上に放射される電波を受信して、現在の位置（緯度、経度、高度）を知ることができるシステムです。

この衛星は、主として軍事利用のために米国国防総省によって打ち上げられ管理されていますが、民間の使用も解放されています。本機では、GPSの情報や各種センサー、道路地図データなどを利用してナビゲーションを行っています。

● 自立航法

車速センサー、振動ジャイロセンサーからのデータによって自転車走行軌跡を求め、現在地を表示する技術です。トンネルや高架下道路などでも自転車の現在地を表示できます。

● 広域地図、詳細地図

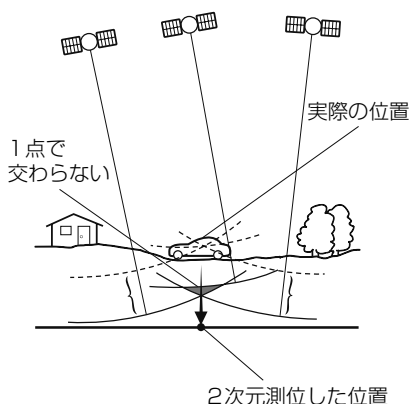
広域地図とは範囲の大きな地図で、詳細地図とは範囲の小さな地図のことです。地図の縮尺は1/640万、1/320万、1/160万、1/80万、1/40万、1/20万、1/10万、1/5万、1/25000、1/12500、1/6250、1/3125、1/1562です。

● 測位

3個以上のGPS衛星からの電波を受信して、自転車の現在地を測定することです。

● 2次元測位と3次元測位

GPSは3点測位の原理にしたがって位置を計算しています。



1個の衛星から電波を受信するとその衛星との距離がわかり、3個の衛星から受信すると現在地が測位できます。

しかし、実際にはGPS衛星およびナビユニットに誤差があるので、3個のGPS衛星からの電波しか受信できないときには、緯度と経度の2次元で測位しています。この場合は精度が低くなります。

また、4個以上のGPS衛星からの電波を受信したときは、緯度、経度、高度の3次元で測位しています。3次元測位は2次元測位より精度が上がり、現在地の表示の誤差も少なくなります。

● 振動ジャイロセンサー

走行中に右や左にどれだけ曲がったかを電氣的に検出する振動ジャイロセンサーと車両の速度を検出する車速センサーで現在地を割り出しています。

本機の自立航法では、このセンサーが非常に重要な役割を果たしています。

2. 用語説明

● スーパーオーディオCD (SACD)

原音のアナログ波形に極めて近い形で音をデジタル記録するDSD (Direct Stream Digital) 方式を採用した高音質オーディオディスクの規格です。

スーパーオーディオCDには次の種類があります。

- ・ シングルレイヤーディスク

HD層※が1層のみのディスク

- ・ デュアルレイヤーディスク

HD層※が2層のみのディスク

- ・ ハイブリッドレイヤーディスク

HD層※とCD層※が合わさった2層のディスク

※ HD層：スーパーオーディオCDの高密度信号層

CD層：既存のCDプレーヤーで読み取り可能な層

● CD-EXTRA

音楽用の音楽データトラックとパソコン用のPCデータトラックを1枚のメディアの中にマルチセッションで書き込んだものです。この場合、第1セッションには音楽データトラックを記録し、第2セッション以降にPCデータトラックを記録するため、音楽CDプレーヤーは第2セッション以降のPCデータトラックを再生することがなくなります。

● Mixed Mode CD

音楽用の音楽データトラックとパソコン用のPCデータトラックを1枚のメディアの中にシングルセッションで書き込んだものです。この場合、第1トラックにはPCデータトラックを記録し、第2トラック以降に音楽データトラックを記録するため、音楽CDプレーヤーは第1トラックのPCデータを再生してしまい、大きなノイズが出力されてしまいます。これは音楽CDプレーヤーがマルチセッションに対応しているため、マルチセッションのCDを再生すると第1セッションしか認識せず、これが再生されてしまうためです。

● MP3

MP3はMPEGAudiolayerⅢの略で、MPEGAudiolayer3は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3は人間の聞きとれない音声、不可聴帯域を圧縮するので、元のファイルを約1/10のサイズにすることができます。

● ID3タグ

MP3ファイルには、ID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力する領域が確保されていて、曲のタイトル、アーティスト名などを保存できます。ID3タグに対応したプレーヤーでID3タグ情報の表示・編集が可能です。

● エンコーダ

WAVEファイルからMP3ファイルへ変換（圧縮）するためのソフトウェアのことです。

- コピーコントロールCD／
レーベルゲートCD

パソコンなどで音楽データを読み取り、データ化、保存ができないように処理してあるCDのことです。コピーコントロールCD、レーベルゲートCDには下記のマークが付与されています。
ご使用になる前に、必ずパッケージなどに同梱されている説明書をお読みください。



- セッション

CD-R、CD-RWでは、書き込みをする度にデータの前後にリードイン、リードアウトという領域が付加されます。このリードイン、データ、リードアウトの固まりを“セッション”と言います。1枚のCD-R/RWに1つのセッションが書き込まれているものを「シングルセッション」、1枚のCD-R/RWに追記によって複数のセッションが書き込まれているものを「マルチセッション」と言います。

- ワンセグ放送

ワンセグ放送とは、1セグメントを使用した携帯端末向けの放送のことです。1セグメントのみ使用するため解像度は低いですが、視聴可能な範囲が広いのが特長です。

- Bluetooth

2.4GHz帯域を用いて、Bluetooth搭載機器間で無線通信を行うことができます。本機は、Bluetooth無線技術を搭載した機器との無線通信により、ハンズフリー機能やデータ通信、音楽ファイルの再生機能が使用できます。

3. 収録されている地図情報について

- 地図データに関する著作権、商標権等の権利は、インクリメント P 株式会社またはインクリメント P 株式会社に権利を許諾した第三者に帰属します。
- インクリメント P 株式会社は、地図データの正確性・完全性・特定の目的に対する適合性についてはいかなる保証もいたしません。地図データを利用したことにより発生したいかなる損害に対しても補償いたしません。
- 場所を探すベースとなっているデータによっては、表示されるポイント（位置）が実際のポイントと離れている場合があります。

検索のデータについて

検索のデータとして、NTT 情報開発株式会社のタウンページデータ (2010 年 9 月現在) が収録されています。

アイコン表示について

アイコンが表示されるポイントは、実際の場所とは異なっている場合があります。

ルートに関する注意事項

ルート探索の仕様

- ルート探索をすると、自動的にルート / 音声案内が設定されます。曜日、時間規制については、交通規制情報はルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「午後」に通行すると、設定されたルートが通れないなど交通規制に反する場合があります。移動するときは必ず実際の交通標識に従ってください。
- 探索されたルートは道路種別や交通規制などを考慮して、本機が求めた目的地に至る道順の一例です。必ずしも最適になるとは限りません。
- 本州～北海道、本州～四国、本州～九州のルートも設定できます（本州～北海道などのフェリーが運行されている場合には、航路を使うルートが探索されます）。
- 長距離のルート探索を行う場合は、探索に時間がかかります。
- フェリー航路に関してはルート探索の補助手段であるため、長距離航路は対象となりません。
- フェリー航路については、すべてのフェリー航路が収録されているわけではありません。

ルート探索のしかた

- 現在の進行方向と逆向きのルートが設定されることがあります。
- 河川や駅の反対側を誘導するルートになることがあります。そのようなときは、目的地を使用したい道路の近くに設定してください。
- 有料道路回避では、他の適切なルートがない場合は回避されないことがあります。
- 場所によってはルート探索できないことがあります。そのようなときは、目的地および出発地付近の「大きな交差点」付近に追加目的地を設定してみてください。
- 一部の大型施設（遊園地、ショッピングモールなど）以外の施設は、位置情報が真位置で収録されているため、施設の裏側へ案内することがあります。

ルートの道塗りについて

- 道路形状によっては、道塗りの下から道路がはみ出して見える場合があります。
- 出発地、目的地、追加目的地の前後では道塗りされない場合があります。

音声案内について

有料道路のインターチェンジ出口を目的地として設定すると、「高速出口施設」と「料金所」は音声案内されないことがあります。

ルート確認画面での有料道路料金について

- 特殊な料金体系の有料道路では、正しい料金が表示されない場合があります。
- 料金非対応路線を含むルートの場合は、その道路の料金は合計料金に含まれません。
- 料金計算ができないルートの場合は、「****」と表示されます。
- 一般有料道路に関しては、一部路線のみ対応しています。
- 有料道路上およびランプ上からルートを探索したときや、有料道路上に目的地や出発地を設定したときは、有料道路を使う区間を判断できないため、料金が正しく計算されません。
- 一部実際と異なる料金が表示されたり、誘導されたりすることがあります。このような場合は、実際の料金に従ってください。
- 有料料金は改定される場合がありますので、あくまで目安としてお使いください。

オートリルートについて

- リルートする場合、ルートをはずれた地点を出発地とするルート探索を行います。
- 目的地、追加目的地付近の時間規制がある場合は、規制を無視するルートを引く場合があります。

地図データについて

- この地図の作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。(測量法第44条に基づく成果使用承認 90-063) [2010年3月発行データ使用]
- この地図は小田原市長の承認を得て、同市発行の1/2,500国土基本図を使用したものである。(承認番号) 小田原市指令第52号 平成10年4月2日承認
- この地図は、養老町長の承認を得て、同町所管の2500分の1都市計画図を使用したものである。平成12年 養建第1902号
- この地図の作成に当たっては、知多市長の承認を得て、同市発行の2,500分の1都市計画基本図を使用したものである。(測量法第44条に基づく成果使用承認 平成12年度 知都発第170号)
- この地図は、貴志川町長の承認を得て同町発行の1/2,500全図を使用し、調製したものである。(承認番号) 平10. 近公. 第34号
- この地図は大木町長の承認を得て、同町発行の5,000分の1の地形図を使用し調製したものです。(承認番号 15大木建第734号)
- この地図は、堀金村長の承認を得て1/2,500の都市計画図を参照して作成したものです。(承認番号 16堀第5417号)

3. 収録されている地図情報について

- この地図は東近江市長の承認を得て、同市発行の地形図 1/2,500 を使用し、調製したものである。(承認番号 東開第 111 号 平成 18 年 2 月 28 日承認)
- この地図は、伊香保町長の承認を得て平成 7 年度作成の 10,000 分の 1 の白図を使用し、調製したものです。(承認番号 伊建農発 229 号 平成 17 年 7 月 14 日承認)
- この地形図は、東京都都市整備局および東京デジタルマップの東京都縮尺 1/2500 地形図を使用して作成したものである。(承認番号:18 東デ共 041 号)
- この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺 2,500 分の 1 の地形図を使用して作成したものである。(承認番号) 18 都市基交 第 478 号
- この地図は、津山市長の承認を得て、同市所管の測量成果津山市都市計画(1/2,500)を使用して調製したものです。(承認番号 平成 17 年津山市使用承認第 5 号)
- この地図は、宇部市長の承認を得て平成 13 年作成の宇部市域図を使用したものである。(承認番号 指令宇都第 13 号 平成 18 年 5 月 15 日承認)
- この地図は、宇部市長の承認を得て平成 13 年作成の宇部市域図を使用したものである。(承認番号 指令宇都第 14 号 平成 18 年 5 月 31 日承認)
- この地図は、周防大島町長の承認を得て、周防大島町管内図を使用したものである。(承認番号 周防建設第 56 号 平成 18 年 5 月 12 日承認)
- この地図は、東かがわ市長の承認を得て、同市所管の測量成果である東かがわ市地形図 1/10,000 及び東かがわ市都市計画図 1/2,500 を使用して調製したものである。(承認番号平成 18 年 5 月 2 日 18 建第 107 号)
- この測量の成果は、東温市長の承認により、平成 17 年 3 月作成の東温市都市計画図を使用して得たものである。(承認番号 H18 東温都第 174 号)
- この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の 1/5,000 森林基本図を使用したものである。(承認番号 林振第 350 号 平成 18 年 9 月 19 日承認)
- この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の 1/5,000 森林基本図を使用したものである。(承認番号 林振第 611 号 平成 19 年 2 月 28 日承認)
- この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものである。承認番号 平成 19 年 3 月 7 日 指令水緑-1258
- この地図は、山形県の森林基本図を複製したものである。承認番号森第 18-10 号
- この地図は長岡市長の承認を得て、同市所管の地形図 1/10,000 を使用して調製したものである。(長都政第 477 号 平成 18 年 3 月 28 日承認)
- この図面は山梨県が作成した測量成果をもとに作成したものです。使用承認 平成 19 年 3 月 1 日 森整第 1561 号
- この地図は、長野県知事の承認を得て、長野県森林基本図を使用して作成したものである。(承認番号 18 森政第 5-5 号)
- この地図は島根県が作成した森林基本図 1:5,000 を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものである。(承認番号 平成 18 年 11 月 24 日付け森第 1286 号)
- この地図は島根県が作成した森林基本図 1:5,000 を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものである。(承認番号 平成 19 年 2 月 27 日付け森第 1736 号)
- この地図は、広島県知事の承認を得て、同県所管の 1/5,000 森林基本図を使用したものである。(広島県使用承認林振第 115 号 平成 19 年 2 月 15 日承認)
- この地図は、徳島県知事の承認を得て、同県所管の 1/5,000 森林基本図を使用したものである。(承認番号 林振第 484 号 平成 19 年 1 月 30 日承認)
- この地図は、佐賀県知事の承認を得て、同県所管の 1/5,000 森林基本図を使用したものである。(承認番号 森整第 010634 号 平成 18 年 10 月 4 日承認)

- この地図は、長崎県知事の承認を得て、長崎県森林基本図(1/5,000)を使用し調製したものである。(承認番号 18林第492号(平成18年10月6日))
- この地図は、熊本県知事の承認を得て5,000分の1の森林地形図を複製したものである。(承認番号 森整第993号・平成19年2月14日)
- この地図は、熊本県知事の承認を得て5,000分の1の森林地形図を複製したものである。(承認番号 森整第1079号・平成19年3月7日)
- この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000分の1森林基本図を使用し、調製したものである(承認番号 林18-1 平成18年12月5日)。
- この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000分の1森林基本図を使用し、調製したものである(承認番号 林18-2 平成19年3月7日)。
- この地図は宮崎県知事の承認を得て5000分の1森林基本図を使用し、調製したものである。(承認番号 使18-1号 平成18年12月8日)
- この地図は宮崎県知事の承認を得て5000分の1森林基本図を使用し、調製したものである。(承認番号 使18-3号 平成19年3月8日)
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。(承認番号 平18 林振第360号)
- この地図は、知覧町長の承認を得て、同町発行の1/5,000全図を使用し、調製したものである。(承認番号)平成18年5月26日知耕第590号
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分の1国土基本図を使用したものである。(承認番号 平19総使、第24号-23号)
- この地図の作成にあたっては、茨城県林政課作成の5千分の1森林基本図を使用しました。(測量法第44条第3項の規定に基づく成果使用承認 平成19年8月8日付、承認番号 林政19-482号、茨城県林政課長)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分の1国土基本図を使用したものである。(承認番号 平19総使、第247号-23号)
- この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものである。承認番号 平成18年11月30日指令水緑-947
- この地図は、笛吹市長の承認を得て同市発行の10000分の1の全図を使用し、作成したものである。(承認番号 笛まち第12-25号 平成19年12月13日承認)
- この地図は、岐阜県知事の承認を得て、岐阜県共有空間データ(18国地部公発第334号)を使用したものである。(承認番号 情企第590号 平成20年3月24日承認)
- この成果品は、高知県が作成した測量成果を、高知県知事の承認を得て使用し作成したものである。(承認番号 平成19年2月14日付け 18高森推第568号)
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。(承認番号 平19 林振第404号)
- この地図データの一部は、小樽市長の承認を得て、同市が作成した平成19年度臨港道路竣工平面図を複製したものである。(承認番号)平21 樽港事第33号
- この地図は、森林計画室長の承認を得て静岡県作成の5000分の1の森林基本図を複製したものである。(承認番号)平成21年森計第477号
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。(承認番号 平18 林振第497号)
- この地図は、東根市長の承認を得て同市保管の東根市道路台帳図を使用し、調製したものである。(承認番号 東建収第8号 平成21年5月27日承認)
- この地図は、東根市長の承認を得て同市保管の東根市道路台帳図を使用し、調製したものである。(承認番号 東建収第8号 平成21年5月27日承認)

3. 収録されている地図情報について

- この地図は幕別町長の承認を得て、同町発行の2千5百分の1幕別町現況図を使用し、調整したものである。(承認番号) H22 幕都計第185号
- この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1 - No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を利用し作成したものである。(承認番号 国地企調第180号 平成22年9月28日)

注意事項

- データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なることがありますのでご了承ください。
- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- 箇所によって、複数名称が登録されている信号は、1名称のみの収録となります。その場合、進行方向によっては実際と異なる名称が表示されることがあります。

交通規制データについて

本製品に使用している交通規制データは、2010年9月現在のものであります。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示等に従ってください。

注意事項

この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみに、大型車両や二輪車等の規制は含まれておりません。
あらかじめご了承ください。

その他 © 記載

- ©2011 財団法人 日本デジタル道路地図協会
- ©2011 INCREMENT P CORP.

Anti-Grain Geometry - Version 2.4

Copyright (C) 2002-2005 Maxim Shemanarev (McSeem)

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Intel/DVI ADPCM coder/decoder.

The algorithm for this coder was taken from the IMA Compatability Project proceedings, Vol 2, Number 2; May 1992.

Version 1.2, 18-Dec-92.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the names of Stichting Mathematisch Centrum or CWI not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission.

STICHTING MATHEMATISCH CENTRUM DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL STICHTING MATHEMATISCH CENTRUM BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

4. VICS 情報有料放送サービス契約約款

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第 1 章 総 則

(約款の適用)

第 1 条 財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 52 条の 4 の規定に基づき、この VICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第 2 条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第 3 条 この約款においては、次の用語はそれぞれの意味で使います。

- (1) VICS サービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICS サービス契約
当センターから VICS サービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者
当センターと VICS サービス契約を締結した者
- (4) VICS デスクランブラー
FM 多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第 2 章 サービスの種類等

(VICS サービスの種類)

第 4 条 VICS サービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICS サービスの提供時間)

第 5 条 当センターは、原則として一週間に概ね 120 時間以上の VICS サービスを提供します。

第 3 章 契 約

(契約の単位)

第 6 条 当センターは、VICS デスクランブラー 1 台毎に 1 の VICS サービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第 7 条 VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ね NHK-FM 放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第 8 条 VICS サービスは、VICS 対応 FM 受信機（VICS デスクランブラーが組み込まれた FM 受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICS サービスの種類の変更)

第 9 条 加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応 FM 受信機を購入することにより、第 4 条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第 10 条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第 11 条 当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者が VICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有する VICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第 12 条

- 1 当センターは、加入者が第 16 条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第 17 条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。
- 2 第 11 条又は第 12 条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第 4 章 料 金

(料金の支払い義務)

第 13 条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。
なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第 5 章 保 守

(当センターの保守管理責任)

第 14 条 当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第 15 条

- 1 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。
- 2 当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第 6 章 雑 則

(利用に係る加入者の義務)

第 16 条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第 17 条

- 1 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されないことがあることを了承するものとします。
但し、当センターは、当該変更においても、変更後 3 年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
- 2 VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3 年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表]

視聴料金 315 円（うち消費税 15 円）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

5. アフターサービスについて

お問い合わせに関するお知らせ

アフターサービスに関するお問い合わせ

販売店またはお客様相談窓口にご連絡してください。

富士通テン株式会社
「お客様相談窓口」



フリーダイヤル 0120-022210
携帯電話・PHSからもご利用になれます。

受付時間 午前10:00～12:00、午後1:00～5:00(土・日・祝日などを除く)

製品の購入や組み合わせに関するお問い合わせ

販売店または販売会社に連絡してください。

■ 販売会社

富士通テン東日本(株)	〒160-0023 東京都新宿区西新宿 8 丁目14番24号 (西新宿KFビル)	(03)5330-6244	東京、神奈川、千葉、 甲信越地区
北海道支店	〒003-0809 札幌市白石区菊水 9 条 2 丁目2番38号	(011)821-2221	北海道全域
北関東支店	〒338-0004 埼玉県さいたま市中央区本町西4丁目 18番1号	(048)859-2210	栃木、埼玉、群馬、 茨城
東北支店	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3丁目4番18号 (タカノボル第22ビル)	(022)256-2291	東北地区
富士通テン中部(株)	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南3丁目11番10号	(052)581-8621	中部、北陸地区
富士通テン西日本(株)	〒663-8241 西宮市津門大塚町7番35号	(0798)36-7481	兵庫、大阪、京都、 滋賀、奈良、和歌山
中国支店	〒734-0044 広島市南区西霞町2番25号	(082)255-2422	中国地区
四国支店	〒760-0078 高松市今里町 1 丁目28番13号	(087)863-7020	四国地区
九州支店	〒815-0031 福岡市南区清水4丁目4番34号	(092)511-3210	九州全域、沖縄

5. アフターサービスについて

修理に関するお問い合わせ

AVN の修理は、販売店にて受け付けています。

保証期間中は、保証書に記載の保証規定にもとづいて無料で修理いたします。製品に保証書を添えて申し込んでください。

- 保証期間は、同梱の保証書でご確認ください。
- 保証書は、販売店名や購入日の記載を確認のうえ、大切に保管してください。
- 保証期間が過ぎている場合は、有料で修理をお引き受けしています。
- 出張による修理や点検は行っていません。
- 製品の機能を維持するために必要な“補修用性能部品”は、製造打ち切り後も最低6 年間は保有しています。

ワンポイント

修理や点検の際にかかる AVN の取り付け／取り外し費用は、保証期間内においても基本的に有償となります。

メールでのお問い合わせ

ECLIPSE では、メールでのお問い合わせにも対応しています。

お客様サポートページに記載されている注意事項を確認してから「お問い合わせフォーム」にアクセスし、必要事項を記入のうえ、送信してください。

- URL
<https://www.fujitsu-ten.co.jp/pif/inquiry/select/open.do>

故障とお考えになる前に

使用環境や設定の問題で、AVN を操作できない場合があります。また、故障ではなく製品自体の仕様である可能性も考えられます。

ECLIPSE のお客様サポートページには、詳しい操作手順を説明した「オンラインマニュアル」や、よくある問い合わせ内容をまとめた「FAQ」を準備しています。修理や点検を申し込む前に、お客様サポートページの内容をご確認ください。

- URL
<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/>

6. バッテリーの交換について

お車から本機やバッテリーを取りはずした場合、一部（下記表）を除き、本機に保存されている情報（設定）が初期化（消去）されます。お車の点検やバッテリーの交換、地図データの全更新を行う際は、ご注意ください。

■ 初期化されない情報

項目	内容
メモリ地点	登録したメモリ地点（自宅を含む）
登録ルート	登録したルート情報
ESN	設定したセキュリティコード
	インジケータのON/OFFの設定内容
	起動時認証のON/OFFの設定内容
	前回設定したコードNo.
	現在設定中のコードNo.

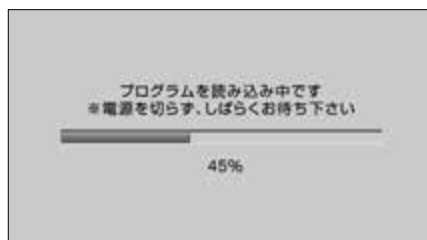
📌 ワンポイント

- 一度初期化（消去）された内容（データ）は元に戻せません。ご注意ください。
- ESN の設定をしている場合、バッテリーの交換などを行うと、ESN のロックがかかります。ESN のロックを解除する方法については、「**ESNのロック／起動時認証を解除する**」（47ページ）を参照してください。

7. バージョンアップしたときは

本機をバージョンアップしたときは、エンジンスイッチをACC、またはONにするとプログラムの読み込みが開始され、下記のように画面がかわります。

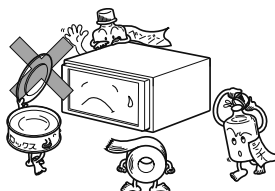
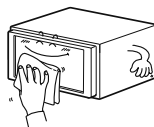
プログラム読み込み中はエンジンスイッチをOFF（LOCK）にしたり、本機を操作しないでください。



8. お手入れについて

本機のお手入れ

- タッチパネルは傷がつきやすいのでご注意ください。汚れをおとすときは、柔らかい布（シリコンクロスなど）で軽く押さえるようにして拭いてください。布の上からであっても爪などの硬い物で強くこすらないでください。汚れがひどいとき、水でうすめた台所用洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布でしあげる。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの揮発性のある薬品は使用しないでください。変質したり、塗装がはげることがあります。



アンテナのお手入れ

- 掃除をするときは、タオルや柔らかい布などで軽く押えるようにして拭いてください。爪などでこするとアンテナパターン線がはがれる原因となります。
- アンテナ部からコードを取り外すことはできません。無理に取り外すと動作できなくなり、再使用もできません。
- コードのコネクタ部分に力をかけないでください。
- 一部の車種に採用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムには電波を反射させる性質があり、受信感度が極端に低下する場合があります。またお車のフロントガラスにミラータイプ等のフィルムを貼っている場合、受信感度が落ちることがあります。
- 受信状態が良くなる角度に調整してください。
- トランクドアやバックドアを開けたときに、エレメントが車両（ボディ）に当たらないような角度にしてください。
- カーウィンドフィルムの上からフィルムアンテナを貼った場合、フィルムアンテナをはがす際にカーウィンドフィルムを傷めることがありますのでご注意ください。

9. 仕様

<GPSアンテナ>

寸法	35 (W) × 14 (H) × 6.6 (D) mm (突起部を除く)
重量	約107 (g)
電源電圧	4.7 ± 0.5V
消費電流	9mA以上 30mA以下

<ディスプレイ>

液晶パネル	7型ワイド低反射パネル
画素数	391,680画素 (480 (H) × 272 (V) × 3)
有効画素率	99.99%以上
表示方法	透過型カラーフィルター方式
駆動方式	TFT (薄膜トランジスタ) アクティブマトリクス方式

<ラジオ・チューナー部>

受信周波数	● AM522～1,629kHz ● FM76～90MHz
実用感度	● AM10dBμV (S/N20dB) ● FM12dBf (S/N30dB)
周波数特性	30～15,000Hz (FM)

<ワンセグ・チューナー部>

受信チャンネル	470MHz～770MHz (UHF帯：13ch～62ch)
インピーダンス	75Ω
アンテナ	フロント1ch

<CD部>

ワウ・フラッタ	測定限界以下
高調波歪み率	0.006% (0dB、1kHz)
周波数特性	20～20,000Hz
S / N比	99dB (1kHz)
ダイナミックレンジ	98dB

<共通部>

高調波歪み率	0.008% (0dB、1kHz)
周波数特性	20～20,000Hz
S / N比	96dB
定格出力	16W×4 (1kHz、歪1%、4×4Ω負荷)
最大出力	MOS-FET 48W×4
適合負荷インピーダンス	4Ω
電源電圧	DC13.2V (10.5-15.8V) アース専用
動作温度範囲	-20℃～+65℃
保存温度範囲	-40℃～+85℃
消費電流	● 0.5W×4出力時 約2.5A ● 最大約12A
外形寸法	横幅180mm・高さ100mm・奥行165mm
質量 (重量)	約2.3kg
製品の仕様および外観等の変更により、本書の内容が本機と一致しない場合がありますのでご了承ください。	

10. 凡例

表示	内容
 (紫色)	高速・都市高・有料道路
 (赤色)	国道
 (緑色)	主要地方道
 (橙色)	県道
 (灰色)	その他の道路 (巾5.5m以上)
 (灰色)	その他の道路 (巾3.0m以上)
	トンネルまたは整備計画区間 (上記各道路で表示あり)
	私鉄
	JR
 (水色)	水域
	都道府県界
 (緑色)	緑地
 (桃色)	駅舎
 (灰色)	敷地
	インターチェンジ
	サービスエリア
	パーキングエリア
	料金所
	駐車場・道の駅
	トンネル
	官公署
	都道府県庁
	役
	警察署
	消防署
	病院
	郵便局
	小学校

表示	内容
	中学校
	大学
	その他の学校
	フェリーターミナル
	空港
	ヘリポート
	NTT
	灯台
	タワー
	神社
	寺院
	教会
	墓地
	工場
	発電所
	自衛隊
	米軍
	温泉
	公園
	遊園地
	牧場
	野球場
	その他のスポーツ施設
	体育館
	競馬場
	モータースポーツ
	海水浴場・プール
	ヨットハーバー・マリナー

表示	内容
	スキー場
	ゴルフ
	キャンプ場
	動物園
	水族館
	植物園
	美術館・博物館・図書館など
	ホール・劇場・文化会館
	公民館
	展望台
	城・城跡
	陵墓
	史跡・名勝・天然記念物
	山岳
	百貨店
	ショッピングセンター
	市場
	D I Y
	ホテル
	公共宿泊施設
	自動車学校
	幼稚園
	保育園
	倉庫
	マンション
	銭湯
	その他の施設

- 表示されるマークの位置は実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して1つのマークで表示することがあります。
- 地図のスケールによって表示されない場合があります。

11. 商標

本製品は、株式会社ACCESSのNetFront FlexUIを搭載しています。

The logo for ACCESS, featuring the word "ACCESS" in a bold, sans-serif font. The letter "C" is stylized with three dots above it, and a trademark symbol (TM) is at the end.The logo for NetFront, featuring the word "NetFront" in a bold, sans-serif font. A trademark symbol (TM) is at the end.

ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。

© 2011 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

本製品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

MEMO

6



索引

1. Q&A索引

共通操作

参照ページ

Q1 日中なのに画面が暗い。なぜ？

A 夜画面になっていませんか？昼画面に切り替えてください。

➡ 42

Q2 画面が見にくい。なぜ？

A 画面のコントラスト、明るさ調整は適正ですか？
コントラスト、明るさを調整してください。

➡ 44

Q3 画面が乱れる、ノイズが入る。なぜ？

A 電氣的なノイズを発生する電装品を本機のそばで使用していませんか？
・高電圧を発生させて作動するもの（例）マイナスイオン発生器
・強電波を発生するもの（例）携帯電話、無線機
本機からできるだけ遠ざけてご使用ください。遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。

—

Q4 低温時に電源をONにした場合、しばらく画面が暗い。なぜ？

A 液晶の特性によるものです。
故障ではありませんので、しばらくそのままお待ちください。

—

Q5 ディスプレイに光る点がある。これは何？

A 液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。
故障ではありませんので、そのままご使用ください。

—

Q6 タッチパネルを操作していると、実際に反応するタッチ位置がずれているように感じる。なぜ？

A 画面のタッチ位置を調整してください。

➡ 44

ナビゲーション操作

参照ページ

Q1 走行しても地図が動かない。なぜ？

A 現在地画面以外になっていませんか？
現在地画面を表示させてください。

➡ 60

Q2 自転車位置マークが表示されない。なぜ？

A 現在地画面以外になっていませんか？
現在地画面を表示させてください。

➡ 60

Q3 GPS マークが赤色のままになっている。なぜ？

A GPS 情報を利用できない状態ではありませんか？
システムチェック画面でGPS受信強度をご確認ください。
場所を移動してもGPS受信強度が点灯しない状態が続く場合は、お買上の販売店にご相談ください。

➡ 133

Q4 案内音声が出力されない。なぜ？

A 案内の音量が小さく（音声OFFに）なっていませんか？
音量を大きくしてください。

➡ 58

A 細街路を走行していませんか？
細街路案内中は音声案内がされません。故障ではありませんので、そのままご使用ください。

—

Q5 音声案内がGマークの手前で終了する。なぜ？

A 目的地周辺のルートが細街路（紫色）ではありませんか？
音声案内は青色のルートの最終地点手前100mで終了します。
故障ではありませんので、そのままご使用ください。

➡ 100

1. Q&A索引

参照ページ

Q6 実際の現在地と異なる場所に自転車位置マークが表示されている。(自転車位置マークがずれている。)

A GPS衛星の状態、車両の状態（走行場所や運転条件）などにより、自転車位置マークがずれることがあります。また、新設道路など、地図データが実際の道路形状と異なる道路を走行すると、自転車位置マークがずれることがあります。しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。(場合によっては、数分程度かかることがあります。) GPS情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。

➡ 130

Q7 目的地設定画面・ナビメニュー画面の一部がトーンダウンしている。なぜ？

A 走行中ではありませんか？
車を停車し、パーキングブレーキをかけた状態で操作してください。

—

Q8 目的地案内中に自動で50mスケール図表示になる。なぜ？

A 細街路を走行していませんか？故障ではありませんので、そのままご使用ください。自動で50mスケール図表示にしない場合は、細街路案内時の自動縮尺を **自動縮尺しない** に設定してください。

➡ 96

Q9 高速道路上で案内が終了してしまう。なぜ？

A 目的地が高速道路上に設定されていませんか？目的地が高速道路周辺の場合、目的地を設定するときに道路の種類を選択します。目的地が別の道路上の場合は、目的地設定をやり直してください。
故障ではありませんのでそのままご使用ください。

➡ 77

参照ページ

お使いになる前に

ナビゲーション

オーディオビジュアル

ハンズフリー

ご参考に

索引

Q10 地図上にVICS情報が表示されない。なぜ？

- | | | |
|----------|---|-------|
| A | スクロールさせても情報がない場合、情報をまだ受信していないことがあります。受信状態が悪い場合、情報を受信するまで数分かかることがあります。 | — |
| A | VICS放送を行っている放送局を受信していますか？
FM多重選局でVICS放送を行っている局に選局してください。 | ➡ 114 |
| A | VICS表示が 非表示 になっていませんか？
VICSを表示する設定にしてください。 | ➡ 119 |
| A | 表示情報の設定が全て しない になっていませんか？
表示情報の設定を する にしてください。 | ➡ 117 |
| A | VICSサービスエリアを外れていませんか？ VICSの提供エリアは、 「VICSの問い合わせ先」 を参照してください。 | ➡ 124 |
| A | 地図データ情報が古いことが考えられます。
VICSエリアは毎年拡大され、そのエリアは地図データにより更新されます。最新版の地図データにバージョンアップしてください。(バージョンアップは有償です。) | — |
| A | スクロールさせたら表示する場合は、そのエリアには情報がないことがあります。
情報を受信次第表示されます。 | — |
| A | VICS放送が行われていない時間帯であることが考えられます。
情報を受信次第表示されます。 | — |

Q11 の時間が時刻と違う。なぜ？

- | | | |
|----------|--|---|
| A | 時計ではなく、表示中のVICS情報の提供時刻を示しています。
VICS情報を長時間受信していない場合、古い時間が表示されますが、情報を受信次第、更新されます。 | — |
|----------|--|---|

1. Q&A索引

オーディオ・ビジュアル操作

参照ページ

Q1 音が出ない。なぜ？

A

音量が0になっていませんか？
、または  を押して確認してください。

—

Q2 片側（左右もしくは前後）のスピーカーだけ音が出る。なぜ？

A

スピーカーコードが正しく接続されていますか？
 スピーカーコードの接続を確認してください。

—

A

音量バランスは適切ですか？
 左右（前後）音量調整をして確認してください。

➡ 145

Q3 音質調整をしても音質が変化しない。なぜ？

A

お聞きの放送、CDが調整した音質に対応していますか？
 放送、CDを変更して確認してください。

—

Q4 CDが入らない。なぜ？

A

電源が入っていますか？
 車のエンジンスイッチを「ACC」または「ON」にしてください。

—

A

すでに差込口に1枚入っていませんか？入っているCDを取り出して
 から、お好みのCDを入れてください。

—

Q5 CDの再生ができない。なぜ？

A

本機が結露していませんか？しばらく待ってから使用してください。 ➡ 21

A

CDに大きなキズやソリがありませんか？他のCDを入れてください。

—

A

CDがひどく汚れていませんか？クリーニングしてください。 ➡ 21

➡ 21

A

CDが裏返しになっていませんか？
 CDを正しい向きで差し込んでください。

—

A

本機に対応していないCDが差し込まれていませんか？
 対応しているCDを差し込んでください。

➡ 21

参照ページ

お使いになる前に

ナビゲーション

オーディオビジュアル

ハンズフリー

ご参考

索引

Q6 USBメモリが正しく認識できない。なぜ？

A USBメモリを取り外し再度接続してください。
認識しない場合は別のUSBメモリで再度接続してください。

—

Q7 音声は出るが、映像が出ない。なぜ？

A **画面消** にタッチして画面を消していませんか？
現在地 を押してください。

➡ 43

Q8 音声は出るが、ワンセグ映像が出ない（停車中）。なぜ？

A パーキングブレーキが解除されていませんか？
パーキングブレーキを引いてください。

—

Q9 映像も音も出ない。なぜ？

A 電源が入っていますか？
車のエンジンスイッチを「ACC」または「ON」にしてください。

—

A 接続コードが正しく接続されていますか？
各接続コードの接続を確認してください。

—

Q10 ワンセグ放送の映像が止まって音が出ない。なぜ？

A ワンセグ放送の受信状態は良好ですか？
サービスエリア内でも環境により受信できない場合がありますので、
受信できる場所に移動してください。

—

Q11 ワンセグ放送が受信できない。なぜ？

A お車がワンセグ放送を受信できない地域にありませんか？
ワンセグ放送を受信できる地域に移動してください。

—

Q12 iPodを本機で操作できない。なぜ？

A iPodを取り外し、iPodをリセットしてから再度接続してください。
リセット方法については、iPodの取扱説明書を参照してください。

—

2. 共通索引

五十音順

ア

アフターサービス	243
お手入れについて	247

カ

画面

夜画・昼画表示に切り替える	42
画面を消す	43
画質の調整	44
カンタンペアリング	40
こんなメッセージが 表示されたときは	
共通操作関係	228
ナビゲーション関係	229
オーディオ・ビジュアル関係	231

サ

仕様	248
設定内容の初期化	51
操作音の設定	42

タ

タッチスイッチ	16
タブの切替え	19
チェックボックス	20
地図SDメモリーカード	
入れ方	23
出し方	23

ディスク

CDの入れ方	23
CDの出し方	23

ディスプレイ

角度調整	26
------------	----

ハ

バージョンアップしたときは	246
パネルスイッチ	16
本機	

パネルスイッチとタッチスイッチ	16
電源の入れ方・切り方	20
操作画面について	27
作動条件について	28
各操作画面の表示	29

マ

マルチ画面	29
文字の入力	18

ヤ

用語説明	233
------------	-----

ラ

ラジオアンテナの設定	45
リセット	51

アルファベット／数字

E

E-iSERV

E-iSERV について	34
アプリケーションソフト ダウンロード	34
赤外線通信について	35

ESN

ESN を作動する	46
セキュリティインジケータの表示を 設定する	46
起動時認証を設定する	46
ロックを解除する	47
起動時認証を解除する	47
ESN の設定を解除する	49
ESN の設定を変更する	50

M

MENU画面	31
My page	1

3. ナビゲーション索引

五十音順

ア

案内表示画面

案内表示画面を解除する	93
3D イラスト拡大図	94
立体交差点拡大図	94

お気に入り地点の登録

地点の登録について	103
登録する	105
編集する	107
消去する	110

音声案内

音量

調節する	58
高速時の自動音量切替えを 設定する	58
アプリ連携案内音声を設定する	59

音声出力スピーカを設定する

音声案内とAV音楽の設定をする

GPS のソフトウェアを バージョンアップする	133
----------------------------------	-----

Bluetooth モジュールのソフトウェアを バージョンアップする	134
---	-----

施設の表示

施設アイコンを表示する	64
-------------------	----

自宅の登録

自動再探索

車両情報

設定する	79
------------	----

精度と誤差

赤外線通信ケータイリンク

全ルート図の再表示

全ルート図表示の見方

走行軌跡

表示する	61
データを消去する	62

タ

地図データ

表示する	131
収録されている地図情報	236

地図の移動

移動する	60
------------	----

地図の縮尺

切替える	61
------------	----

地図の操作

位置を変更する	75
施設情報を表示する	75

地図の向き

地図の名称（文字）サイズ

切替える	57
------------	----

地図の呼び出し方法

50 音で探す	66
住所で探す	67
お気に入りで探す	70

カ

画面切替え時の動画表現

季節規制区間

現在地

表示する	60
修正する	130

交差点拡大図

サ

細街路

細街路案内	96
自動縮尺表示を設定する	97

自車位置マーク

切替える	56
------------	----

システムチェック機能

システムチェック画面を表示する	133
-----------------------	-----

履歴で探す	69
電話番号で探す	68
ジャンルで探す	71
マップコードで探す	71
先程の地図で探す	72
登録ルートで探す	72
赤外線ケータイリンク	73
Bluetooth ケータイリンクで探す	69
周辺施設から探す	74
到着予想時刻表示	98

ナ

ナビゲーション画面の見方	54
ノースアップ表示	62

ハ

ハイウェイモード画面	
見方	95
ETC レーン情報画面	96
高速分岐拡大図	96
解除する	95
バックアイカメラ	
映像を映す	126
ガイド線の設定・調整	126
ガイド線の見方	128
ガイド線表示の解除	128
視点の切り替え	129
フェリー航路の案内	98
ヘディングアップ表示	62
補正	
現在地を修正する	130

マ

目的地

追加する	86
並び替える	87
消去する	88

目的地案内

開始する	91
中止する	91
デモンストレーション（デモ）	92

目的地設定

目的地設定・ルート探索について	76
地図を動かして設定する （スクロール）	77
自宅を設定する	77
地図の呼び出し方法から設定する	78
周辺の施設を検索して設定する	78

目的地履歴の消去	90
-----------------------	-----------

ラ

リスト画面の切替え方	19
料金案内	81
ルート探索	79
ルートの再探索	102

3. ナビゲーション索引

アルファベット／数字

B

Bluetoothケータイリンク 69

F

FM VICS 111

V

VICS 情報

VICS について 111

VICS メディア概要 112

VICS 情報提供内容と表示 113

放送局を選択する 114

表示を設定する 117

VICS 情報の表示について 118

VICS 情報を地図表示する 119

VICS 情報を消去する 120

VICS 音声案内 120

VICS 図形情報を表示する 121

VICS 文字情報を表示する 121

VICS マークの種類 123

用語説明 124

問い合わせ先 124

数字

3D表示 62

5ルート探索機能 84

5ルート同時表示 84

4. オーディオ索引

五十音順

ア

アルバムシャッフル	172
イコライザ	142
オールランダム	
USB メモリ	154

音

主音量を調整する	142
----------------	-----

音質

EQ (イコライザ) を設定する	142
ラウドネスを設定する	142
ポジションを設定する	144
フェダー / バランスを設定する	145

カ

外部入力	165
緊急警報放送	164

サ

シャッフル	172
ステアリングスイッチ	
設定する	184
操作する	187
ソースの切替え	142

タ

ディスク

使用できるディスクについて	21
---------------------	----

ハ

早送り・早戻し

CD	150
USB メモリ	153
iPod	170
BluetoothAudio	177

ビデオ

見る	165
基本操作	166

フェダー / バランス

フォルダリPEAT

USB メモリ	154
ポジション	144

ラ

ラウドネス

ラジオ

聞く	146
基本操作	147
放送局を記憶する	146
自動設定で記憶する	146
交通情報	148

ランダム

CD	150
USB メモリ	154
BluetoothAudio	177

リピート

CD	150
USB メモリ	154
iPod	170
BluetoothAudio	177

4. オーディオ索引



ワイドモード..... 167

ワンセグ

設定する 160

見る 161

基本操作 162

放送局から番組を選ぶ..... 163

EPG（電子番組表）を見る 163

緊急警報放送..... 164

ワンセグ放送

ワンセグ放送について 160

アルファベット／数字

B

BluetoothAudio

BluetoothAudio について	173
登録する	173
接続する	175
聞く	176
基本操作	177
ライブラリから 音楽ファイルを選ぶ	178
再生リストから 音楽ファイルを選ぶ	179
BluetoothAudio の設定	180

C

CDプレーヤー

聞く	149
基本操作	150
ディスクについて	21

E

EQ	142
----------	-----

I

iPodプレーヤー

使用できる iPod	168
接続する	168
取りはずす	168
聞く	169
基本操作	170
再生したい音楽ファイルを リストから探す	171
音楽ファイルをランダムに聞く	172

U

USBメモリ

聞く	152
基本操作	153
聞きたい音楽ファイルを 繰り返し聞く	154
音楽ファイルの順番を ランダムに聞く	154
再生可能な MP3/WMA	155
使用できるメディアファイル フォーマット	156
MP3/WMA ファイルの作り方	158

5. ハンズフリー索引

五十音順

ア

応答保留

電話を保留する（応答保留） 206

音量

着信音の音量を調整する 207

受話音量を調整する 208

高速走行時の自動音量切替えを
設定する 218

カ

機器名称

表示する 219

携帯電話

携帯電話を登録する 195

携帯電話を自動で接続する 197

携帯電話を手動で接続・切断する 198

サ

初期化

設定を初期化する 225

セキュリティ

ロック No. を設定する 222

電話帳ロックを設定する 224

設定を初期化する 225

設定・編集

自動接続を設定する 197

使用する携帯電話を選択する 210

電話機詳細情報を表示する 211

携帯電話の登録を削除する 212

音量を設定する 217

機器名称、機器アドレスを
表示する 219

ACC ON 時の Bluetooth 接続
確認表示を設定する 220

自動着信応答を設定する 221

接続

携帯電話を自動で接続する 197

携帯電話を手動で接続・切断する 198

再接続について 199

タ

着信拒否

着信拒否する 207

通話中の操作

受話音量を調整する 208

通話を終了する 208

10 キー入力する 209

送話音をミュート（消音）する 209

通話の転送

通話を転送する 209

電話

電話をかける 200

電話を受ける 205

電話帳

携帯電話の電話帳データを
転送する 213

データを削除する 215

電話のかけ方

ダイヤル発信する 200

電話帳発信する 201

履歴発信する 202

携帯電話本体から発信する 204

電話の受け方

電話を受ける 205

トーン

10 キー入力する 209

登録

携帯電話を登録する 195

携帯電話の登録を削除する 212

ハ**パスキー**

パスキーを変更する 220

ハンズフリー

ハンズフリーについて 192

お車を手放すとき 194

Bluetooth 機器使用上の注意事項 37

各種表示について 38

マ**ミュート**

送話音をミュート（消音）する 209

MEMO

MEMO

お使いになる前に

ナビゲーション

オーディオビジュアル

ハンスフリー

ご参考に

索引

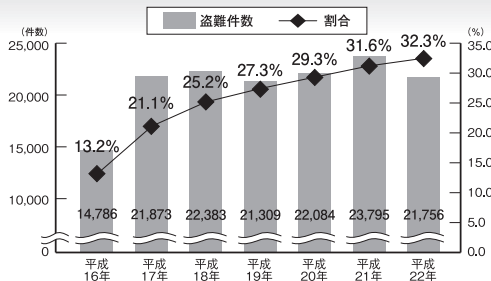
MEMO

今カーナビが危ない!

全国で24分に
1台のカーナビが
盗難被害に
遭っています。

カーナビゲーションの 盗難被害状況

部品ねらい被害におけるカーナビ盗難の件数と割合



出典:警察庁犯罪統計 平成22年は暫定値



製造番号があれば被害品の発見、返還がしやすくなります。

くやー
警察に
届けよう!

それでは
カーナビの
製造番号を
教えてください。

1
2

書類は処分
しちゃった...
ユーザー登録
もしてないし...

それじゃ見つ
けにくいな。

3
4

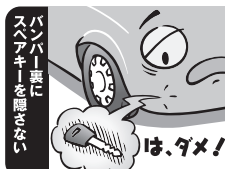
保証書
製造番号

製造番号、
とっておけば
よかった...



製造番号が記載された保証書類は大切に保管し、
WEBでユーザー登録を行いましょう。

盗難被害に遭わないように、
防犯対策に気を付けましょう。



問い合わせ先

ユーザ登録に関するお問い合わせは、お買い上げになられた製品のメーカー宛にお願い致します。

警察庁・社団法人電子情報技術産業協会・社団法人日本損害保険協会

商品のアフターサービスに関するお問い合わせは、
お買い求めの販売店またはお客様相談窓口までお願い致します。

富士通テン株式会社 「お客様相談窓口」



フリーダイヤル 0120-022210

携帯電話・PHSからご利用になれます。

受付時間 午前10:00～12:00、午後1:00～5:00（土・日・祝日などを除く）

お客様サポート・製品情報や適合情報、ダウンロードサービスなどがご利用になれます。
<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/>

富士通テン株式会社

〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号
電話 神戸(078)671-5081(代表)